

No.	内容	対応案
1	<p>中部横断自動車道路活用検討委員会さま 道路の活用検討に携わるみなさま、ご苦勞様です。 私のコメントは「道路建設は決まったものとして、その活用のみを検討する」とされる皆様にはご迷惑かもしれませんが、道路は安全に設計され、安心して利用されてこそ「本来の姿」かと思っておりますのであえて意見をのべさせていただきます。 道路公団は、特に今回のような国の直轄事業として建設されたばあい、その修理補修も含めて国が責任を負い、道路特定財源という豊かな財源から支出するものと聞いています。 しかし、* * * が言われるとおり、維持管理や補修に予算が不足していると聞いています。 それならなぜ、維持管理や補修に優先的に予算を使わないのですか？ 私はここで高速道路そのものの建設に反対の意見を申し述べることは控えますが、維持管理に責任を持たない新しい道路を優先してつくることには納得できません。 笹子トンネルの事故にしても、誰も責任をとろうとしない、設計施工したのは中日本高速道路会社で、建設省は「意見を言う立場にない(住民説明会での道路公団甲府道路河川事務所談)」とはなんとという無責任な発言でしょう。設計図を点検し、施工に許認可を与える、あるいは監督責任がある立場ではないですか？ 活用検討委員会の皆様におかれましては、どうぞ、安全な道路を建設し、50年たっても安全に活用できるよう、現在ある道路について責任を問うことから初めていただけたらいかがでしょうか？ 安全であるかどうかわからない道路、事故が起きたら誰が責任をとるのかも定かでない道路をどう活用するのでしょうか？ 以上とりあげていただければ幸いです。 また取り上げていただけない場合はその理由をお知らせください。しかるべきところで公表させていただきます。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「安全な道路を建設し、50年たっても安全に活用できるよう」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」に『維持・管理』に関する文章を追記します。</p>
2	<p>道路河川課 御中 標記について、ご苦勞様です。 中部横断自動車道の建設に大反対！！ 「山紫水明」を標榜する北杜市は、 「人と自然と文化が躍動する環境創造都市」を基本理念としてます。 東京の都会人は、これに憧れて八ヶ岳南麓での暮らしを楽しんでおります。 ここに中部横断自動車道が建設されたら、豊かで美しい自然が台無しです。 八ヶ岳南麓に豊かで美しい自然が無くなったら、この土地の価値は無くなります。 八ヶ岳南麓の観光、移住の最大のユーザである都会人は、この地から去るでしょう。 最初は物珍しくこの地に来るでしょうが、その内誰も来なくなります。 豊かで美しい自然とどう共生していくか、 欧米やニュージールランドなどの先進国に滞在し、もっと勉強して下さい。 高速道路を建設するよりも格段に安いです。 今の* * * *、行政幹部の方々は、基本理念を全く理解していないようですね。 言っている事と、行動が出鱈目です。 頭を冷やして、一から出直して下さいな。 一部の利権や、私利私欲で行動しないでいただきたい。 これが日本を悪くする最大の要因です。 一度出来た高速道路は無くなることはありません。 もし、高速道路の思惑は外れたら、誰が責任を取るのですか。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で「豊かで美しい自然」、「八ヶ岳南麓に豊かで美しい自然が無くなったら」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。「豊かで美しい自然とどう共生していくか」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に『共生』という文言を追記します。</p>
3	<p>北杜市道路河川課御中: 当該プログラムを成功させる為に、 1. 理念(地域をつなぐ、地域を支える、,,,,,)を実現する為のマイルストーン(計画)を明確にする。 2. それを実現する推進組織を明確にする。 3. その組織は、基本方針①(環境・景観)～④(観光)を達成するためのPDCAを回る組織体とし、P、D、C、Aを立案し、結果を収穫する。 4. 各基本方針が「達成された」状態を明確にする。例えば、①(環境・景観)では、「豊かな自然環境との調和とありますが、どのような状態をもって「調和」している、と定義するのかです。カッコいい言葉(～保全、～配慮、～共存)が並んでいますが、私たち市民一人ひとりが「動ける、アクションを起こす」ことができるようなわかりやすい言葉に置き換えることです。 以上</p>	<p>頂いたご意見は、主にまちづくりビジョンの実現に向けた取組と推進体制に関するものと捉えています。 まちづくりビジョンの実現に向けた取組については、ビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プランを策定していくこととなります。 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会においては、「まちづくりビジョン」と「(ビジョンを達成するための)道路プラン」を市長に提言することとなりますが、推進体制については、今後の審議の参考意見とさせていただきます。</p>

参考資料1 パブリックコメントで寄せられた意見一覧

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

No.	内容	対応案
4	<p>2001年より神奈川から引っ越しをして、北杜市に在住しております。中央高速道路があるおかげで東京との距離も縮まり、必要に応じて車で東京と行き来ができる事の利便性と観光地としての価値の高まりを感じています。</p> <p>ですので、高速道路ができる事に対して「全面的に反対」という訳ではありません。ただ中部横断道路については必要性、利便性がイマイチ見えません。交通量はどれくらいを見込んでいるのでしょうか。当初の計画時には予測数が載っていたと思うのですが正直ちょっと無理がある数字のように感じられました。(今はその予測数が見つけられませんでした)</p> <p>多くの人に利用されてこそ中部横断道路は「商工業の発展」「観光振興」に寄与するのではないのでしょうか。佐久や日本海地域との交通の利便性が上がる事と「地域活性」との相関関係をもう少し明らかにして欲しいと思います。しかし今の141号線は今のままで良いとは思いません。</p> <p>防災や医療体制の面からも整備が必要だと思えます。片側2車線道路や立体交差にする、またはバイパスをつくる等の整備が必要なのでは無いでしょうか。無理に高速道路を通すよりもそちらの方が有用に思えるのですが如何でしょう。</p> <p>また、まちづくりに関してですが、こちらは高速道路を作るよりも「観光資源の見える化」と「企業の誘致」の方が有用だと思います。北杜市には沢山の観光資源があるのにも関わらず上手くアピールが出来ていないと思います。こちらは街コンや祭り等のイベントをうまく活用して見える化していけばもっとアピール出来るのではないのでしょうか。</p> <p>また「企業の誘致」は若者たちの雇用の面で重要です。シニア層は老後の田舎暮らしを目指して移住してきますが残念ながら若者たちは都会に流出してしまっています。これは北杜市内に魅力ある雇用が少ない事が原因の一つであると考えられます。観光だけでなく企業の積極的な誘致も重要なのではないのでしょうか。</p> <p>長文失礼しました。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「多くの人に利用されてこそ中部横断道路は「商工業の発展」「観光振興」に寄与する」、「佐久や日本海地域との交通の利便性が上がる事と「地域活性」との相関関係」に関しては、まちづくりビジョン策定の目的である「地域の活性化に結びつける取組や方策等」に関するものと捉えております。「今の141号線は今のままで良いとは思いません」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「観光資源の見える化」、「北杜市には沢山の観光資源があるのにも関わらず上手くアピールが出来ていないと思います」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P19観光「視点③:周遊・滞在(型)観光を促進する情報発信の工夫」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「企業の誘致」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P17地域活性化「視点②:商工業の活性化」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「『企業の誘致』は若者たちの雇用の面で重要です」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P17地域活性化「視点②:商工業の活性化」に『若者の雇用につながる』という文言を追記します。</p>
5	<p>北杜市は、家族連れや高齢者をターゲットにした、四季それぞれに楽しめる滞在型の観光地をめざすべきです。滞在型観光地であるための条件は、滞在者が宿泊場所から歩いて自然を満喫することができるコースが整備されていることです。従って、八ヶ岳南麓の魅力を十分に味わえるように、遊歩道を整備することが欠かせません。特に小海線沿いに、駅から駅に八ヶ岳や南アルプスあるいは田園の景観を楽しみながらゆっくり歩けるコースを設けることが望まれます。現状では、安心して歩ける道はごく少なく、住民も自動車に脅かされながらの外出を強いられています。遊歩道の整備を実施しつつ、住民の理解を得てゾーン30の指定を積極的に目指したり、ドライバーには歩行者に対して徐行を励行するようにキャンペーンを展開するなど、施策が必要です。中部横断自動車道ができて、観光バスが立ち寄るだけの観光地では、一部の事業者がよるこぶだけで、住民の生活の質の向上にはつながらないばかりか、むしろ低下することが心配されます。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「家族連れや高齢者をターゲットにした、四季それぞれに楽しめる滞在型の観光地をめざすべきです」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。また、上位関連施策等と整合を図りながら(各種団体の取組とも調整を図りながら)進めて参ります。</p> <p>「八ヶ岳南麓の魅力を十分に味わえるように、遊歩道を整備することが欠かせません」、「遊歩道の整備を実施しつつ」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「住民の理解を得てゾーン30の指定を積極的に目指したり、ドライバーには歩行者に対して徐行を励行するようにキャンペーンを展開するなどの施策が必要です」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に『歩行者の安全確保』に関する文章を追記します。</p> <p>「観光バスが立ち寄るだけの観光地では、一部の事業者がよるこぶだけで、住民の生活の質の向上にはつながらないばかりか、むしろ低下することが心配されます」に関しては、上位関連施策等と整合を図りながら(各種団体の取組とも調整を図りながら)進めて参ります。</p>
6	<p>中部横断自動車道活用検討委員会事務局御中 パブリックコメント</p> <p>12月6日 NHKの「ヤマナシQUEST」トンネルや橋は、国や県が管理するもの以外に市や町も管理している。調査が始まった北杜市の事例をもとに課題にせまる。という番組でした。****は番組の中で「安全は予算に代えられない。点検だけはちゃんとしていきたい。人口減少、財政が厳しい」と話していた。子育て支援、温泉料金の値上げ問題でも、**、市幹部は口を開けば財政が厳しいと市民の要望を真剣に対応しようとしなかった。それなら、今回の中部横断自動車道活用委員会も根本的に発想を転換して、高速道路建設の財源があるなら、トンネル、橋のインフラ安全対策へ振り向けるよう、国に働きかける委員会に改組して取り組むべきではありませんか。これこそ、**のコメントに答える仕事だと私は考えます。トンネルや橋を通過するたびに不安を抱く生活はまっぴらです。高速道路建設を後押しすることより、山と水、緑と太陽の自然景観を活用すること。この仕事に誇りを持ってガンバってください。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「トンネルや橋を通過するたびに不安を抱く生活はまっぴらです」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」に『維持・管理』に関する文章を追記します。</p> <p>「山と水、緑と太陽の自然景観を活用すること」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。</p>

No.	内容	対応案
7	<p>北杜市まちづくりビジョン(素案)達成のための道路プランの検討 ((仮称)北杜市中部横断自動車道を見据えたパブリックコメント)</p> <p>① 次世代が誇りを持てるまちづくりを目指す。 ② 他の地域に無く北杜市のみがもつ『本物・一流』を磨き上げる。 ③ 住民が時間をかけて話し合い、意見の集約をはかり意思決定する。</p> <p>北杜シンポジウム『挑戦から磨かれる地域力』(2013年11月18日、北杜商工会議所主催)においてパネリスト * * * * * は地域活性化を論じつつ上記の点を指摘した。傾聴に値する意見と考える。</p> <p>日本において今日地方が難局に陥った原因の一端は、地方の個性と地域の誇れるものをいささか蔑ろにする一方で、都市がもつ利便性を追求してきたことにある。景観の乱れ、寂れた街区、稼働率の低い施設などはここ北杜市でも散見される。住民が『まちづくりビジョン』を徹底的に考え抜き、市の税制貧窮化につながらぬよう身の丈にあった『まちづくり』を通じて、安全・安心な暮らしを実現していくことが肝要である。</p> <p>中部横断自動車道建設計画については、『まちづくりビジョン』達成に向けて、次の課題に真剣に取り組まなければならないと考える。</p> <p>(1) 経済合理性は確保されているか？ (2) 住民意見の集約は真摯に行われているか？</p> <p>(1) 経済合理性は確保されているか？ 「高速道路が北杜市にもたらす経済価値が地域の負担するコストに見合っているかどうか」の検証が疎かではないか？将来後悔しないようなインフラを整備するためには、地域自らが具体的な数値を基に計画を徹底的に検証・議論することが不可欠である。過去半世紀にわたり過剰気味に投資された交通インフラが今日国民生活に重くのしかかる巨額の財政赤字の主因となった反省にたち、当該道路の経済合理性を北杜市民としても慎重に見極める必要がある。公共事業に回せる国家財源が将来確実に細るなかで、地方が負担するトンネルや橋梁の点検・整備費用の増加はまぬがれえない。また、地域が長い時間をかけて育んできた美田・美林を少なからず失う経済的・環境的損失も少なくない。</p> <p>(2) 住民意見の集約は真摯に行われているか？ 北杜市にあって他の地域にないものの筆頭は『素晴らしい自然景観』であることに異論はなからう。「北杜市がもつ一流の最たるものに傷がつくのではないか」という多くの市民が抱いている懸念について、以下の諸側面から真剣な議論がもたれる。</p> <p>① 次世代が誇りを持てる山岳・里山・農村景観を維持できるだろうか？ ② 景観悪化が北杜市に移り住もうとする人々(潜在的納税者)に失望を与え、土地不動産の資産価値を減じることにはならないだろうか？ ③ 高速道路およびICやPAなどの付帯設備開発が減じる景観の経済価値をどの程度に評価するか？ ④ 「高速道路は(北杜市に)人(観光客)を呼ぶ」と短絡的に考えてよいだろうか？(高速道路・高速鉄道開通により中間観光地が凋落する事例は数多い。) ⑤ 地域活性化効果の大きい滞在型・反復型観光客を念頭に、地域の魅力を高める『まちづくり』と『みちづくり』はどのようにあるべきか？</p> <p>重ねて申し上げるが、地域の住民は『高速道路の経済性(=損得)』『景観・環境保全』を長期的な視点から具体的かつ公に論じ、時間をかけて意見を集約する努力を積み重ねていくべきであり、それを公平・公正な立場から主導するのは市民の負託にこたえる行政の責務である。 以上</p>	<p>頂いたご意見の中で、「市の税制貧窮化につながらぬよう身の丈にあった『まちづくり』を通じて、安全・安心な暮らしを実現していくことが肝要である。」に関しては、上位関連施策等と整合を図りながら(各種団体の取組とも調整を図りながら)進めて参ります。</p> <p>「安全・安心な暮らしを実現」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14から「基本方針:安全・安心で快適な暮らしのために」に位置づけられています。</p> <p>「高速道路が北杜市にもたらす経済価値が地域の負担するコストに見合っているかどうか」の検証、「当該道路の経済合理性を北杜市民としても慎重に見極める必要がある」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際、経済性にも配慮し、検討して参ります。</p> <p>「北杜市にあって他の地域にないものの筆頭は『素晴らしい自然景観』」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「地域が長い時間をかけて育んできた美田・美林を少なからず失う経済的・環境的損失も少なくない」、「① 次世代が誇りを持てる山岳・里山・農村景観を維持できるだろうか?」、「② 景観悪化が北杜市に移り住もうとする人々(潜在的納税者)に失望を与え、土地不動産の資産価値を減じることにはならないだろうか?」、「③ 高速道路およびICやPAなどの付帯設備開発が減じる景観の経済価値をどの程度に評価するか?」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12、13「環境・景観」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「④ 「高速道路は(北杜市に)人(観光客)を呼ぶ」と短絡的に考えてよいだろうか?(高速道路・高速鉄道開通により中間観光地が凋落する事例は数多い。）」、「⑤ 地域活性化効果の大きい滞在型・反復型観光客を念頭に、地域の魅力を高める『まちづくり』と『みちづくり』はどのようにあるべきか?」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18、19「観光」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>『高速道路の経済性(=損得)』『景観・環境保全』を長期的な視点から具体的かつ公に論じ、時間をかけて意見を集約する努力を積み重ねていくべき」に関しては、まちづくりビジョン策定にあたっては、パブリックコメントなどにより市民の皆様のご意見を伺いながら検討しているところです。ビジョンを達成するための道路プラン策定においても、引き続き地域の皆様のご意見を伺いながら検討して参ります。</p>

No.	内容	対応案
8	<p>中部横断道の建設には反対です。過去、清里大橋が建設された時も国道141号線からのアクセスが一変してしまい清里の衰退に繋がり、さらに予想された交通量を大幅に下回り採算がとれず山梨県で最も採算のとれない有料道路として結局すぐに無料化されてしまい税金の無駄遣いと言われました。現在のように自動車保有者が年々減少し少子高齢化が進む環境の中でこれ以上の高速道路は不要だと思います。又、JR最高地点と言われる野辺山のように氷点下20度をこえる国内でもっとも厳冬期の厳しい気象条件の中を通過する高速道路はリスクが高く災害の拠点となりかねません。又、東北大地震や福島原発の被害が継続し、経済の状況も厳しい中、巨額の費用がかかる高速道路の建設は優先されるべき公共投資とは思われません。さらに、八ヶ岳南麓は世界文化遺産となった富士山の眺望や八ヶ岳や南アルプスの山岳景観の優れた地域でもありこの中に高速道路を通すのは景観保全に反するもので山梨県にとって望ましい整備手法とは思えません。整備すべきはむしろ既存の幹線道路である国道141号線の拡幅・整備だと思われま。是非、世界有数の山岳景観を誇るこの美しい環境を守ってほしいと思います。以上。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「JR最高地点と言われる野辺山のように氷点下20度をこえる国内でもっとも厳冬期の厳しい気象条件の中を通過する高速道路はリスクが高く災害の拠点となりかねません。」に関しては、冬期の走行安全性に関するご意見と捉えており、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参るとともに、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「国道141号線の拡幅・整備」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「八ヶ岳南麓は世界文化遺産となった富士山の眺望や八ヶ岳や南アルプスの山岳景観の優れた地域でもありこの中に高速道路を通すのは景観保全に反するもの」、「世界有数の山岳景観を誇るこの美しい環境を守ってほしいと思います」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p>
9	<p>「北杜市中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(素案)」への意見</p> <ol style="list-style-type: none"> 私は中部横断自動車道の新ルート案には反対です。まだルートが決まっていないこの時期に、北杜市が新ルート案を前提に北杜市中部横断自動車道活用検討委員会(以下、活用検討委員会)を発足させ、そこで議論を進めていることは拙速で、住民を無視していると言わざるを得ません。 活用検討委員会は「B案を前提」に住民や諸団体から意見を聞き、それをまちづくりのプランにまとめあげようとしているようですが、それでは一部の住民の意見しかプランに反映されません。北杜市の将来にわたるまちづくりのプランを作るのであれば、「B案が前提」ということではなく、国道141号の改修など総合的な交通インフラの整備とそれと連動した地域の活性化の方策についての意見を広く募らなければならないと思います。 まちづくりについて住民から意見を求めるのであれば、中部横断道の「B案」という前提を外して、もっと広範な住民が意見を出せる場として活用検討委員会を位置づけ直ししていくことが必要だと思います。 私は「北杜市まちづくりビジョン(素案)」の「3-3-4環境」で指摘されている八ヶ岳南麓の多様な自然・環境・景観の大切さを守っていくことが、これからのまちづくりにとり一番大切な視点だと考えています。そのため、この自然環境に甚大な悪影響を与えるであろう八ヶ岳南麓を横切るルート的高速道路の建設計画は、見直す必要があると思います。そういう点から、活用検討委員会が自然や環境の重要性を指摘しながらも新ルートを前提に議論を進めようとしている姿勢に疑問を感じます。 活用検討委員会の委員の中に、新ルートの予定地内に土地を所有している複数の有力な委員がいます。そういう委員の構成で議論された内容を、住民が公平・公正と受け止めるかどうか問題があります。活用検討委員会は誰が見ても公平な委員会であることを保障していかなければ、一部の利害関係者の御用機関と見られても仕方がなく、住民の協力は得られなくなります。 活用検討委員会が、中部横断道に関するワーキンググループの「B案が適当」との取りまとめの際の付帯意見を満たすためだけに議論を行っている印象を与えていることは大変残念なことで、委員の方も不本意ではないでしょうか。 	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「国道141号の改修など総合的な交通インフラの整備とそれと連動した地域の活性化の方策」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「八ヶ岳南麓の多様な自然・環境・景観の大切さを守っていくことが、これからのまちづくりにとり一番大切な視点だと考えています」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>北杜市中部横断自動車道活用検討委員会は、「まちづくりビジョン」を審議することから、地域の代表者や市域の主要産業である観光、商工業及び農業などの分野から委員を構成しています。多様な立場から意見を賜り、委員による合議制により審議を行うこととなっています。</p> <p>また、「まちづくりビジョン」は、委員のみの意見にとどまることなく、地域の皆様を対象に複数回にわたる意見の把握を行い、それらの意見を踏まえながら策定していくこととなります。</p> <p>さらに、検討委員会は、「北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱」に基づき公開で審議されているところであり、検討委員会の開催や審議結果などの情報は北杜市ホームページに掲載し、透明性を確保しながら審議を行っています。</p> <p>こうしたことから、「新ルートの予定地内に土地を所有している複数の有力な委員がいます」という意見について、検討委員会の目的達成に当たっては、問題がないと認識しているところであります。</p>

No.	内容	対応案
10	<p>○北杜市の環境 北杜市は、自然豊かで八ヶ岳、南アルプス、茅ヶ岳、そして富士山などの眺望も素晴らしい田園地帯である。</p> <p>○北杜市の道路事情 北杜市は、甲州街道や佐久往還に代表されるように交通の要衝でもあった。高速道路は中央自動車道があり、国道20号、141号などの幹線道路がある。</p> <p>今回、中部横断自動車道の代替路線で検討されている国道141号は、小手指の坂、弘法坂など地形の厳しい箇所を通過しているため、災害に影響されやすい面がある。また、須玉町若神子地区の人口集中地区での通過、高根町箕輪地区では歩行者の箕輪バイパス横断途中での交通事故の存在、高根町長沢地区では141号現道拡幅の改良計画が進捗中であるため、新たに国道141号沿線での計画は困難である。</p> <p>○北杜市の懸案 1)平成23年3月の東日本大震災や、平成24年12月の中央道笹子トンネルの天井板崩落事故、さらに今後発生が予想されている南海トラフ地震などの被害を考慮すると、北杜市では、1つの道路が通行不能になった時に救助活動や救援物資の輸送に大きな支障が出る。 →別の方面からアクセスする災害に強い道路ネットワークが必須である。 2)高齢化が他地域より進んでいる北杜市で現在利用できる第三次医療施設は、甲府の県立中央病院しかない。 →長野県との県境に位置する北杜市では、隣の長野県・東信地方の佐久総合病院のアクセスを改善し、非常時にも選択肢を増やすことによって、北杜市民の安全・安心に繋げる必要がある。</p> <p>○中部横断自動車道のB案について 1)中部横断道B案の主に沿線住民が、市民団体を設立し、景観や森林などへの自然環境への影響を懸念している。 2)このB案は、田畑などの耕作地を通過するものの、集落などの分断は避けている。</p> <p>○現在までの状況 1)中部横断道のB案は、推進している住民から特に反対意見は出ていない。 2)中部横断道がB案ルートを通るにあたり、景観などの環境への対応策は具体化していない。 3)北杜市の住民でのB案についての検討は行われていない。インターネット上では、八ヶ岳南麓の元々の住民が閉鎖的という内容も掲載されている。</p> <p>○今後の取組 1)中部横断道の推進、反対に関わらず、住民相互で建設的に意見交換できる場を設けるべきである。 2)懸念されている景観などの自然環境への影響について、B案にこだわらず、具体的な対策を検討すべきである。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「自然豊かで八ヶ岳、南アルプス、茅ヶ岳、そして富士山などの眺望も素晴らしい田園地帯」、「景観や森林などへの自然環境への影響を懸念している」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「中部横断道がB案ルートを通るにあたり、景観などの環境への対応策は具体化していない。」、「懸念されている景観などの自然環境への影響について、B案にこだわらず、具体的な対策を検討すべきである」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「国道141号は、小手指の坂、弘法坂など地形の厳しい箇所を通過しているため、災害に影響されやすい面がある」、「須玉町若神子地区の人口集中地区での通過、高根町箕輪地区では歩行者の箕輪バイパス横断途中での交通事故の存在、高根町長沢地区では141号現道拡幅の改良計画が進捗中であるため、新たに国道141号沿線での計画は困難」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参るとともに、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「別の方面からアクセスする災害に強い道路ネットワークが必須」、「長野県との県境に位置する北杜市では、隣の長野県・東信地方の佐久総合病院のアクセスを改善し、非常時にも選択肢を増やすこと」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14「視点①:安全・安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「住民相互で建設的に意見交換できる場を設けるべきである」に関しては、まちづくりビジョン策定にあたっては、パブリックコメントなどにより市民の皆様のご意見を伺いながら検討しているところです。ビジョンを達成するための道路プラン策定においても、引き続き地域の皆様のご意見を伺いながら検討して参ります。</p>
11	<p>中部横断自動車道の延伸の計画についてのパブリックコメントを提出いたします。 まず、この計画について反対します。 その理由は以下の通り ①環境破壊 ②地域振興とはならない ③維持費等、市の財政負担増 ①について 八ヶ岳南麓は豊かな森林資源等、自然環境に恵まれた地域です。都心にはない自然が数多く残されており、都心から程近く、移住者も多い。移住者の大半は、この豊かな自然環境に魅せられて移住を決断しております。また、近年では、この豊かな自然環境を観光資源として活用すべく、北杜市、富士見町、原村にまたがる「八ヶ岳南麓観光圏」も立ち上がり、観光客の来訪に向け数々のPRを執り行っております。 こうした自然環境は、北杜市だけの物ではなく、県を越えてまたがる八ヶ岳南麓に位置するそれぞれの自治体の共有財産です。北杜市の事情だけで判断するのではなく、隣接する富士見町、原村といった、ルートには含まれていない市町村への影響や、意見を広く収集して検討すべきです。 また、計画されているルートは、北杜市の一部や韮崎市の水源地でもあり、工事における水源地の汚染も懸念されます。 一度破棄された自然は元には戻りません。計画そのもののご再考を強く求めます。 ②について 建設の大きな理由の一つに地域振興があげられております。 かつて、「工業団地の造成」「観光振興」の前提として、前項二つをセットにした「高速交通インフラ整備」は、高度成長期における地域振興の三種の神器として位置付けられて来ました。 しかしながら、例えば西日本の岡山や広島にまたがる中国山地では、大阪から瀬戸内沿岸を結ぶ大静脈の山陽自動車道が全線開通の1998年に先立つ1978年に「中国縦貫自動車道」が開通しています。では、この中国縦貫自動車道沿線の市町村が、そうした地域振興の恩恵を受けたかといえば、決してそうではありません。真庭、津山といった地域では、高速道路の開通がむしろ人口流出を促進した観があり、現実に1980～2010年の間に、この地域の人口は17%も減少してします。道路交通の発達は、かえって都市圏が身近になり、人口の流出を招くという側面にも留意すべきです。 中部横断自動車道の開通が、観光振興を促すか…という観点も、かえって八ヶ岳南麓を素通りし、軽井沢等の一大観光地への観光客の流出を招きかねない…という点についても検討すべきです。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「八ヶ岳南麓は豊かな森林資源等、自然環境に恵まれた地域」、「計画されているルートは、北杜市の一部や韮崎市の水源地でもあり、工事における水源地の汚染も懸念されます。」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「豊かな自然環境を観光資源として活用すべく、北杜市、富士町、原村にまたがる「八ヶ岳南麓観光圏」も立ち上がり、観光客の来訪に向け数々のPRを執り行っております。」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に位置づけられています。</p> <p>「道路交通の発達は、かえって都市圏が身近になり、人口の流出を招くという側面に留意すべきです。中部横断自動車道の開通が、観光振興を促すか…という観点も、かえって八ヶ岳南麓を素通りし、軽井沢等の一大観光地への観光客の流出を招きかねない…という点についても検討すべきです」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」、P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p>

No.	内容	対応案
	<p>③について 高速道路の整備については国の事業でもあり、市への財政的な負担とはならない面もあります。 しかしながら、高速道路だけを通せば良いとは決してならず、隣接する市道等も付随して整備が必要となります。 今回計画されているルートは、高速道路にも関わらず、またがる各自治体の要望を反映させた結果、高速道路にしては不自然なほどルートが屈折しております。本来であれば直線的に整備した方が建設コスト及び維持に関わるコストを削減できますが、このような不自然なルート計画の結果、建設に関わるコストだけでなく、その後の維持管理にかかるコストも増大することが懸念されます。 高速道路の維持管理については道路公団の負担としても、高速道路に隣接する市道等は市の財政負担です。高速道路整備によって新たに整備が必要となる市道等のインフラも当然発生し、その整備後の維持管理は市の財政負担となります。 以上の理由から新たな高速道路整備は、新たな市の財政負担増ともなり、その財政負担増にみあった経済効果の裏付けがないことから、本整備計画に反対するものであります。</p>	<p>「高速道路整備によって新たに整備が必要となる市道等のインフラも当然発生し、その整備後の維持管理は市の財政負担となります」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際、経済性にも配慮し、検討して参ります。</p>
12	<p>標題:中部横断自動車道建設案についての意見 北杜市役所道路河川課御中</p> <p>いつもお仕事ご苦労さまです。 私はここ八ヶ岳南麓の魅力に惹かれて12年前に移り住んだものです。 景観はもちろん、空気・水・米・野菜そして星空、こんな魅力的な地域は日本全国見渡してもそうそう多くはないと思います。こんなかけがえのない環境を一度壊したら百年たっても取り戻すことは出来ません。</p> <p>中部横断自動車建設のルート案はまさにこの環境を切り裂く計画です。 空気も水脈も静けさも星空もすべてを壊してしまう計画です。 北杜市が住みやすい市になるよう仕事をしておられる皆様はこんな計画に賛成されるとはとても考えられません。国土交通省の計画ですが、地元で働く職員としてどうかこの計画をなくす方向(市民の多くの意見)で努力して頂きたい。</p> <p>我が家はまさにこの計画案の真っただ中にあります。今の生活が壊されることを考えると体調までおかしくなっています。そあいて今住んでいる私たちだけではありません。 子どもや孫、子子孫孫に素晴らしい環境を残してやりたいのです。そして国も市も財政の窮迫している状況の中で、借金を増やしてまで必要でない負の遺産を残さないで欲しいのです。 これは我々大人の務めではないでしょうか。</p> <p>地域の発展・活性化を考えても、141号線の改修こそが最善の方法だと思います。二十数年前とは時代状況は全く変わっています。しっかり現状を見つめて、市民との対話を大事にしながら市民が喜ぶしの政策を進めて下さい。よろしくお願いします。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「景観はもちろん、空気・水・米・野菜そして星空、こんな魅力的な地域は日本全国見渡してもそうそう多くはないと思います」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」、環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に「澄んだ空気」という文言を追記します。</p> <p>「地域の発展・活性化を考えても、141号線の改修こそが最善の方法だと思います」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参るとともに、具体的な取組については、まちづくりビジョン策定後のビジョンを達成するための道路プラン策定の際に検討して参ります。</p>
13	<p>標題:パブリック・コメント 北杜市建設部道路河川課中部横断自動車道(活用)検討委員会事務局殿</p> <p>先ず、宛名に疑問を感じます。活用！？ これは、すでに「高速道路ありき！」の事務局名称になっていますね。</p> <p>高速道路無料化の話は、つい最近、高速道路補修に数兆円が注ぎ込まれる事に決まり私達が生きている間には実現不可能になりました。年金問題と同じように、国が打ち出した試算は、現実を踏まえない机上の空論ばかりで浄財であることを全く無視したものです。限られた「浄財」をいかに有効利用するかを熟慮するのが為政者にとって肝心なのに…</p> <p>莫大な資金が必要な、長坂！(中央高速道路)と、長野・野辺山方面への道路は中部横断自動車は、少なくとも地元民は望んでいません。R141の改修こそ先決だと実感しているのです。R141は、昨今「空き空き」です。R141を改修してこそ、資金もそして安全安心も確保されるように思うのですが…！？</p> <p>国交省が制作したとしか思えない、素案・ビジョンを読んで沖縄・辺野古と同じ様な、「お上が決めた事」と、大上段の姿勢を感じる事しきり！</p> <p>為政者は、自分のお金だと思って予算も決めるべきです。 ましてや、私利私欲のために「公金」ほ利用するのはけしからん次第！！ 「公僕」という言葉が死語にならないことを願います。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で「限られた「浄財」をいかに有効利用するかを熟慮する」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際、経済性にも配慮し、検討して参ります。</p> <p>「R141の改修こそ先決だと実感しているのです」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p>

No.	内容	対応案
14	<p>標題:北杜市まちづくりビジョンへのパブリックコメント</p> <p>北杜市民にとって、さして利便性も向上せず、景観や環境を損ない、騒音や光害、動植物の生態系の分断破壊など、マイナス面の方が多く、市民の反対の声も多い、いわゆる「B案ルート」ありきの“まちづくりビジョン”の策定には反対です。国道141号の改修の方が、安く早く、環境への負荷も少なくて済みます。</p> <p>少子高齢化で人口減少が進むことが確実な状況で、新たに2千億円もかけて高速道路を造るのは時代錯誤の愚行です。今、国や自治体がやるべきことは、高度経済成長時代に建設されたインフラの早急な補修です。そのことは「笹子トンネル事故」などで明らかです。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「景観や環境を損ない、騒音や光害、動植物の生態系の分断破壊」に関しましては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「国道141号の改修の方が、安く早く、環境への負荷も少なくて済みます。」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p>
15	<p>北杜市中部横断自動車道とまちづくりビジョンについての意見(パブリックコメント)</p> <p>「北杜市まちづくりビジョン(素案)」にある「中部横断自動車道の整備に伴う効果」とは、そもそも一体何なのでしょう。北杜市における「中部横断自動車道」はもともと小淵沢町付近から清里方面へ抜けるルート案が示されていましたが、強い地元の反対があって、長坂インターからの新ルート案が示されました。新しいルート案にはどれだけの賛成があったのでしょうか。旧ルートも新ルートもともにハケ岳南麓で、素晴らしい景観と静謐な環境、多くの優良な農地があり、地元の住民と別荘地の住民が多く生活しています。このような農地や村落、別荘地を広く破壊して行かざるを得ない高速道路に賛成する人がどれほどいるのでしょうか。旧ルートも新ルートも賛否に大きな差異があるとは思えません。多くの方の反対を押し切って造られたとしても、そこにどんな効果があるのでしょうか。中部横断道ありきのまちづくりには大きな違和感を覚えます。まちづくりにはもっと堅実なプランを基礎に置くべきではないでしょうか。</p> <p>当地における中部横断道計画自体が小泉政権時において国の財政状況から不採算路線として建設中止が決定されたと聞いています。国の財政が一向に改善されていない中での建設計画の再浮上はアベノミクスがあると言ってもいかに危ういものであるか、考えないわけにはいきません。長期に渡って総額1000億から2000億もの巨額な費用の予算措置が継続されるものかどうか深刻な危惧を持たざるを得ません。大変なリスクが有るのではないのでしょうか。用地買収が済んだとしても、あるいは橋脚や土盛りが出来たとしても、いったん国の財政に新たな陰りが出た場合には即座に建設中止の対象になることが大いに考えられることです。何らかの建設物が残り、周囲は雑草が生い茂る荒廃した土地が広がるという最悪の事態が目に見えるようです。そんな所に住みたい人はいません。高度経済成長の時代は過去のものであり、あてにならない公共投資に頼ることなく、地域の総意に根ざした堅実な施策によって北杜市のまちづくりは行うべきではないのでしょうか。</p> <p>ハケ岳南麓には多額の経費を投入して造られた優良な農地があり、そこからは地元の農家や新規就農者の汗の結晶とも言うべき農産物が生み出されています。これをどんな効果があるかわからない計画で蹂躪することはあってはならないことと考えます。</p> <p>あえてここで私見を言わせていただければ、第一に観光や地域活動を中心に街づくりを考えるのであれば、北杜市にJRの駅が6つもある特徴を生かして鉄道を利用した地域の活性化を目指すべきではないのでしょうか。各駅、各地域とも独特の特徴を持っており、出来れば韮崎市から甲府へ至る歴史的にも魅力豊かなエリアとも連携、協力した活性化策が有効ではないのでしょうか。また、コンクリート建築物によるのではなく、田園都市として緑と清流の地域、農産物豊かな地域を、また文化・芸術に秀でた多くの方々の活躍される特色ある地域を目指すべきではないのでしょうか。当地も安曇野の清流(ワサビ田など)には負けているではありませんか。東京をはじめとする大都会には、夢をもって生活しているものの何か満たされない想いでいる人が大勢います。この想いの本当の受け皿は地方です。山梨県、特に北杜市は農業、観光、文化芸術の様々な分野で多くの人を受け入れることが出来る優れた地域になると考えられます。</p> <p>上述しました通りこの道路計画には莫大な予算が想定されています。多くの借金をかかえる日本の財政状況を考えるとき、不要不急の高速道路を建設する必然性はまったく考えられません。当地の交通は在来の国道、県道を整備すれば十分であることは多くの方の一致した意見です。在来の道路を整備することによる地域の活性化こそ、真の発展につながるものと考えられます。この方がはるかに少ない経費で済み、さらに笹子トンネル事故を考えると、これから必要とされる既存道路や橋梁のメンテナンスとそのための人材の育成、確保にこそ予算をあてるべきと考えます。北杜市内でも多くの橋梁が点検されていないと聞きます。私が時々通る掘割式のJR路線の上を通る橋梁は錆がひどく雑草に囲まれておりいかにも何年も点検整備はされていないといった感じです。万一、落下事故でもあった場合には大惨事も考えられます。何を優先すべきか明白ではないのでしょうか。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「ハケ岳南麓で、素晴らしい景観」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「静謐な環境」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」の「良好な生活環境」に含まれるものとします。</p> <p>「農地や村落、別荘地を広く破壊」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「多くの優良な農地があり」、「ハケ岳南麓には多額の経費を投入して造られた優良な農地があり、そこからは地元の農家や新規就農者の汗の結晶とも言うべき農産物が生み出されています。」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「視点①:六次産業化・農業と観光の融合による地域活性化」に『優良農地』という文言を追記します。</p> <p>「北杜市にJRの駅が6つもある特徴を生かして鉄道を利用した地域の活性化を目指すべきではないのでしょうか。各駅、各地域とも独特の特徴を持っており、出来れば韮崎市から甲府へ至る歴史的にも魅力豊かなエリアとも連携、協力した活性化策が有効ではないのでしょうか」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「田園都市として緑と清流の地域」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に位置付けられています。</p> <p>「農産物豊かな地域」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「視点①:六次産業化・農業と観光の融合による地域活性化」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「文化・芸術に秀でた多くの方々の活躍される特色ある地域を目指すべきではないでしょうか」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に『文化・芸術』という文言を追記します。</p> <p>「当地の交通は在来の国道、県道を整備すれば十分であること」に関しては、まちづくりビジョンP15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「在来の道路を整備することによる地域の活性化こそ、真の発展につながるものと考えられます」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p>

No.	内容	対応案
16	<p>中部横断自動車道活用検討委員会御中 パブリックコメントとして提出いたします。中部横断自動車道(長坂～八千穂)について進言いたします。問題は世界的に見て借金大国(約1008兆円)である日本、アメリカを除いては世界でも吐出しています。対GDP比で考えるのであれば200%超えている世界一の借金国です。(ギリシャは160%)この道路(長坂～八千穂)が国民、市民にとって本当に必要なのかと言うことです。この借金の額からすれば、道路建設費は微々たるものですが、長坂～八千穂のルートは山岳高速道路となり、冬の管理費は普通の平地の道路より吐出して多くなることは事実で借金製造道路となります。なによりこの長坂～八千穂のルートは山梨県にメリットが無いことは国土交通省のパンフレットにメリットが書かれていないことから証明されています。ミッシングリンクの解消という国土交通省用語を振りかざし、甲府河川事務所の方は建設を推進していますが国民の生活を考えているのでしょうか？バブル時代に計画されたルートを忠実に遂行しているだけではないのか？人口は減少に転じ若者の車離れも進み、今や世界的に見ても老人人口が多い国となりました。計画されたバブルの時とは時代が変わったのです。時代が変われば計画は見直すべきだと考えます。この道路は東名と中央道を結ぶルートを建設するだけで中部横断自動車道としての建設メリットは達成していると思います。国土交通省のパンフレットに書かれている清水港と新潟港を結びたいとする「国際拠点港の連携」は静岡側のルートで90%以上達成されていると思います。長坂～八千穂のルートを新たに造っても長野道を通して新潟港へ行くのと比べると14.7km近くなるだけです。</p> <p>●清水港～新潟港への、それぞれのルートの距離比較 1、長野道利用ルート 清水JCT-75km-双葉JCT-長野道ルート345km-新潟中央JCT=走行距離約420km 2、中部横断自動車道(長坂～八千穂)建設し利用したルート 清水JCT-75km-双葉JCT-中部横断ルート330km-新潟中央JCT=約405km 420km(長野道コース)-405km(長坂～八千穂コース)=約15km(建設した場合の短縮距離) 中部横断自動車道(長坂～八千穂)が建設されても距離は約15kmしか短くなりません。平たんな2車の長野道、方や山岳高速1車線の中部横断自動車道(長坂～八千穂)この二つの道の交通の安全性とスムーズさを比較した場合、距離の短さが時間短縮につながると思えません。ましてや冬場はプロのドライバーが雪の山岳高速道路を危険を冒し選ぶとは到底考えられないことです。この約15kmを短縮する為に1800億円と国費と県費を使うのは無駄ずかいと思います。災害時の代替道路に関しても山梨側には高速道路の選定候補など(アンケート)に上がるほどの良い道路が何本も存在するので新たな道路は必要としないと思います。 * * * * *などは市議会において、太平洋が見たい日本海が見たいと言うのが市民の願いであったと演説しますが、静岡側のルートさえ出来れば長坂～八千穂のルートを建設しなくても太平洋は近くなるのです。日本海は長坂～八千穂のルートを造っても時間的には近くはなりません。このように基本的には中部横断自動車道(長坂～八千穂)ルートは必要性が認められない道路だと思えます。</p> <p>北杜市は中部横断自動車道(長坂～八千穂)を命の道として推進し、これは災害復旧と緊急搬送の道という二つの側面からだと思いますが、長坂～八千穂のルートは縦に多くの道が存在します。災害復旧はこの道で機能しますし、消防署に救急車の搬送先を聞くと重症の場合は甲府の救命救急センターへ搬送とのこと。もし北杜市が真に命を考えるのであれば、長坂接続ではなく須玉や双葉を考慮すべきだと思います。距離的には病院に搬送できる時間が5ほど短縮できます。脳細胞は心停止からわか3分で死に始めます。5分は命を落とす時間にもなるのです。1分1秒でも重症患者を早く運べばより多く人の「命」を救えます。今のBルート案は命に厳しいルートです。</p> <p>国土交通省はなぜ長坂に決定した経緯を国民に明らかにせず、長坂接続を建設費用から最善だとしています。これは北杜市の基本的な考え「命の道」を考えれば数百億円増えても命を取るべきだと考えます。長坂接続に関しては、長坂ICとハケ岳パーキングの間は2kmしかなく、現計画ではその間にジャンクションが造られ各施設の間隔が1km取れないこととなり危険です。複雑になりすぎ人間の判断ミス誘発します。スピードの速い高速道路上では、判断ミスによる急激な車線変更などは重大な交通事故を招きます。道を接続するならば長坂ICより甲府側にジャンクションを造るべきです。私はなぜか長坂にしなければならないか、B案でなければならないかは、* *、県議会や市の活用委員会など山梨の有力者の土地が関係していると考えています。別の接続点では土地を通過する可能性すらなくなるからです。私がたびたびBルートの白紙撤回を求めている理由として民主主義の世の国民の平等と公平性が国の政策には必要だと考えるからです。私人土地問題が発隠しても道路建設を推進する方々が、臭い物に蓋をして案としてのBルートを推進することは、この国の公平性を阻害します。第3回ワーキングの傍聴を私も九段でしたが、審議に土地の問題は提起されずシナリオ(国土交通省)通りに進み、お芝居を見ている様でした。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「冬場はプロのドライバーが雪の山岳高速道路を危険を冒し選ぶとは到底考えられないことです」に関しては、冬期の走行安全性に関するご意見と捉えており、まちづくりビジョン(素案)P14から「視点①:安全安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参るとともに、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>また「長坂接続に関しては、長坂ICとハケ岳パーキングの間は2kmしかなく、現計画ではその間にジャンクションが造られ各施設の間隔が1km取れないこととなり危険です。複雑になりすぎ人間の判断ミス誘発します。スピードの速い高速道路上では、判断ミスによる急激な車線変更などは重大な交通事故を招きます。」に関しても、まちづくりビジョン(素案)P14から「視点①:安全・安心の確保に向けて」に基づき取り組んで参ります。</p> <p>北杜市中中部横断自動車道活用検討委員会は、「まちづくりビジョン」を審議することから、地域の代表者や地域の主要産業である観光、商工業及び農業などの分野から委員を構成しています。多様な立場から意見を賜り、委員による合議制により審議を行うこととなります。また、「まちづくりビジョン」は、委員のみの意見にとどまることなく、地域の皆様を対象に複数回にわたる意見の把握を行い、それらの意見を踏まえながら策定していくこととなります。さらに、検討委員会は、「北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱」に基づき公開で審議されているところであり、検討委員会の開催や審議結果などの情報は北杜市ホームページに掲載し、透明性を確保しながら審議を行っています。こうしたことから、「* *、県議会や市の活用委員会など山梨の有力者の土地が関係していると考えています」、「私人土地問題が発隠しても道路建設を推進する方々が、臭い物に蓋をして案としてのBルートを推進することは、この国の公平性を阻害します。」「土地の問題」という意見について、検討委員会の目的達成に当たっては、問題がないと認識しているところです。</p>

No.	内容	対応案
	<p>・このB案ルートを選定には以下の悪意が存在します。</p> <p>①国土交通省、県、北杜市も中部横断自動車道(長坂～八千穂)の長坂接続を15年前に決めておきながら計画を北杜市民に進んで告知しなかった(反対運動を恐れて知らせなかったのか?)</p> <p>②住民の意見を集めた第2回アンケート 配布と集計、長坂～八千穂のアンケートなのに建設の進む長野側に配布をしている。(建設が進む地域では反対する理由が存在しない。佐久市は長坂～八千穂間ではない。)</p> <p>回答用紙の誘導的作為(記述式回答欄と賛成意見としかならない設問)。 恣意的な集計と解釈。(北杜市での141号の改良意見を無視など)</p> <p>③計画段階評価が地域と関わりが少ないワーキングメンバーにより審議され一般住民を無視して進められたこと。(A、Bルート案選定経緯は不明のまま)</p> <p>④国土交通省に公人土地問題を伝えるも、第3回ワーキングの資料として載せる要請を受諾した後、法律用語を悪用して拒否する。(個人情報保護法の観点より資料として審議しないとする。)</p> <p>⑤第3回ワーキングで使用した資料-2-2の頂いた全ての意見(集計結果)の表は作為的で道路の反対意見を細分化し、あたかも建設賛成が多いように思わせる詐欺的で恣意的な集計である。 このことは建設に反対する人が多い現状を隠ぺいするものだと思います。 このような悪意の中で第3回ワーキングがB案を望ましいルートだと結論を出したことは遺憾です。 公人の土地問題では国土交通省の官僚を含め関係者に内容証明を配達証明で送付して、Bルート案の白紙撤回を求め、問題ないとする場合は理由の説明を文書にて回答を求めましたが、期日を過ぎても未だ一通も回答がありません。この事実は土地問題が問題があるので答えられないのであり、理論的に問題が無ければ回答できるはずなのです。 北杜市民のため、活用検討委員会に提案いたします。***が自ら一人で提言し国土交通省が押し付けているBルート案の白紙撤回を目指すことを決議して、活用検討委員会委員の市民代表枠を行政の末端の区長でなく北杜市民より公募で選ぶべきです。 賛成派だけで会を運営するのではなく、反対をする会の人間も加えるべきです。よろしくお願いいたします。</p>	<p>「賛成派だけで会を運営するのではなく、反対をする会の人間も加えるべきです」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プランの策定においても、引き続き地域の皆様のご意見を伺いながら検討して参ります。</p>
17	<p>中部横断自動車道活用検討委員会御中</p> <p>私が今回の建設計画を知り、****に面談を求め、お会いし話をすることで、計画は20年前から15年前には長坂に中部横断道のジャンクションが出来ることは告示されているとの話を聞き愕然としました。**は私に「今更なに言っている勉強不足だ」と言いました。私は愛知県から長坂に永住したのが8年前です。この時点ですでにジャンクションの計画は存在していたのです。私がこの土地を買い求めた理由は眺望も素晴らしいのですが、夫婦が老いた時でも病院やスーパーが自力で歩いて行ける場所と思い購入しました。購入前に市役所へ行きこの市に関する情報を集め、この場所に住む決断をし、ローンをして家を建てました。</p> <p>もしも計画段階で、市役所に中部横断道の計画のパンフレットなり計画がうたわれていれば中央道をはさんで静岡側に購入するか北杜市には永住しなかったはず。ジャンクションが出来ると分かっている、そこに新築の家を建てる人はいないと思います。</p> <p>私は**に言われてから市役所の受付に行き中部横断道に関する掲示は有りますかと聞きましたが知らないとの回答でした。自分の目でも確認しましたが掲示はありませんでした。</p> <p>私が言いたいことは、建設に対して北杜市にとって必要だと判断して建設誘致をするならば市民への広告は行うべきだし、移り住もうとする人たちへの礼儀だと思います。</p> <p>多くの人たちが中部横断自動車道(長坂～八千穂)の計画を知らず長野側に土地を買い求め住み始めています。もし市役所に誇らしく中部横断道が造られる街として掲示がされていけば、苦しい生活を余儀なくされる人も少なかったと思います。</p> <p>北杜市は情報を知らせる努力を怠り現在の反対運動を生んでいるのです。この責任は市が負うべきものと思います。</p> <p>市は現在推進されているBルート案の白紙撤回を進言して市の道路計画を20年間凍結するべきです。それが情報を市政の怠慢で市民に知らせなかった責任のとり方だと思います。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>北杜市中部横断自動車道活用検討委員会は、「まちづくりビジョン」を審議することから、地域の代表者や地域の主要産業である観光、商工業及び農業などの分野から委員を構成しています。多様な立場から意見を賜り、委員による合議制により審議を行うこととなっています。</p> <p>また、「まちづくりビジョン」は、委員のみの意見にとどまることなく、地域の皆様を対象に複数回にわたる意見の把握を行い、それらの意見を踏まえながら策定していくこととなります。</p> <p>さらに、検討委員会は、「北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱」に基づき公開で審議されているところであり、検討委員会の開催や審議結果などの情報は北杜市ホームページに掲載し、透明性を確保しながら審議を行っています。</p> <p>こうしたことから、「市民への広告は行うべき」、「北杜市は情報を知らせる努力を怠り」、「情報を市政の怠慢で市民に知らせなかった」という意見について、検討委員会の目的達成に当たっては、問題がないと認識しているところです。</p>

No.	内容	対応案
18	<p>北杜市中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(素案)のパブリックコメント 上記ビジョンをホームページで拝見しました。以下意見を述べさせていただきます。 日本は、敗戦後の復興の過程で大きな過ちがあったと思います。それは、人間が生きていく基本である「自然の恵みを頂く」農業、林業、酪農、漁業などを大切にしていなかったことです。それがこのビジョンにも反映しています。日本の、そして北杜市の将来を考えるなら、まず農業、その基礎となる土壌や作り手の確保をどう守るかが基本的なことだと思います。今稲作や野菜作りをしている高齢者が働けなくなったら、里山保全ゾーンや田園集落ゾーンはますます荒れていくでしょう。環境も景観も、人を含めた動植物が健やかに生存し続けられる事を基本に据えての事ではないでしょうか。それらの基盤がしっかりした所こそ、長期滞在したい癒しの地域になると思います。 14pに、「北杜市は、…交通安全の観点から危険な生活道路の散在、市民の足となる公共交通網が不足していると捉えています」と書かれています。北杜市は高齢者の事故が多いと警察から指摘されています。生活道路の整備、公共交通の整備で市民の安全・安心を保障することに財源を充てるべきで、中部横断自動車道が全て高速である必要はないと思います。国道141号線に必要な改良整備をして、そしてそこに繋がる生活道路も整備されて事故が少なく安全となれば、訪れる人も安心して移動できます。たとえ高速を使って短時間で来ることが出来ても、高速を降りたら事故が多い危険な地域というのでは、特に地域の事情を知らない観光客は不安になるでしょう。うわべだけの景観を主とした観光を謳歌する時代ではないと思います。 これからの人口減少を考えても、高速道路に莫大なお金を注いで孫子の世代に借金の付けを回すより、既存の道路の改良・改善でより少ない資金で安全安心のまちづくりを進める事を求めます。また、今後の人口減少予測、中部横断自動車道南麓ルートの利用者数予測、費用対効果を、過大予測ではなく科学的に納得できる形で示して下さい。よろしく願い申し上げます。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で「北杜市の将来を考えるなら、まず農業、その基礎となる土壌や作り手の確保をどう守るかが基本的なことだと思います。今稲作や野菜作りをしている高齢者が働けなくなったら、里山保全ゾーンや田園集落ゾーンはますます荒れていくでしょう。」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「視点①:六次産業化・農業と観光の融合による地域活性化」に基づき、取り組んで参ります。 「環境も景観も、人を含めた動植物が健やかに生存し続けられる事を基本に据えての事ではないでしょうか。それらの基盤がしっかりした所こそ、長期滞在したい癒しの地域になると思います」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。 「生活道路の整備、公共交通の整備で市民の安全・安心を保障すること」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に『安全性向上』という文言を追記します。 「国道141号線に必要な改良整備をして、そしてそこに繋がる生活道路も整備されて事故が少なく安全となれば、訪れる人も安心して移動できます」、「既存の道路の改良・改善でより少ない資金で安全安心のまちづくりを進める事を求めます」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参るとともに、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際、経済性にも配慮し、検討して参ります。</p>
19	<p>標題:パブコメ 中部横断自動車道活用検討委員会事務局御中 申すまでもなく、中部横断自動車道(長坂-八千穂)の整備は、国道141号の改修によって可能であることはすでに明らかどころです。 またすでにご承知のとおり先の「明野処分場」問題を巡っては、「村は割れに割れ、親戚、親兄弟が憎み合うこともざらだった。」(2013/3/27「朝日」)という許しがたい状況をうみました。それは山梨県の「はじめに処分場ありき」の行政によってもたらされたものであることは今日明明白白なのです。 中部横断道路の整備に関しまして、これまでの国交省や****の住民を無視した独断的で一方的な進め方、さらには上からの「住民決起集会」や「中部横断自動車道活用検討委員会」等のデッチアゲとアリバイ作り等容認しがたい数々の問題があります。そこに見られるのは道路づくりは国や行政が行うこと、問答無用に独断的にオカミが行うものであり、住民の関与することでないという、決して容認できない思い上がった姿勢です。 ご存じのとおり私たちは住民はこれまで繰り返し、ただひたすらに住民との話し合いや協議、そして住民参画型の道づくりをもとめてきましたが、北杜市や国交省はこれを無視し排除してきました。これまでのそのような姿勢こそが、この間地域住民の間にいたずらに不要な溝・わだかまりを作り上げたのみならず、新たに南麓に移住を願う人々にも様々な混乱をも生じさせてきました。その責任はきびしく問われなくてはなりません。 私は住民の一人として、「はじめに高速ありき」の姿勢とそこからくる住民不在で非民主主義的なこれまでのやり方を直ちに止め、北杜市・国交省が住民と一緒に道づくりを進めることを求めるものです。 南麓も例外なく急速に少子高齢化が進む今、子や孫に車の走らない道路や莫大な負の遺産・借金を残すことは決してあってはなりません。残すべきは南麓の素晴らしい環境と強固な南麓の民主主義体制(市政、地域・環境)であり、そこで育まれた思いやりと心豊かな市政と住民そのものだと思います。それを根付かせれば必ず過疎化をはねのけ将来にわたって「地域の活性化」をすすめ、美しい南麓を押し上げるものと確信します。 私たちは今後も「高速つくりたい・R141の改良を」の立場を堅持しつつ、地域住民が立場を超えて団結を強め、南麓を守り発展させる運動を進める決意です。この方向にこそ未来はあると思います。 ここにあらためて八ヶ岳南麓を横断する高速道路の整備に反対し、国道141号の・改修・整備を求めるものです。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で「国道141号の改修」、「R141の改良を」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。 「残すべきは南麓の素晴らしい環境」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p>
20	<p>標題:中部横断自動車道活用検討委員会 パブリックコメント 道路河川課様 標記の件名について一言意見を申し上げます。 まちづくりの全体コンセプトにある優れた環境の保全と集約型のまちづくりにある目標とする骨格構造の二番目に骨格軸の形成なる項目があります。その先頭に都市連携軸の項目には以下の文章があります。 引用開始:鉄道網及び中央自動車道、国道20号、国道141号を本市と他都市間を連携する都市連携軸と位置づけ、機能の一層の強化を図る。:引用終わり 全くこの文章の通りです。 本市の環境保全、財政を考えると新規の高速道路は不要です。 国道141号の機能の一層の強化に我々の税金を使って下さい。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で「国道141号の機能の一層の強化」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p>

No.	内容	対応案
21	<p>1.名称が「北杜市中部横断自動車道活用検討委員会」となっているように、中部横断道の活用を前提とした委員会として認識しているが、そもそもの中部横断道建設計画のアンケートでは、北杜市の課題を解決するために、どのルートが良いかを問うていた。アンケートの結果は、141号線改修が多数意見であった。</p> <p>その結果を無視してB案を前提にしていたら、どのように横断道を活用しても課題が解決されない。100歩譲って、B案だけで課題が解決するのか？北杜市の抱える課題は、アンケートには載っていない課題も多くある。北杜市として、北杜市の抱える課題を明確にし、その課題の解決には、高速道路の建設是非も含めて議論すべきである。</p> <p>アンケートの結果は141号線改修が多数意見であった。北杜市の課題が、141号線を、どのように改修すれば解決するのか？ その辺りから議論を深めても良いのではないか。現状では高速道路建設反対である。</p> <p>2.「北杜市まちづくりビジョン(素案)」で、別紙のように、まちづくり計画のイメージが決まっている。まだ中部横断道のルートも建設計画も決まっていないのに、それを前提にして、その計画を変更しようとしている。北杜市の住民の合意で決めた計画を、変更しようとしている。</p> <p>本当に中部横断道が、北杜市にとって真に役に立つ道となるのか？ その議論から始めるのが市としての役割ではないのか。国が決めたからと言って、その通りに推進しようとする姿勢は無責任である。以下の点を、しっかりと詰めてから活用検討委員会を組織すべきだ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.新たな道の保守点検で財政的に可能か？ 2.そのとき、従来の道の保守も含め、保守人員、技術者の確保は出来るのか？ 3.八ヶ岳南麓に高速道路が出来て、人口減や観光に悪い影響がでないか？ 4.特Aランクの梨北米の収穫量、ランクに悪い影響がでないか？(水量、水質、品質、耕作面積、就農者数など) 5.北杜市の財政資源を、何とするか？(観光・農業・自然の地形を活かした産業・企業誘致による都市化など) 6.その他 <p>上記を、十分に検討し、その上で住民の意見を、ルートの決まった(実は決まっていない)高速道路を前提にしないパブリックコメントで募るべきである。この意見も排除しないで、パブリックコメントの高速道路建設反対に分類して頂きたい。</p> <p>3.*****は、「丁寧なコミュニケーションを」との指示があった。しかし、その後の新ルートの2案は、八ヶ岳南麓に通ずルートは、2案とも同じものであり、コミュニケーションの余地が無いものであった。そのような状況を*****はご存知なのか？ ご存知なら、このようなルート案は、絶対に容認されないはずである。国交省は、*****と「丁寧なコミュニケーション」が出来ているのか？ *****は、八ヶ岳南麓地域を風景街道に指定して人であるから、その地域の住民が反対していることを存じていたら、このルートは通さないと信じている。是非、*****の言う「丁寧なコミュニケーションを」を、活用検討委員会で行って頂きたい。特に前提としているB案の対象地域に住む住民の意見を、聞くべきである。残念ながら現状では高速道路建設反対である。</p> <p>4.八ヶ岳南麓の地域は、日本でも有数の景勝地である。その環境は、地元住民が永年守り続けたおかげである。それを国が決めたからと言う理由で、横断道を建設することは、地元住民を蔑ろにするだけでなく、観光や二地域居住の政策に反し、北杜市の財産である八ヶ岳南麓の環境を破壊し観光都市となり得なくなる行為である。経済的にも決して北杜市の利益にはならない。</p> <p>ここ数年で、多くの人が南麓に移住してきた。北杜市の人口推移を見れば明らかである。この人達は、様々な分野(アートクラフト、飲食店、農産物、食品製造など)で、地域の環境を活かしたモノ作りで店舗などを構え、近郊都市からの集客を実現し地域活性化に貢献している。この事実が、八ヶ岳南麓の環境が北杜市の財産であることを示している。それを壊すことは、北杜市の未来を壊すことである。従って、現状では高速道路建設反対である。</p> <p>5.清里の近くに高速道路のインターチェンジ設置をとの声もあるが、インターチェンジが出来たら、それだけで賑わいが戻ることは無い。軽井沢の例を挙げると、中心地を遠く離れたところにインターチェンジがあるが、それで、賑わいが無くなることは無かった。むしろ、中心地に行くまでの道路沿線に活気が出てきたし、中心地も同じようににぎわっている状況である。注目すべきは、インターチェンジから中心地への道が活性化したこと</p> <p>また、清里にインターチェンジが出来たら、この地は、都心からの日帰りコース、軽井沢への通過コースになることは目に見えている、現に山梨市は、日帰り客が増えて、宿泊業者が困っている状況になっている。山梨市のこの舞になることは必然である。</p> <p>このように清里の近くにインターチェンジが出来たら、観光客が増えても清里地区の宿泊業は衰退するであろう。更に、今は清里へは、長坂ICから県道28号線、須玉ICから国道141号線が主要な道となっているが、高速道路が出来たら、今でも少ない交通量の中で頑張って営業を続けている個性的な店が決定的なダメージを受けることになる。つまり、清里の一部の観光スポットが賑わうが、清里の宿泊業者、県道28号、国道141号沿いの店が衰退し、北杜市の観光産業に大きなダメージになる</p> <p>八ヶ岳南麓に高速道路は要らない。現状で魅力ある施策が創れるか否かである。市政と住民との、密なコミュニケーションがあれば実現できる。現状では高速道路建設反対である。</p> <p>6.八ヶ岳南麓には、四全総で長坂-八千穂が決まってから以降も移住してくる人が増えている。北杜市が年々人口を減らす中、主たる南麓の地域である大泉町、高根町、長坂町は、人口が横ばいか少し増加の傾向にある。特に大泉町は、移住者が過半数を超えたと聞いている。</p> <p>それら移住者が、北杜市に何を求めて移住したのか？ 移住者が北杜市の経済活動にどの程度寄与しているか？ しっかりとアンケートで意見を募り、施策に反映すれば、きっと良くなる。</p> <p>私は、自然の中で、且つある程度の都会の便利さを享受できる、そのような終の棲家を求めて移住してきた。自然の中で、澄んだ空気がもたらす青空と夜の星がいっぱい見える星空、八ヶ岳の伏流水のおいしい水、北になだらかに広がった八ヶ岳、西に甲斐駒・北岳などの雄大な南アルプス、南に世界遺産富士山など、日本の最高峰ベスト3が一度に見られる風景、多少遠いがスーパーマーケット、コンビニなど、生活に不便無いお店など、ほぼ完璧な環境である。従って、現状では高速道路建設反対である。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で「まちづくり計画のイメージが決まっている」に関しては、まちづくりビジョンは既存計画・上位計画と整合を図り取り組んでいくものです。</p> <p>「1.新たな道の保守点検で財政的に可能か？ 2.そのとき、従来の道の保守も含め、保守人員、技術者の確保は出来るのか？」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」に「維持・管理」に関する文章を追記します。</p> <p>「3.八ヶ岳南麓に高速道路が出来て、人口減や観光に悪い影響がでないか？」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「4.特Aランクの梨北米の収穫量、ランクに悪い影響がでないか？(水量、水質、品質、耕作面積、就農者数など)」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「視点①六次産業化・農業と観光の融合による地域活性化」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「観光や二地域居住の政策」に関しては、上位関連施策等と整合を図りながら(各種団体の取組とも調整を図りながら)進めて参ります。</p> <p>「様々な分野(アートクラフト、飲食店、農産物、食品製造など)で、地域の環境を活かしたモノ作りで店舗などを構え、近郊都市からの集客を実現し地域活性化に貢献している」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に『八ヶ岳南麓の魅力に後押しされた豊かな経済活動の促進』という文言を追記します。</p> <p>「清里の近くに高速道路のインターチェンジ設置をとの声もあるが、インターチェンジが出来たら、それだけで賑わいが戻ることは無い。軽井沢の例を挙げると、中心地を遠く離れたところにインターチェンジがあるが、それで、賑わいが無くなることは無かった。むしろ、中心地に行くまでの道路沿線に活気が出てきたし、中心地も同じようににぎわっている状況である。注目すべきは、インターチェンジから中心地への道が活性化したこと」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「清里の近くにインターチェンジが出来たら、観光客が増えても清里地区の宿泊業は衰退するであろう。更に、今は清里へは、長坂ICから県道28号線、須玉ICから国道141号線が主要な道となっているが、高速道路が出来たら、今でも少ない交通量の中で頑張って営業を続けている個性的な店が決定的なダメージを受けることになる。つまり、清里の一部の観光スポットが賑わうが、清里の宿泊業者、県道28号、国道141号沿いの店が衰退し、北杜市の観光産業に大きなダメージになる」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「自然の中で、澄んだ空気がもたらす青空と夜の星がいっぱい見える星空、八ヶ岳の伏流水のおいしい水、北になだらかに広がった八ヶ岳、西に甲斐駒・北岳などの雄大な南アルプス、南に世界遺産富士山など、日本の最高峰ベスト3が一度に見られる風景」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。</p>

No.	内容	対応案
22	<p>標題・中部横断自動車道に関する意見 中部横断自動車道活用検討委員会事務局御中 中部横断自動車道には絶対、反対です。 中部横断自動車はもちろん、道路や橋のインフラに関する行政の対応に対し不安と不満があり、筆を執らせていただきました。 現在、国の借金は6月の時点で1,000兆円を超え、3ヶ月後の9月には1,011兆円となり、増える一方です。 その反面、人口の減少は止まることを知らず、2060年には9,000万人を割込み、高齢化率は40%に近い水準になると推計されています。 この日本の状況を鑑みると道路、トンネル、橋及び上下水道等のインフラについては老朽化に対応するだけで精一杯のはずです。 しかし現政権下では『国土強靱化』の旗の元、新規の高速道路建設に邁進しています。 今回の中部横断自動車道においても、北杜市内だけでも2,000億円の税金が投入されようとしています。 行政のこのような無計画なインフラ政策に対し、下記のモットーに移行する時期ではないかと考えます 『造つくるから繕つこうへ』 今後、私達は人口減少を受け、限りある財源の中から本当に必要なインフラに優先順位をつけていかなければなりません。 近い将来、財政の破綻が現実味を帯びてきます。 国交省の方々には未来の後輩に軽蔑されないよう、この時点で賢明な施策に移行するようお願いしております。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p>
23	<p>標題:中部横断自動車道活用検討委員会事務局 中部横断自動車道活用検討委員会事務局御中 パブリックコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ★新潟に早く行けるようにするなら、141号の改修の方が、工期が早いし費用も少ない。南麓を通す高速道路反対・141号改修を ★工事に10年もかかり、その期間中の工事場周辺は、騒音とダンプの通行、ホコリで生活環境が悪くなる。南麓を通す高速道路反対・141号改修を ★高速道路の保守費用は、ずっと続く。今の北杜市や県は、いまの道路の保守も出来ない状態だ。合併特例の交付金も無くなるし。南麓を通す高速道路反対・141号改修を ★山梨の経済は、佐久方面に依存しているのではなく、東京方面に依存している。中央高速の東京方面の渋滞を解消や、その代替道路の20号の整備が、山梨経済にとって大事なので、そっちに金を使って。南麓を通す高速道路反対・141号改修を ★141号線改修が、環境の負荷も少なく費用も安い。南麓を通す高速道路反対・141号改修を ★141号線を改修すると、沿線の店も活性化される、店も多くなる。南麓を通す高速道路反対・141号改修を ★Bルート前提の活用検討委員会はおかしい。住民の意見でルートをきめるべき。南麓を通す高速道路反対・141号改修を ★八千穂までは、141号線を整備するだけで充分。生活道路なので、早く改修して。南麓を通す高速道路反対・141号改修を ★北杜市の人口が増えているのは、南麓地域だけ。ここの移住者や別荘所有者が何故、ここに決めたのかをアンケートを取って。そうしたら南麓に高速を通すなど出来ないはず。南麓を通す高速道路反対・141号改修を ★1360mの高地に高速を通して冬場の安全は守れるのか。通行止め、事故、保守費用もかかる。南麓を通す高速道路反対・141号改修を ★高速道路によって生活の場と自然の場が分断される。この地への移住者は、自然の中での暮らしを求めてきた人で、これでは逃げ出す住民や、この地に移住しようとする人は来なくなるだろう。南麓を通す高速道路反対・141号改修を ★環境・景観にやさしく利便性のある道路を目指すなら、自然への影響が少ない、既にある141号線改修がよい。南麓を通す高速道路反対 ★環境を大切にしながら、という視点が大事で、生活面も重要である。それに対応できるのは、141号線改修だけだ。南麓を通したら環境と生活の両方が駄目になる ★絶対に、南麓を通さない。南麓を通す高速道路反対・141号改修を ★豊富な緑をなくすことのないように、かつ、生活道路も整備が必要。南麓を通す高速道路反対・141号改修を ★動物・生態系への影響が生じる可能性があるなら、開発は最小限にとどめるべきだ。南麓を通す高速道路反対・141号改修を ★滑らかな豊富な水資源、特に名水百選に選定された湧水等の地下資源は、今貴重である。高速道路開発で、それらは絶対に失われる。高尾でも、滝が枯れることが無いと言われたが、実際には枯れた実績がある。壊れた自然は戻らない。南麓を通す高速道路反対・141号改修を ★眺望が人工物で少しでも壊れることは絶対に許せない。人工的な植栽でも、自然ではない。景観が分断される。南麓を通す高速道路反対・141号改修を ★南麓に、景観を壊す人工物はいらぬ。南麓を通す高速道路反対・141号改修を ★SAPA等を含む道路からの景観だけを良くしても、住宅地からSAPAを見ると、自然の中の人工物を見ることになる。騒音や光害で生活静穏権が犯される。南麓を通す高速道路反対・141号改修を ★建設技術がいくら進歩しても、自然の美しさを越えることは出来ないし、開発時には、必ず自然は壊れる。一度壊れた自然は、回復まで、数十年かかる。南麓を通す高速道路反対・141号改修を 	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で「141号改修を」、「現状の141号は、曲がり角が多い。場所によっては大型が対向できない。生活道路で危険である」、「現状危険な141号を改修すれば」、「生活道路も整備が必要」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「工事場周辺は、騒音とダンプの通行、ホコリで生活環境が悪くなる」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ることとし、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「ハケ岳PAから長坂ICの間は3kmしかないがその間にもう一つICを作るのは常識的に考えて危険」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「1360mの高地に高速を通して冬場の安全は守れるのか」に関しては、冬期の走行安全性に関するご意見と捉えており、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参るとともに、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「動物・生態系への影響が生じる可能性があるなら、開発は最小限にとどめるべき」、「滑らかな豊富な水資源、特に名水百選に選定された湧水等の地下資源は、今貴重である」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「SAPA等を含む道路からの景観だけを良くしても、住宅地からSAPAを見ると、自然の中の人工物を見ることになる」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。</p>

No.	内容	対応案
	<p>★いくら現在の技術を使っても、土手、防音壁、植栽などでハケ岳の景観は、必ず壊れる。南麓を通す高速道路反対・141号改修を ★世界遺産を目指す山岳景観に道路ができては世界一とは言えない。南麓を通す高速道路反対・141号改修を ★高速整備で一般道よりも排ガスなどは少なく済むとの意見があるが、排ガスは減っても、騒音は大きくなる。南麓を通す高速道路反対・141号改修を ★現状の141号は、曲がり角が多い。場所によっては大型が対向できない。生活道路で危険である。早く141号線改修を。 ★現状危険な141号を改修すれば、長野県の方にも安全に行きやすくなる。若い人は、色々見聞きできる。南麓を通す高速道路反対・141号改修を ★現状危険な141号を改修すれば、北関東方面にも行き易くなる。南麓を通す高速道路反対・141号改修を ★長野側にとっても、141号を改修すれば、山梨県にも来易くなる。南麓を通す高速道路反対・141号改修を ★ハケ岳PAから長坂ICの間は3kmしかないがその間にもう一つICを作るのは常識的に考えて危険。南麓を通す高速道路反対・141号改修を ★救急医療面を課題に挙げているが、元々、山梨県側は、甲府方面に搬送しているので、問題ない。山岳地域での救急搬送は、ドクターヘリか、救急病院を配置すべき。道路を造って解決する問題ではない。南麓を通す高速道路反対・141号改修を ★防災面でも141号線改修で、ミッシングリンクの解消条件である60km/hで走れる道路は一部バイパスなどの改修で可能。南麓を通す高速道路反対・141号改修を ★農地の基盤整備をしたところは避けていただきたい。南麓を通す高速道路反対・141号改修を ★山岳景観を売りにしているので、景観を守って欲しい。南麓を通す高速道路反対・141号改修を ★新潟まで開通すると、物流拠点ができる可能性が高いとの意見も見受けられるが、1360mの急勾配の高地を通る高速道路は危険で、霧や冬期は雪や凍結などによる事故で通行止めが多いだろう。片側1車線で、事故や工事があると、頻りに片側交互通行になるだろう。そのような高速道路を運送会社は輸送時間が読めないで利用しない。南麓を通す高速道路反対・141号改修を ★アクセスについては、清里ICが良い。観光客を考えるなら、清里駅近いほうが良いとの意見があるが、軽井沢はICが山の中だが、観光客は多い。ICがあることが観光客が増える条件ではない。逆に、山梨市のように、日帰り圏になって宿泊客が減ることになる。南麓を通す高速道路反対・141号改修を 最後に 国交省の甲府河川局は清里高原道路を利用する以前の計画は「ミスってしまった」とあっさり反省していましたよ、なのでこの計画もそんな根拠もない計画、つまり白紙となるでしょう</p>	<p>「高速道路によって生活の場と自然の場が分断される」、「環境を大切にしながら、という視点が大事で、生活面も重要である」、「南麓を通したら環境と生活の両方が駄目になる」、「騒音や光害で生活静穏権が犯される」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「環境・景観にやさしく」、「豊富な緑をなくすことのないように」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「現在の技術を使っても、土手、防音壁、植栽などでハケ岳の景観は、必ず壊れる」、「世界遺産を目指す山岳景観」、「山岳景観を売りにしているので、景観を守って欲しい」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「アクセスについては、清里ICが良い」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「山梨市のように、日帰り圏になって宿泊客が減ることになる」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P19観光「視点③:周遊・滞在(型)観光を促進する情報発信の工夫」に基づき、取り組んで参ります。</p>
24	<p>標題:中部横断自動車道まちづくりパブリックコメント 中部横断自動車道活用検討委員会事務局 北杜市役所道路河川課御中 中部横断自動車道路の計画は当初から反対で何度も説明会に出席し反対の意志を示してきました。(長野県側は反対ではありません——何も言えません) 北杜住民や別荘の方の大多数が反対なのに何を以て「中部横断自動車道路」の計画が進んでいるのですか？ 道路建設のメリットとして、緊急性の道路・観光・東京へのアクセス…等々が上げられていますがこのメリットは高速道路の建設とは関係ありません。 国道141号の整備する事で、高速道路のメリットは全て解消されさらに環境・建設費の削減・ハケ岳地域の過疎化の防止—等々のメリットが上げられます。 何故、国道141号の整備案が自動消滅しているのですか？ 今回の道路建設は①高速道路を作るのか？ ②国道141号の整備か？ ——このどちらを検討し、そして選択して進めていくのではないのですか？ 高速道路は不要です。 国道141号をしっかりとまじめに検討すれば、北杜市民にとって素晴らしい道路になります。 高速道路が出来れば思ったよりも過疎化が進み北杜市の発展は難しくどのような構想でまちづくりをされるのですか？ 国道141号を整備すれば人々が集まり観光が栄え、まさに北杜市のまちづくりになるのです。 高速道路は反対です。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で「国道141号の整備する事で」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「環境・建設費の削減・ハケ岳地域の過疎化の防止—等々のメリットが上げられます」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」、P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参るとともに、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p>

No.	内容	対応案
25	<p>パブリックコメント 「(仮称)中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(素案)」への意見書</p> <p>新ルート決定までの経過は不可解 2012年10月4日に関東地方小委員会が旧清里有料道路ルートの変更を示してからたった1か月後に新ルートA/B案が発表されました。1・2回のアンケートにも載っていないルートでした。高速道路のルートがこんなに簡単に決められてよいはずがありません。現地調査の時間もなく、地図上に清里から長坂まで筆で線を引いただけのものと思われます。沿線地域に生活している人々からの反対の意思表示は強いものであったのは当然なことでした。 私たちは、突然出されたこの新ルート案に反対です。</p> <p>何故まちづくりビジョンが必要なのか？そして何故今なのか 地元説明会では高速道路は順調に進んだとして13年後に完成とのことでした。 まだ新ルートが決定されていないにも拘らず中部横断自動車道活用検討委員会が作られ、なにも議論がなされない会議が3回行われてビジョン素案が出されました。なぜこのように急ぐのでしょうか。それは昨年6月に出席されたワーキンググループが出した付帯条件「継続して地元住民の意見を聞く仕組みづくりを構築すること」によるものです。このようにまちづくりビジョンが高速道路の建設のために形式的に作られて良いのでしょうか。 私たちは、このような活用検討委員会の開催と、そこでの議論の進め方に憤りを感じています。</p> <p>中部横断自動車道ができれば 活用検討委員会の資料によれば中部横断道が作られたら多くの良いことが並べられています。ビジョンの基本方針には「豊かな自然環境との調和」「暮らしやすさの向上」「農業と観光の融合による地域活性化」「ゆたかな景色を満喫できる場の工夫」が並んでいます。これらの全てが、人工的なシンボルにもなっている高速道路によって破壊されるものと沿線住民の私たちは感じているものです。 中部横断道新ルートの計画は交通量の少なさから片道1車線になっています。有料にしても採算が取れないので国直轄方式で無料になりそうです。当然サービスエリアは作られません。そして国道141号線、県道28号線沿線の商店は交通量の激減による衰退が避けられません。</p> <p>新ルート発表で地域地民間の深くなる溝 ここ八ヶ岳南麓は日本には稀有な山岳景観と豊かな八ヶ岳の森に囲まれて静かな生活に適した地域です。首都圏に近いという条件もありリタイア後の静かな生活を求めて移住している人そして、避暑地として別荘が多いのが特徴になっています。この人たちは静かな生活を望んでいることから高速道路には反対です。そして中部横断道建設を数十年と働きかけてきた集落の住民は当然にも賛成です。コミュニケーションの少ない地域住民間で賛成・反対を主張すれば悪い感情が醸し出されることは当然の成り行きになります。地元説明会の場でもこの感情の噴出が見られました。地域住民の融和を求めてしかるべき北杜市当局は反対の考えを持っている人たちの運動を押さえ込むことしか念頭にないのは残念としか言えません。地域の活性化には住民間の良好なコミュニケーションがあることが不可欠です。</p> <p>地域の活性化とは何か 野辺山から国道141号を南下すると八ヶ岳南麓地域の特徴がよくわかります。それまでの国道141号だけの一本道から八ヶ岳横断道、県道28号、広域農道等多くの道に枝分かれをしています。そして、ゆたかな森と田園の中に集落と移住者の家が点在しています。レストラン、カフェ、パン屋さんが多くあるのも特徴の一つです。クラフト作家の工房が隠れているのも他にないもの一つです。自然の風景が創作活動を後押ししているのは間違いのないことです。八ヶ岳南麓の地域は独特の雰囲気と豊かな経済活動がなされているのです。これらのことは生活している人々のたゆまぬ努力で作られているものです。決して行政の指導とかビジョンによるものではありません。そういう住民たちの努力を十分に汲み取って行政の施策に生かしていくために、活用検討委員会では「B案が前提」という枠を設けるのではなく、もっと幅広い立場で市民の意見を聞くことが必要です。</p> <p>住民参画型の道づくりを！ この道路のルートを住民参画で協議してまとめてほしいと度々要望してきました。しかし北杜市は、ルートは国が決めるものとの考えを変えませんでした。国は、北杜市が動かないからやらない、とお互い「火の粉を被りたくない」と思ったのでしょうか。この地域住民置き去りは、住民が犠牲になる構図でもあることをどのように考えているのでしょうか どのような道路をどこに通すのが地域活性化につながるか、少しでも良い判断をするため国交省もガイドラインを設けて住民参画での道づくりを進めています。住民参加により計画の当事者意識も生まれ、行政への信頼も増すのではないかと思います。他の地域でできている住民参画型道づくりがここ北杜市では何故できないのでしょうか。</p> <p>最後に基本理念 以下の文はビジョンの基本理念として作られています。 地域を『つなぐ』、地域を『支える』、地域『なじむ』 地域との『協働』による北杜のまちづくり・みちづくり この言葉どおり、原点に返ったみちづくり、まちづくりのため、活用検討委員会は休止し、幅広い市民間協議をはじめめることを提案します。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で「国道141号線、県道28号線沿線の商店は交通量の激減による衰退が避けられません」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針：魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「八ヶ岳南麓は日本には稀有な山岳景観と豊かな八ヶ岳の森に囲まれて静かな生活に適した地域です」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②：優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「地域の活性化には住民間の良好なコミュニケーションがあることが不可欠です」に関しては、ビジョンを達成するための道路プラン策定においても、引き続き地域の皆様のご意見を伺いながら検討して参ります。</p> <p>「ゆたかな森と田園の中に集落と移住者の家が点在しています。レストラン、カフェ、パン屋さんが多くあるのも特徴の一つです。クラフト作家の工房が隠れているのも他にないもの一つです。自然の風景が創作活動を後押ししているのは間違いのないことです。八ヶ岳南麓の地域は独特の雰囲気と豊かな経済活動がなされているのです」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針：魅力あふれる元気なまちを目指して」に『八ヶ岳南麓の魅力に後押しされた豊かな経済活動の促進』という文言を追記します。</p>

No.	内容	対応案
26	<p>パブリックコメント 「(仮称)中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(素案)」について 活用検討委員会及びまちづくりビジョンについて考えてみました。 ①活用検討委員会は国交省(ワーキンググループ)の要請を受けて作られたもので北杜市道路部河川課が担当になっている。まちづくりにはなじまないと思う。 ②活用検討委員会は新ルートが前提になっており意見・議論の幅を狭いものになっている。(残念なこと) ③活用検討委員会のメンバーは機械的に選ばれており真剣にまちづくりを考える人選になっていない。 ④以上から活用検討委員会は形式的にならざるを得なく「何の意見を言ったらよいかかわからない(第2回)」「この論議は刺身のつま(第3回)」といったもっともな意見が出ている。 ⑤まちづくりビジョンは役人が作り上げたもので活用検討委員会もそれを追認するだけになるであろう。 ⑥活用検討委員会は新ルートの既成事実化を進めるもの以外にはない。本来まちづくりという地域にとって基本的な問題は地域住民の自由な意見や考え方が保障されて初めて実りあるものになるものである。地域住民の高速道路新ルート反対の動きを押しつぶすことを目的にしてまちづくりという基本的な問題を利用するようなことはあってはならない。このまちづくりビジョンは良い結果をもたらさないであろう。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で「本来まちづくりという地域にとって基本的な問題は地域住民の自由な意見や考え方が保障されて初めて実りあるものになるものである」に関しては、ビジョンを達成するための道路プラン策定においても、引き続き地域の皆様のご意見を伺いながら検討して参ります。</p>
27	<p>パブリックコメント 「(仮称)中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(素案)」について 現在の計画で中部横断道が出来た時のことを考えてみました。 ①八ヶ岳南麓を横断する高速道路の出現で景観は破壊されます。 ②自然の生活を求めて八ヶ岳南麓に移住している人たちは大きなダメージを受けます。そしてこの地から逃げ出すでしょう。 ③国道141号線、県道28号線の交通量は減少して沿線の商店等は苦しい営業を余儀なくされるでしょう。 ④新旧住民の考えの違いがクローズアップされ地域の雰囲気は更に悪くなるでしょう。 ⑤八千穂・長坂間で2000億円の建設費がかかると言われています。この金額は大泉町の2000世帯で請け負った場合、各1億円の負担になるほどの大きな金額です。 ⑥巨額の借財の見返りは地域の衰退化であることは以上の①～④の内容で明らかです。中部横断道新ルートは計画を見直す事がもっとも良い方法とおもわれます。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「八ヶ岳南麓を横断する高速道路の出現で景観は破壊されます」に関して、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。 「国道141号線、県道28号線の交通量は減少して沿線の商店等は苦しい営業を余儀なくされるでしょう」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p>
28	<p>「(仮称)中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(素案)」について 活用検討委員会及びまちづくりビジョンについて述べさせていただきます。 「B案前提」での活用検討委員会及びまちづくりビジョンのあり方はおかしいと思います。 まず、検討する場合には、「この八ヶ岳南麓に高速道路が必要か否か」で論議すべきです。 私は、この八ヶ岳南麓を横断する高速道路は必要ないと思っています。そして、「B案前提」の活用検討委員会は休止し、市民参加の協議をするべきだと考えています。 1、活用検討委員会は、「B案前提」を条件にしています。なぜ、「八ヶ岳南麓に高速は必要か否か」から論議を始めないのでしょうか。また、委員の選出にも問題があります。一般公募して、どういう街づくりが良いか、大きな視点に立った話し合いをすべきだと思います。現状の活用検討委員会は、委員会に出席した委員たちが、「何をどう話せばよいのか」「我々委員は刺身のつまなのか」と言った発言があるほど、意義づけも内容もはっきりしない活用検討委員会です。 2、アンケート結果や地元説明会での多くの意見は「八ヶ岳南麓に高速道路はいらない。141号の改修を」でした。その民意を無視した形で、現在の活用検討委員会に至っていることはとても残念です。 3、世界遺産を目指す八ヶ岳南麓に、横断する道路ができて、人工的な景観を作ったのでは世界一とはいえません。横道が多く存在する北杜市では、この多くの道を活用した観光地として、国交省が行う日本風景街道に「八ヶ岳南麓風景街道」として認定されています。観光客をよぶには、こうした自然と調和する街づくりを考えていく必要があります。 4、高速道路ができれば街が活発化するのではなく、その土地にあった環境を考慮しながらの観光を考えなければ観光客は呼べません。さらに、この地の自然を求めてきた別荘や移住者が高速道路ができることによって離れていきます。また、八ヶ岳には、物づくりを生業にしている工房やこの地のおいしい水を使ったパン屋さんなど個性豊かな店舗が多くありますが、その魅力ある地域が高速道路の建設によって無くなる可能性もあります。高速道路建設は観光客を呼ぶどころか長野への通過地点に成り、国道141号や県道28号にある店舗も衰退してゆきます。 5、ビジョンの基本理念通り、地域を『つなぐ』、地域を『支える』、地域に『なじむ』地域との『協働』による北杜のまちづくり・みちづくり。この言葉どおり、原点に戻ったみちづくり、まちづくりのため、活用検討委員会は休止し、幅広い市民間協議をはじめめることを提案します。 2014年1月29日</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で「世界遺産を目指す八ヶ岳南麓」、「観光客をよぶには、こうした自然と調和する街づくりを考えていく必要があります」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。 「八ヶ岳には、物づくりを生業にしている工房やこの地のおいしい水を使ったパン屋さんなど個性豊かな店舗が多くあります」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に『八ヶ岳南麓の魅力に後押しされた豊かな経済活動の促進』という文言を追記します。 「国道141号や県道28号にある店舗も衰退してゆきます」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p>

No.	内容	対応案
29	<p>(仮称)中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(素案)に関する意見書</p> <p>私たちは行政の末端組織である北杜市大泉町下井出地区内に所属する東組(22世帯)の住人です。私たち東組は一昨年11月21日の新ルート提案があった直後に「大泉町下井出地区東組高速道路反対対策委員会」を結成し新ルート提案に反対の意思表示をしてきました。東組のすべての家が新ルートで示された1キロ幅に入っているからです。この新ルート提案はあまりにも唐突なもので長年、中部横断道の建設推進活動に携わってきた北杜市議員の*****も今回のルートの決め方には憤りを感じますと3月の議会で所信表明をしたほどでした。私たちもまた、その後の国交省の進め方に大きな憤りを感じています。その内容は主に以下の2点であります。</p> <p>1点は、新ルートにはA・B案があり選択肢があるように装われていますが、大半の地域で選択肢がありませんでした。国交省の説明によると「3^{キロ}幅のルート帯から絞り込んだ結果であり、すでに代替案の比較、評価は終了しており、問題はない」とのことでしたが、第一回・第二回アンケート中には現在のA・Bルート案は存在しません。少なくとも私たち東組22世帯には選択肢は無かったのです。</p> <p>2点は、平成24年度第2回関東地方小委員会*****から「WGの実施に当たっては、丁寧なコミュニケーション活動を行っていく必要がある。」とのご提案を頂きました。しかしながらせっかく設置したワーキンググループ(以下WG)も機能不全のまま終了してしまいました。地元説明会での反対意見の集中にあって混乱した状態を打破すべく5月1日の*****の「B案が妥当」という提言、その後の*****の中部横断道の早期着工とB案の要望が出されました。これらの動きは国交省が描いたシナリオによるものであると、私たちは認識しています。地元説明会では、地域住民から多くの反対意見や疑義が出されましたが、第3回WG審議の中では一切触れることは無く、行政の長の声を利用し「B案が妥当」という結論が出されました。何のためのWGの設置だったのでしょうか。</p> <p>同封のチラシは私たち東組が居住する下井出地域80世帯への訪問配布用に作られたものです。移住者で作られている東組と昔からの地域生活者の間で多くの葛藤があることは想像できることです。それでも下井出地域は比較をすれば八ヶ岳南麓では良い形のモデルケースと言われています。その地域に新ルートが提案されました。中部横断道への建設を長年望んできた昔からの地域の人たちは賛成、静かな生活を望んでいる移住者は反対と色分けされるのは当然のこととなりました。日常的にコミュニケーションが少ない状態で賛成、反対の意見が出されれば悪感情が醸されるのは必至となります。この地域住民間での「新旧住民間の溝」問題は北杜市全域の問題でもあります。新ルート提案がなされての大きなマイナスの側面であることは間違いありません。</p> <p>私たち東組は、第3回WGで提案された付帯意見<地域のまちづくりと高速道路整備が調和するように、継続して地元住民の意見を聞く仕組みを構築すること。>を受ける形で、北杜市が早急に「中部横断道活用検討委員会」を設置したと認識しています。しかしながら「新旧住民間の溝」が深くなることを放置して「中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン」を作成し、<地域のまちづくり>や<地域の活性化>を達成することは不可能です。</p> <p>このように「高速道路建設ありき」の付帯意見は、国土交通省の手法が住民の意見をあたかも聴いているかのようなアリバイ工作であることを示しています。</p> <p>ここ下井出地域ではありがたいことに立て看板を立てる場所の地権者の協力がスムーズに行われました。そして新ルート反対署名も65%の人たちが名前を書いて下さいました。</p> <p>このチラシ訪問配布の目的は、東組の反対運動の考えを理解していただくということと、この一年間の下井出地域の人たちの変化の度合いを知ることでした。</p> <p>その結果は、話の拒否、チラシの受け取り拒否はゼロでした。多くの人が快く話を聞きチラシを受け取って下さいました。5グループに分けて戸別訪問をしましたのでその結果報告をした12月24日のクリスマスケーキを食べながらの定例会は盛り上がった会議になりました。ちなみにこの定例会はWGまでは週1回、WG後は2週に1回のペースで開催され1年間で35回にも上りました。新ルートで生活が破壊されるという以外でのもっとも大きな問題点である「新旧住民間の溝」はここ下井出地域では幸いのこと小さなものになっているようです。</p> <p>私たち東組の反対運動が理解されているということは新ルート提案に対しての民意(地域住民の考え)をはかる上で重要な事柄です。この地域住民の考えのパロメータの一つとして10回の地域説明会がありました。私たちは圧倒的な反対意見と受け止めていましたが国交省のWGへの報告では何故か賛成のほうが多くなっています。東組がある大泉町の2回の説明会で50件以上の意見がありました。賛成意見は明野町在住の人の1件しかな</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「八ヶ岳南麓は赤岳、権現岳のなだらかな斜面に位置し日本には珍しい空間を感じられる地域であります。そして八ヶ岳を背後に立った時、正面に鳳凰三山、北岳、甲斐駒ヶ岳の南アルプスの山並みを望み、左側に目を向ければ富士山の秀麗な山容をみることができます。東側奥にはひととき目立つ金峰山をはじめとした奥秩父の山並みがみられます。このような眺望と八ヶ岳南麓の森によって作られる豊かな自然」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」、P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「八ヶ岳南麓がこのような豊かな自然と景観の中で静かな生活を続けようとしている特別な地域であること」、「平穏生活権」を侵害、「高速道路建設による静かな生活を破壊しないで欲しい」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。</p>

No.	内容	対応案
	<p>かったことは強く記憶に残っています。他の意見はすべて反対もしくは疑義有というものでした。この問題は大泉町の説明会意見について精査すれば簡単にわかることです。ぜひ調査確認をおこなっていただきたいと思っています。私たちは間違ったデータを基にしたWGの「B案妥当」という答申は無効だと思っています。</p> <p>私たち東組の居住している八ヶ岳南麓は赤岳、権現岳のなだらかな斜面に位置し日本には珍しい空間を感じられる地域であります。そして八ヶ岳を背後に立った時、正面に鳳凰三山、北岳、甲斐駒ヶ岳の南アルプスの山並みを望み、左側に目を向ければ富士山の秀麗な山容をみることができま。東側奥にはひととき目立つ金峰山をはじめとした奥秩父の山並みがみられます。このような眺望と八ヶ岳南麓の森によって作られる豊かな自然が多くの人を魅了し日本各地から人々が移り住むようになってい。主に都会からの移住者によって行政区が出来ている形態は稀なこととしてあると思われま。八ヶ岳南麓がこのような豊かな自然と景観の中で静かな生活を続けようとしている特別な地域であることを知っていただき、南麓を横断する新ルートは稀有な自然環境を破壊し、多くの住民の「平穏生活権」を侵害し、新旧住民間の感情の溝を大きなものにするを理解していただきたいと思いま。</p> <p>私たち東組の多くがリタイア後の生活を静かに暮らすべくここ八ヶ岳南麓の地に移住してきたものです。高速道路建設による静かな生活を破壊しないで欲しいのです。</p> <p>国土交通省関東地方小委員会の*****は先日(1月14日)行われた私たち反対住民グループとの面談で「小委員会としてまだWGの結果を受け取ってない状況であり、WGの中間報告が出たからと言って、それをそのままはいと言って受け取らずに、私は私なりに今日頂いたご意見やご注意・ご懸念に関して精査させていただきます。」と発言されました。</p> <p>この新ルートはまだ決まっていないのです。</p> <p>私たち東組は、「中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン」の一環として、<*****と住民が中部横断自動車道(長坂～八千穂)に関する多様な意見を話し合える会>を開催したり、北杜市を通過する道路が北杜市民の利益となるよう、国土交通省へく住民参画型の道づくりによるルート再検討を要望していただくことを提案いたしま。</p> <p>そして、国土交通省が提案した中部横断自動車道(長坂～八千穂)の山梨県内区間の「新ルート案」が北杜市にとって本当に良いものであるのか、WGの審議内容を含め、基本的な問題から再度精査をして頂きます様、*****及び委員の皆様大切に切に願いたしま。</p> <p>以上。 平成26年1月29日(チラシ添付あり)</p>	
30	<p>意見書(パブリックコメント)</p> <p>中部横断自動車道活用検討委員会に対して中部横断自動車道(長坂～八千穂)の北杜市の推進のあり方などにつき意見を述べま。</p> <p>平成25年10月18日、11月3日、11月5日の3回の内容証明文で公人土地問題について説明を求める内容証明を送付いたしましたが、意味不明の回答を平成25年10月24日に頂きましたが、土地の問題には答えて頂いていません。北杜市民が委員会に対して回答を求めているのですから、北杜市が設置した機関ならば公共機関として誠実に市民に対し回答するべきと思いま。</p> <p>又委員を*****に対しても同等の質問を平成25年10月24日と平成26年1月3日の2回、回答を求めましたが返事がありません。この様に臭い物に蓋をして推進されるのは如何なものかと思いま。</p> <p>答えられなければBルート案の白紙撤回を国に進言頂くべきと思いま。</p> <p>この様に市民の声に回答もせず、又一部の団体とだけ意見交換をして推進していく行動は第3回ワーキングの附帯事項の「継続して地元住民の意見を聞く仕組みを構築すること」とした付帯事項に背く行為だと思いま。</p> <p>そもそも附帯事項の一部はルートの選定に公平性を確保するためのものと思いま。</p> <p>しかしながら附帯事項を満足させるために設置した活用検討委員会のメンバーや*****がルート帯の中に土地を所有すれば法律的に問題ないとしても公平性に欠けてしまうと思いま。</p> <p>活用検討委員会のメンバーは**の権限の及ばない状態で、市民全体から公募で選り公平性を確保するべきです。</p> <p>この内容証明で4回目になりますが、再度前回の内容証明で求めた回答を第4回活用検討委員会までにご回答ください。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>北杜市中部横断自動車道活用検討委員会は、「まちづくりビジョン」を審議することから、地域の代表者や市域の主要産業である観光、商工業及び農業などの分野から委員を構成しています。多様な立場から意見を賜り、委員による合議制により審議を行うことなっています。また、「まちづくりビジョン」は、委員のみの意見にとどまることなく、地域の皆様を対象に複数回にわたる意見の把握を行い、それらの意見を踏まえながら策定していくことなになります。</p> <p>さらに、検討委員会は、「北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱」に基づき公開で審議されているところであり、検討委員会の開催や審議結果などの情報は北杜市ホームページに掲載し、透明性を確保しながら審議を行っています。</p> <p>こうしたことから、「活用検討委員会のメンバーや任命した人がルート帯の中に土地を所有すれば法律的に問題ないとしても公平性に欠けてしまうと思いま。活用検討委員会のメンバーは**の権限の及ばない状態で、市民全体から公募で選り公平性を確保するべきです。」という意見について、検討委員会の目的達成に当たっては、問題がないと認識しているところだ。</p>
	<p>中部横断道活用検討委員会の町づくりビジョンに対するパブリックコメント</p> <p>中部横断自動車道活用検討委員会作成の町づくりビジョンに対するパブリックコメントです。真摯に取り上げ検討いただけるようお願い申し上げます。</p> <p>1. 北杜市都市づくり計画策定審議会、北杜市まちづくり審議会、土地利用審議会、北杜市まちづくり研究会など、これまでいろいろとやってきたこととの整合性はどうか、矛盾はないのか、まちづくり推進課がやってきた大規模な市民アンケートはどう反映しているのか、そして今回は道路河川課が町づくりをするという、まるで一貫性がないように思える。これでは税金の無駄遣いではないか。</p> <p>2. 市の政策に関する基本的な計画の策定又は変更についてのパブリックコメントは、その実施機関は、市長、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、農業委員会及び固定資産評価審査委員会をいうと条例にある。北杜市中部横断自動車道活用検討委員会が町づくりビジョンを作成し、市民にパブリックコメントを求めるといのは、そもそも条例無視、違反ということはないのか。</p> <p>3. ビジョンが示す4つの方針①多様な自然・環境・景観②安心安全で快適な町③地域活性化④環境の拠点づくり、一に高速道路が何故必要なのだろうか、高速道路はこれらの方針の実現を阻害しかねない不要なものではないだろうか。</p> <p>4. 少子高齢化や障害者や福祉の視点はこれからの町づくりに必須の視点である。このビジョンにある4つの指針からはそれらが欠如していないだろうか。それらは別のところで行うと言うのだろうか？ それでは片手落ちという大きな欠陥ではないか。</p> <p>5. 高速道路の新設を少子高齢化や人口減の時代に町づくりのビジョンとすることは、当局のミスリードではないか。既に少子高齢化の時代に入</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で「北杜市都市づくり計画策定審議会、北杜市まちづくり審議会、土地利用審議会、北杜市まちづくり研究会など、これまでいろいろとやってきたこととの整合性はどうか」に関しては、上位関連施策等と整合を図りながら(各種団体の</p>

No.	内容	対応案
31	<p>し、人口大幅減少の時代が来るのも近い。こうした近未来を見たとき、何故に高速道路をもって街づくりをしようとするのか、市当局の見識を疑います。</p> <p>6. 北杜市は県外からの移住者や別荘所有者で、人口減から多少救われている面があります。でも南麓に高速道路を造ったら、この地を離れる人も出るでしょうし、この地を終の棲家と選択する人も減るでしょうし、別荘も減るでしょう。こうした北杜市固有の人口構成をも配慮した町づくりの視点が欠けているのではないだろうか。</p> <p>7. 国交省アンケートでは、北杜市民の多くは高速道路を望んでいない。中部横断道の建設を前提とした街づくりを推進することはいかがなものか、税金を誤って使うことになる。</p> <p>国交省が行ったこの地域の目標、課題に対する大規模なアンケートに、約6000名が参加し約16300件の回答が寄せられた。国交省によれば、この結果は、①言動の走行性や安全性の向上が23.8% ②環境・景観の保全が23.6% ③地域の生活交通の円滑化が16.5%、④災害時の代替路の確保7.9% ⑤救急移動時間の短縮7% ⑥生産品の移動時間の短縮6% ⑦観光地間の連携向上6% ⑧企業誘致雇用の促進5% ⑨公共交通の利便性の向上4.8%であり、上位の三件と9番目をあわせると焼く70%になる。この数値は、約70%の人が地域の目標や課題として皆高速道路を志向していないことを示すものである。</p> <p>同時に行ったアンケートによれば、北杜市民の50%は国道141の整備を望んでいるという事実もあることを無視できない。</p> <p>8. ハケ岳南麓地域は今ある自然環境を保全することを基本にすることこそが、街づくりの基本でなくてはならない。このビジョンが目指している、北杜市らしい美しい町づくりや優れた環境の保全に高速道路は似合わない。ハケ岳南麓地域の売りは、なんといっても雄大な山岳景観であるが、それは足元の環境と農村景観があつてのものである。国交省が指定したルートを通りから上津金、旭山一堤山地域から長坂までを歩きました。このルート内は、森林あり、水田あり、民家あり、別荘あり、それらが点在する近景と、遠くの山岳景観があつて、ハケ岳南麓の代表的な景観の良い地域であることを実感しました。高速道路はこの地域の価値を一気に貶めはしないか心配である。</p> <p>9. 必ず来る大地震に備えた既存インフラの強化こそ最優先すべき課題ではないか。</p> <p>東日本大震災以来、東海、東南海地震がいつ発生しても不思議でないほどにその可能性が高まっている。県道、市道、農道などの一般道路や橋、トンネルなどを、高い専門レベルで総点検し、耐震化を行うことが急務である。既に各種のメディアで報道されているように、いまだ信頼できるレベルの点検が行われていず、耐震化工事を行える予算もないのが現実である。巨大な国税を使って新規の高速道路を建設する余裕はないはずである。安全な街づくりこそ最優先されるべきである。</p> <p>10. 税金の無駄遣いはやめましょう。八千穂～長坂間で約2000億円かかるといわれている。* * * * *も国に請願している「新直轄方式」ととると、その四分の一の約500億円が地方負担となる。こんなお金があるのなら既存インフラの点検整備に使うのが最優先ではないか。地方負担分四分の一の補助金目当てだとの疑問もでてくる、それこそとんでもない無駄遣いである。</p> <p>11. 視点②:くらしやすさの向上:子どもから高齢者まで暮らしやすいまちとするため、市内を走る国道141号などの道路網の整備や効率的かつ効果的な公共交通網の充実を図るなど、交通の利便性向上に取り組む必要があると考えます。そのとおりで、国道141の整備こそ優先すべきであり、南麓を横断する高速道路の必要性はない。ハケ岳南麓の道路整備は、国道141の改良整備で十分である。それは国交省案の4斜線の高速化ではなく、必要最小限の整備で十分な道路とすることができるはずである。</p> <p>12. 民主党政権から自民党安倍政権に変わり、それまでの財政削減政策から、一気に公共事業ばら撒き型の国土強靱化政策で各地の高速道路計画が復活したが、今の政権はいうまでも続かないことを冷静にみるべきである。数年して、高速道路の新設は凍結される可能性もある。そうした他力本願的計画を町づくりビジョンの中心にすえるのはいかがなものだろうか。もっと真に地域の力を寄せ集めるような事業こそ町づくりの中心に据えるべきではないだろうか。</p> <p>13. どうしてもこの道路を造る必要があると言うのなら、南麓の景観保全や地域生活への影響を最小とする配慮・工夫がいる。森林保全や野生生物への影響もあってはならない。盛土で壁を作り、獣害を防ぐという入があるが、野生生物保護の観点から全くナンセンスである。南麓ルートは、全線地下または暗渠で作る。あるいはレインボーラインよりずっと上の森林地帯に造る。森林伐採という自然保護上の問題が大きい。</p> <p>14. 日本ミツバチの生息に大きなダメージを与えるおそれがある。</p> <p>予定ルートの標高域は日本ミツバチの生育ルートであり、養蜂家も多い。日本ミツバチはまた果樹の受粉や、ナラ、シイ、クヌギなどのドングリの実をつける広葉樹林の生育にも欠かせない役割を担っている。その日本ミツバチは近年農業禍や生息域の環境悪化により激減しているという。このルートに高速道路を通したら、わずかに残る高樹林の伐採と、ミツバチの飛翔に多大な影響を与える高速道路は、日本ミツバチの生育環境に大きなダメージを与える可能性がある。</p> <p>15. 高速道路は、北杜市の目玉の一つであるハケ岳南麓にたいに生息するオオムラサキに悪影響を及ぼさないか心配である</p> <p>16. 高速道路新設の費用便益分析の基本データとなる、国葬141の交通量や、高速道路による、野辺山～長坂～須玉間に対する、国道141による野辺山～須玉間の時間短縮効果などのデータを市民に示し、税金の無駄遣いにならないか早急に検証してほしい。</p> <p>17. 農業用水路は多自然型の用水路として、積極的な水辺環境整備を行うこと。</p> <p>ハケ岳南麓は、晴天が続いても河川の水が枯れることがないほど湧水が豊富である。この豊かな水が南麓の水田を支えている。農業用水路の整備があちこちで行われているが、コンクリートのU字溝やコンクリートの三面張り工法が行われている。農業用水路の果たす機能はただ水田に水を運ぶためのものだけではなく、水生生物の生息などの自然環境や、地域の環境・景観に重要な役割を負っている。国(農水省、環境省、国交省)も自然豊かな農業用水路を推奨している時代である。</p> <p>コンクリート張りの用水路は、多自然型に改修し、これから改修する農業用水路は三面張りやU字溝ではなく多自然型の工法を採用すること。周辺地域に比べ北杜市はこうしたことへ配慮する姿勢が遅れているのではないか。多様な自然環境・景観保全を町づくりビジョンの第一に挙げているのならこうしたことも明文化すべきではないか。農業用水は別部署の仕事というのでは、町づくりビジョンとはいえないと思う。</p> <p>18. 豊かな森づくり:単純なアカマツ林にかえて、広葉樹林の魅力ある豊かな森づくりなども、街づくりのなかに位置づけてほしいものである。</p> <p>19. 北杜市にはヤマメやオオムラサキに代表される貴重な動植物が多く生息していることから、動物の移動経路や食住環境の確保、貴重植物の移植による保全など生きもの優しく、共存できる工夫や動植物への影響を最小限に抑える方策など、貴重な動植物に配慮したまちづくり・みちづくりの取組が必要と考えます。などと言っているが、貴重植物は現在の場所にあつてこそ貴重なものであつて、移植した場所で生息できる保証などない。今ある自然環境が北杜市の大切な財産と考えるなら、南麓に高速道路を通しことを前提とした町づくりはナンセンスである。</p>	<p>取組とも調整を図りながら)進めて参ります。</p> <p>「少子高齢化や障害者や福祉の視点はこれからの町づくりに必須の視点である。このビジョンにある4つの指針からはそれらが欠如していないだろうか」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「基本方針:安全・安心で快適なくらしのために」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「国道141の整備を望んでいるという事実」、「視点②:くらしやすさの向上:子どもから高齢者まで暮らしやすいまちとするため、市内を走る国道141号などの道路網の整備や効率的かつ効果的な公共交通網の充実を図るなど、交通の利便性向上に取り組む必要があると考えます。そのとおりで、国道141の整備こそ優先すべき」、「国道141の改良整備」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「ハケ岳南麓地域は今ある自然環境を保全することを基本にすること」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「ハケ岳南麓地域の売りは、なんといっても雄大な山岳景観であるが、それは足元の環境と農村景観があつてのものである」、「森林あり、水田あり、民家あり、別荘あり、それらが点在する近景と、遠くの山岳景観があつて、ハケ岳南麓の代表的な景観の良い地域であることを実感しました」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「安全な街づくりこそ最優先されるべき」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「基本方針:安全・安心で快適なくらしのために」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「南麓の景観保全や地域生活への影響を最小とする配慮・工夫がいる。森林保全や野生生物への影響もあってはならない」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」、P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「南麓の景観保全や地域生活への影響を最小とする配慮・工夫がいる」、「南麓ルートは、全線地下または暗渠で作る。あるいはレインボーラインよりずっと上の森林地帯に造る」、「農業用水路は多自然型の用水路として、積極的な水辺環境整備を行うこと」、「ハケ岳南麓は、晴天が続いても河川の水が枯れることがないほど湧水が豊富である。この豊かな水が南麓の水田を支えている。農業用水路の整備があちこちで行われているが、コンクリートのU字溝やコンクリートの三面張り工法が行われている。農業用水路の果たす機能はただ水田に水を運ぶためのものだけではなく、水生生物の生息などの自然環境や、地域の環境・景観に重要な役割を負っている。国(農水省、環境省、国交省)も自然豊かな農業用水路を推奨している時代」、「これから改修する農業用水路は三面張りやU字溝ではなく多自然型の工法を採用すること。周辺地域に比べ北杜市はこうしたことへ配慮する姿勢が遅れているのではないか。多様な自然環境・景観保全を町づくりビジョンの第一に挙げているのならこうしたことも明文化すべきではないか」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「予定ルートの標高域は日本ミツバチの生育ルートであり、養蜂家も多い。日本ミツバチはまた果樹の受粉や、ナラ、シイ、クヌギなどのドングリの実をつける広葉樹林の生育にも欠かせない役割を担っている。」、「北杜市の目玉の一つであるハケ岳南麓にたいに生息するオオムラサキに悪影響を及ぼさないか心配である」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点④:貴重な動植物との共存」に基づき、取り組んで参ります。</p>

No.	内容	対応案
32	<p> 標題:パブリックコメント 中部横断自動車道活用検討委員会事務局御中 <パブリックコメント> ★高速道路に反対 中部横断道は長野と東海道を結ぶ道路で山梨は通過点にすぎないことは明らか。 軽井沢から横浜に向かう人がわざわざ北杜市で降りるはずがない。 排気と騒音を残して通り過ぎる車のために北杜市の豊かな自然を犠牲にすることは愛する故郷を自分の金・地位・名誉のために売り渡す行為であり、今中国で騒がれている官僚の行為と極めてよく似ている。 </p>	<p> 頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「中部横断道は長野と東海道を結ぶ道路で山梨は通過点にすぎないことは明らか」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。 「排気と騒音を残して通り過ぎる車のために北杜市の豊かな自然を犠牲にすること」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。 </p>
	<p> NPO法人ハケ岳南麓景観を考える会 2014年1月28日 「(仮称)北杜市中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(素案)」へのパブリックコメント 私たちは世界一流のハケ岳南麓の美しい景観を日本の財産と認識し、これを次世代に伝えようと活動している市民団体です。 高速道路が必要かどうかを検討している段階であるにもかかわらず、北杜市では、活用委員会を設け、中部横断自動車道の北杜市側(長坂一清里間)の高速道路建設がすでに決まったかのようにして、高速道路のある北杜市を前提としたまちづくりを検討していることに大変懸念と危惧をもちます。今検討すべきは、高速道路が最良の選択か、それとも自然や景観を活かす国道141号の改善かを検討すべきではないでしょうか。 素案の資料では、高速道路から見る景観の写真を多用し、そこに暮らす人々が見る高速道路の姿や高架橋になる可能性などについて言及することなく、また素案の意見も反対意見が多いにもかかわらず、賛成意見を多用し、また北杜市以外の賛成意見も入れた形の素案を作成して、パブリックコメントを募集していることに、恣意的な意図を感じざる負えません。 ここに、当会の意見および提案をさせていただきます。 1. 当会の意見 (1)ハケ岳南麓エリア(須玉川、川俣川の西側地域、及び津金)での、高速道路建設に反対します。 ハケ岳地域を通る高速道路は、景観を破壊し、平穏な生活を脅かします。 (2)北杜市にとって有益なのは、国道141号を改善して、速達性と安全性を向上することです。国道141号の改善を求めます。 ・生活道路でもあるので、改善をすれば、安全性が高まり、利便性もまします。 ・ハケ岳南麓の景観と自然が守られるため、良質のリゾート地として価値を高めることができます。 ・須玉ICへの走行性・安全性の向上は、運送業者には大きなプラスです。 ・国道141の通行量が増えるため、国道沿いの商業活動が活性化します。 ・通過型観光地となりません。高速から降りた観光客は、ゆっくりと良い景観を眺めながらドライブし、ハケ岳地域とその周辺で食事や買い物を楽しめるため、地域のビジネスチャンスが広がります。 ・震災時に市民が使えるのは、国道です。141号の改善は災害時に役立ちます。 (3)国道141号整備し、須玉ICで中央道に接続すべきです。 (4)長野側の中部横断自動車道の建設には反対していません。 2. 上記理由 </p>	<p> 頂いたご意見の中で、「ハケ岳南麓の美しい景観を日本の財産と認識」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」、環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。 「景観を破壊」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。 「平穏な生活を脅かします」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。 「国道141号を改善して、速達性と安全性を向上すること」、「生活道路でもあるので、改善をすれば、安全性が高まり、利便性もまします」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。 「走行性・安全性の向上」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15「くらし」視点②:くらしやすさの向上」に『安全性向上』という文言を追記します。 「高速から降りた観光客は、ゆっくりと良い景観を眺めながらドライブし、ハケ岳地域とその周辺で食事や買い物を楽しめるため、地域のビジネスチャンスが広がります」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P19観光「視点②:豊かな景色を満喫できる場の工夫」に基づき、取り組んで参ります。 「震災時に市民が使えるのは、国道です。141号の改善は災害時に役立ちます」に関して </p>

No.	内容	対応案
33	<p>(1)北杜市は、特に八ヶ岳地域は、世界屈指の眺望景観が地域経済の基盤となっています。景観は八ヶ岳南麓の命です、宝です。中部横断自動車道は、その景観を脅かし破壊するものです。長坂から清里を通る中部横断自動車道は、地域経済を疲弊させることは明らかです。高速道路ができれば、八ヶ岳南麓、ひいては北杜市全体も良質の観光地にはなり得ません。</p> <p>(2)高速道路は、景観だけでなく、静寂さや星空を愛す平穏な生活も脅かします。八ヶ岳南麓の多数の住民や別荘所有者たちは、ここの自然、景観、静かな環境を求めて、ここを選び生活をしています。</p> <p>(3)****のB案への突然の支持声明は、北杜市市内でも議会でも、全く議論もせずに**独断で出されたものと聞こえています。さらに、観光協会も商工会も、会員の意見も聞かずに支持の意見を出しました。このように、市民の声を無視した市や公的機関の意見は、道路ありきの姿勢であり、将来を見据えて、真にこの地を豊かにするものはなにかを検討すべきです。</p> <p>(4)交通の便が良くなれば、苦しくなるのが観光業です。便利になれば通過するか、日帰りになります。宿泊業者、特に清里の没落は、中央道ができた時に始まります。ましてや中部横断自動車道ができれば、この八ヶ岳地域全体、さらに北杜市全体が通過型になり、地域経済への打撃は明らかです。</p> <p>(5)緊急医療施設への移動は、高速道路の必要性の課題ではありません。北杜市民は中部横断自動車道を利用して医療施設には行かないので、高速を必要とする課題にはなりません。</p> <p>北杜市の住民は、緊急医療の場合、甲府方面なら一般道か、中央自動車道で、甲府中央病院や山梨医大へ、長野方面の諏訪中央病院、諏訪赤十字病院、富士見中央病院も、一般道か、中央自動車道で行きます。遠回りする中部横断自動車道は利用しません。</p> <p>(6)中部横断自動車道が輸送時間の短縮になるか疑問です。長坂経由の中部横断自動車道は遠回りです。清里から東京方面なら、国道141号で須玉ICから中央道利用の方が便利です。名古屋方面へは、一般道から小淵沢ICからの中央道の利用となります。しかも、冬期は風と寒さによる凍結や雪で、通行止めが予想されるだけでなく、事故の危険も大きいのではないのでしょうか。</p> <p>沿線の住民に、中部横断自動車道を利用するかどうかの調査もせず、中部横断自動車道が便利で利用されることを前提に議論することはおかしいです。</p> <p>3. 国道141号の改善への提案</p> <p>国道141号の改善に際し、機能的改善だけではなく、美しい景観の整備なども盛り込んだ、モデル道路とすることを提案致します。141号沿いにあるけばけばしい看板や廃屋を撤去し、自然を感じ心地よさを楽しめる道路に改善することが、質の高い観光客を引きつけるポイントになります。景観に配慮したモデル道路ができれば、全国的な話題を呼び、この地域の魅力が増し、継続的な経済効果が期待できます。</p> <p>以上</p>	<p>は、まちづくりビジョン(素案)P14から「視点①:安全・安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「景観は八ヶ岳南麓の命です、宝です。中部横断自動車道は、その景観を脅かし破壊するものです」、「高速道路は、景観だけでなく、静寂さや星空を愛す平穏な生活も脅かします」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「長坂から清里を通る中部横断自動車道は、地域経済を疲弊させることは明らかです」、「中部横断自動車道ができれば、この八ヶ岳地域全体、さらに北杜市全体が通過型になり、地域経済への打撃は明らかです」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」、P18観光「基本方針:にぎわい創出 玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「冬期は風と寒さによる凍結や雪で、通行止めが予想されるだけでなく、事故の危険も大きいのではないのでしょうか」に関しては、冬期の走行安全性に関するご意見と捉えており、まちづくりビジョン(素案)P14から「視点①:安全安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「けばけばしい看板や廃屋を撤去し、自然を感じ心地よさを楽しめる道路に改善することが、質の高い観光客を引きつけるポイントになります。景観に配慮したモデル道路ができれば、全国的な話題を呼び、この地域の魅力が増し、継続的な経済効果が期待できます」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参るとともに、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p>

参考資料1 パブリックコメントで寄せられた意見一覧

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

No.	内容	対応案
34	<p>標題:パブリックコメント 中部横断自動車道活用検討委員会事務局御中 パブリックコメント 高速道路に反対である。 日本の他の地域に比べこの北杜市は衰退することなく着実に進化してきている。 これは北杜市が他地域からの移住者を受け入れてきた結果であると思うがその移住者は北杜市の魅力に惹かれて移り住んでいる。人口が増えて市内の商店も潤い新旧住民が一緒になってこれまでにない新しい魅力も生まれてきている。 この北杜市の魅力の原点は何といても豊かな自然と雄大な景色であり、人工的に造ることの出来ないこの地の自然から生まれたものである。 高速道路はこのかけがえのない魅力を壊してしまう。魅力がなくなれば移住者も減って次第に人口は減少し、高速道路沿線によく見られる過疎の部落に逆戻りしてしまう。 子孫に対する責任に目をつぶって、壊すことに無神経な人が故意に高速道路の建設を進めることが一番問題である。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「北杜市の魅力の原点は何といても豊かな自然と雄大な景色」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」、環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。</p>
35	<p>標題:中部横断自動車道について 北杜市道路河川課殿 パブリックコメント募集に基づき標記について、住民の立場から意見を述べさせていただきます。 先の国交省による平成23年頃の2回のアンケートにも回答してきましたが、早期の計画を決定し建設に着手するよう要望するものです。 長野県佐久市方面には、年に2~3回ほど現在の国道141号線を使い出掛けていますが、野辺山から佐久市までの間が千曲川の河川沿いに狭い土地に通過しているため、危険を感じています。 また、渋滞の発生すると迂回路が少なく1時間半ほどで通過できるところが、2時間以上に掛ったこともシバシバありました。 中部横断道路が開通することは、山梨から長野県佐久方面に便利だけでなく、上信越自動車道路を利用して観光客が山梨方面に多くの人々が利用することは、今まで国道141号線を利用して見て関東地域の車両メンバーが、佐久方面から山梨に向かってきているのを見て大いに想定できます。 一部の方が、山梨県側だけ国道141号線を拡張してみても長野県側の国道141号線の道路の狭さや通過時間から利用車両がこれ以上増えるとは思えません。 国道141号線の問題点や救急医療への解決、災害時発生での対応にも山梨県側だけのメリット・デメリットで考えるのではなく、もっと広い地域での問題解決のために中部横断自動車道を活用すべきと考えます。 そのためにも、早期に計画を進めることを要望します。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「山梨から長野県佐久方面に便利だけでなく」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。 「国道141号線の問題点」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。 「救急医療への解決」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参ります。</p>
36	<p>中部横断自動車道の早期実現を要望する 八ヶ岳南麓地域は中央自動車道の開通により次のような影響(効果)があった。 ①首都圏から2時間、中部圏から3時間と交通の利便性が高まり、JR中央線との2つの大動脈により、人と物の迅速かつ安全な移動が可能となった。 ②高原リゾート地として注目され、関連施設も整備され、多くの観光客が訪れている。 ③交通の利便性から企業立地が図られ、地元の雇用の増大に繋がっている。 ④首都圏等から、永住者や別荘所有者等が訪れ、地域の人口増加となっている。 ⑤人が訪れることにより、商業(飲食・小売等の数と売り上げの増加)の発展に寄与している。 ⑥住宅需要等の拡大により、地元の不動産業者や土木建設業者等の仕事の増加。 中央自動車道が開通して約30年、この地域は軽井沢と比較する程の画期的な発展を遂げてきた。また、これからも一層の発展・活性化が住民の願いである。 今、少子高齢化の進捗がこの地域の重要な課題である。 その原因の一つは、都市部からの高齢者やその予備軍の転入等が多くを占めていると想定される。30%の高齢化率からも明らかである。このため10年後の医療費や介護保険等の負担が懸念される。 一方、地元の多くの若者が転出している状況がある。その原因は、地元で若者の働く場が少ないことである。 中央自動車道開通後の30年余で企業立地が図られてきているが充分では無い。 このため、中部横断自動車道は、この地域にとっては中央自動車道に次ぐ第2の発展のチャンスである。 清里地域へのIC設置が想定されるが、現在の清里周辺は観光地としての、かつての繁栄の陰は無く衰退してきている。 傍観しては、入込客の増加は幻と消え、ストロー現象により他地域へ吸取られ、清里地域の観光は壊滅的となることが想定される。このことは八ヶ岳南麓地域の観光の衰退に大きく拍車をかけることとなる。 このような状況を打破し、北杜市の一層の拡大発展のため、中部横断自動車道の早期開通を強く要望する。 中部横断自動車道活用検討委員会事務局 御中</p>	<p>頂いたご意見の中で、「一層の発展・活性化が住民の願い」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。 「地元の多くの若者が転出している状況がある。その原因は、地元で若者の働く場が少ないことである。中央自動車道開通後の30年余で企業立地が図られてきているが充分では無い」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P17地域活性化「視点②:商工業の活性化」に『若者の雇用につながる』という文言を追記します。 「清里地域へのIC設置が想定されるが、現在の清里周辺は観光地としての、かつての繁栄の陰は無く衰退してきている」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。 「傍観しては、入込客の増加は幻と消え、ストロー現象により他地域へ吸取られ、清里地域の観光は壊滅的となることが想定される」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。 「北杜市の一層の拡大発展のため」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p>

No.	内容	対応案
37	<p>標題: 町づくり素案について(パブリックコメント)</p> <p>中部横断道がつくられたら、八ヶ岳南麓はいわゆる通過型観光地になってしまい宿泊客は間違いなく激減すると思う。地元の観光業者は多くが廃業に追い込まれるのではと危惧している。</p> <p>長坂から佐久へつなげる構想のようだが、その先には軽井沢という日本一の観光地が控えているのを忘れてはいけない。清里近くにICを作るとも聞いているが、今の清里の状態が軽井沢に対抗できると本当に考えているのか。</p> <p>大泉・高根も含めた南麓の地域経済は大打撃をうけると思う。中部横断自動車道はつくらずに、141号線の整備を進めたほうが地元の経済にとってはよほど有益だと思う。</p> <p>高速道路ができれば人が集まるという30年前の考えに振り回されず、八ヶ岳南麓のすばらしい景観という、地域の宝を生かした、町づくりを考えるべきだと思う。</p> <p>それこそ、市の進めている滞在型観光圏づくりへの近道ではないか。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「中部横断道がつくられたら、八ヶ岳南麓はいわゆる通過型観光地になってしまい宿泊客は間違いなく激減すると思う。地元の観光業者は多くが廃業に追い込まれるのではと危惧している」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「141号線の整備」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「八ヶ岳南麓のすばらしい景観という、地域の宝を生かした、町づくりを考えるべきだと思う。それこそ、市の進めている滞在型観光圏づくりへの近道ではないか」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P19観光「視点③:周遊・滞在(型)観光を促進する情報発信の工夫」に位置づけられています。</p>
38	<ol style="list-style-type: none"> 1. 工事に10年もかかり、その期間中の工事場周辺は、騒音とダンプの通行、ホコリで生活環境が悪くなる。南麓を通す高速道路反対・141号改修を 2. 高速道路の保守費用は、ずっと続く。今の北杜市や県は、いまの道路の保守も出来ない状態だ。合併特例の交付金も無くなるし。南麓を通す高速道路反対・141号改修を 3. 141号線改修が、環境の負荷も少なく費用も安い。南麓を通す高速道路反対・141号改修を 4. 141号線を改修すると、沿線の店も活性化される、店も多くなる。南麓を通す高速道路反対・141号改修を 5. Bルート前提の活用検討委員会はおかしい。住民の意見でルートをきめるべき。南麓を通す高速道路反対・141号改修を 6. 高速道路によって生活の場と自然の場が分断される。この地への移住者は、自然の中での暮らしを求めてきた人で、これでは逃げ出す住民や、この地に移住しようとする人は来なくなるだろう。南麓を通す高速道路反対・141号改修を 7. 環境・景観にやさしく利便性のある道路を目指すなら、自然への影響が少ない、既にある141号線改修がよい。南麓を通す高速道路反対 8. 環境を大切にしながら、という視点が大事で、生活面も重要である。それに対応できるのは、141号線改修だけだ。南麓を通したら環境と生活の両方が駄目になる 9. 滑らかな豊富な水資源、特に名水百選に選定された湧水等の地下資源は、今貴重である。高速道路開発で、それらは絶対に失われる。高尾でも、滝が枯れることが無いと言われたが、実際には枯れた実績がある。壊れた自然は戻らない。南麓を通す高速道路反対・141号改修を 10. 救急医療面を課題に挙げているが、元々、山梨県側は、甲府方面に搬送しているので、問題ない。山岳地域での救急搬送は、ドクターヘリか、救急病院を配置すべき。道路を造って解決する問題ではない。南麓を通す高速道路反対・141号改修を 11. 防災面でも141号線改修で、ミッシングリンクの解消条件である60km/hで走れる道路は一部バイパスなどの改修で可能。南麓を通す高速道路反対・141号改修を 12. 山岳景観を売りにしているので、景観を守って欲しい。南麓を通す高速道路反対・141号改修を 	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「141号改修」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「工事場周辺は、騒音とダンプの通行、ホコリで生活環境が悪くなる」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「高速道路の保守費用は、ずっと続く」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際、経済性にも配慮し、検討して参ります。</p> <p>「高速道路によって生活の場と自然の場が分断される」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「高速道路によって生活の場と自然の場が分断される」、「環境・景観にやさしく利便性のある道路を目指す」、「南麓を通したら環境と生活の両方が駄目になる」、「滑らかな豊富な水資源、特に名水百選に選定された湧水等の地下資源は、今貴重である」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」、P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」、環境・景観「視点④:貴重な動植物との共存」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「山岳景観を売りにしているので、景観を守って欲しい」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。</p>
39	<p>命を救う。命を救ってもらうための「命の道」の建設を！ 大泉南部の一部の住民が反対をしていますが、ほんの僅かな新住民であり、既存の住民は皆無です。この反対運動なるものによって真の目的を見失ったり、少しでも躊躇が生じる事があってはならない。その事こそ「将来に禍根を残す」というものだ。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「命を救ってもらうための「命の道」の建設を！」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参ります。</p>
40	<ul style="list-style-type: none"> ・北関東方面への利便性に期待 ・八ヶ岳南麓にICが出来れば活性化にもなる 	<p>頂いたご意見の中で、「八ヶ岳南麓にICが出来れば活性化にもなる」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「視点①:観光拠点へのアクセス」に基づき、取り組んで参ります。</p>
41	<p>物流の大動脈として早期建設を望む。しかし、一方で過疎地域のメリットは少なく地域の分断、景観、騒音、光害、排ガス等々心配ばかり。これ等に対し丁寧な説明の機会を。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「物流の大動脈」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「地域の分断、景観、騒音、光害、排ガス等々心配ばかり」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p>

No.	内容	対応案
42	<p>中部横断自動車道活用検討委員会御中 パブリックコメントとして意見を述べます。北杜市は市民から広く意見を聞くためコメントを募集しましたが、この募集自体に問題が存在します。それは北杜市民全体に対する公平性の問題です。 その理由として活用検討委員会のパブリックコメントは市のホームページで市民に知らせています。 パソコンを持っている裕福な市民しか知りえない事実ですし、持っていない市ホームページをくまなく見なければ知りえない。これは市民に対して平等、公平とは言えない行為だと思います。 本当に市民全体の意見が聞きたいのなら、新聞広告やチラシのポスティングなど市民全体の意見を聞くべき体制をとるべきです。 ましてや公務員が募集関係者に多くいる場合、地方公務員法により市民に対して公平性を求められています。 一部の意見だけを聞き締め切るとは法律に抵触すると思います。 又、市民からの内容証明文による行政への質問には真摯に答えるべきです。 このような意見の聴取をしても第3回ワーキングの附帯事項はクリアできないと思います。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会は、「まちづくりビジョン」を審議することから、地域の代表者や市域の主要産業である観光、商工業及び農業などの分野から委員を構成しています。多様な立場から意見を賜り、委員による合議制により審議を行うこととなります。 また、「まちづくりビジョン」は、委員のみの意見にとどまることなく、地域の皆様を対象に複数回にわたる意見の把握を行い、それらの意見を踏まえながら策定していくこととなります。 さらに、検討委員会は、「北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱」に基づき公開で審議されているところであり、検討委員会の開催や審議結果などの情報は北杜市ホームページに掲載し、透明性を確保しながら審議を行っています。 こうしたことから、「北杜市民全体に対する公平性の問題」、「市民に対して平等、公平とは言えない行為」、「市民に対して公平性」という意見について、検討委員会の目的達成に当たっては、問題がないと認識しているところです。</p>
43	<p>◆中部横断自動車道の長坂一小諸ルートに反対します。 ①道路はなるだけ多くの人が使えるような工夫が必要です。高速道路では通過車両ばかりが増え、道路の周辺には騒音、日照、景観など様々な被害を引き起こします。小諸へのルートは現行の国道147の整備で十分です。147が現行で不十分であるなら交通量に見合った道路に改造すべきです。北杜市はこの土地にとって高速道路が本当に必要かどうかをもっと具体的に調査すべきです。このままでは、旧住民と新住民・別荘住民との反発や不信感が広がるばかりで、ほんとに悲しい状態です。 ②新ルートの決定過程にも不満です。私が新ルート案を聞いたのは平成25年12月30日です。新ルートはこれまでのルートではない地域も入っています。その中に私の家があります。事前に何の連絡もないまま突然当事者になってしまいました。旧ルートでは反対が多いので3キロ幅を1キロ幅に縮め、かつこれまで反対者のいなかった地域にルートを振ることで、反対運動を弱めようとしたのではないかと勘繰っています。”間討ちだ”というのが私の実感で、許し難い思いを持っています。これは北杜市の問題ではないかもしれませんが、こうした不信感を北杜市が引き受けなくてはならないのは不幸なことです。以上</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「高速道路では通過車両ばかりが増え、道路の周辺には騒音、日照、景観など様々な被害を引き起こします」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」、P13環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。</p>

No.	内容	対応案
44	<p>北杜市役所建設部道路河川課ご担当者さま</p> <p>中部横断道の活用について意見をお送りいたします。</p> <p>私は東京の比較的郊外で生まれ育ちました。折々、年に数度、北杜市へ遊びに来ることはあり、やがて自分の子供を連れて移住しました。</p> <p>子どもを育てるなかで、緑が多い、自然が多いという環境がよいと漠然と感じていました。きっと北杜市の皆様もそれは感じていらっしゃると思います。そして、高速道路が通っても北杜市には緑はたくさんある、多少生態系に影響を与えることがあったとしても、北杜市の一部分に高速道路が通るだけであり自然が多い環境には変わらないとお考えでしょう。</p> <p>しかし、実際に日々暮らしてみて、分かった北杜市の魅力は、緑が多い、自然が多いという漠然としたものではありませんでした。経済を優先する都市の暮らしには、醜いものが多いのです。街並みを壊すような店舗や看板でも、目立てばよい、宣伝になればよい、という経済論理がまかりとおっています。</p> <p>そして人間の本能はそれには耐えられないため、都市住民は、自分の感覚を鈍くさせることで適応していますが、それは精神的には負担であり、ぎすぎすした社会形成の一因ともなっています。八ヶ岳の魅力のひとつに「癒し」が挙げられる根底には、心を固く閉じなくても傷つけられない、醜いものが目に入らない、無理に目を背ける努力をしなくてよい、ということがあるのだと思います。</p> <p>自然環境が素晴らしいと観光客も移住者も行政も、つい言ってしまいます。それは、得てして、山や動植物などもともとある自然に言及してしまいがちですが、それだけでなく、醜いものを恐れずに安心して心を緩めて緑を堪能できるという環境も大事なのだと思います。ただ緑がある、自然に触れ合える、というだけでは人は癒さるのではない。心を緩めても、傷つけられない保証が必要だ、ということを知っていただきたいと思います。</p> <p>清里の駅前の荒廃した景色は、ファンシーという当時の流行をそのまま採り入れたこと、経済論理を優先したことへの警鐘です。</p> <p>条例によって店舗や建物、看板などの大きさや色(色数・色調)などに関する規制が必要かもしれません。現在の景観保全の条例で十分なのかどうかを改めて見直しをお願いしたいです。それは、高速道路においても同様です。景色を味わうときに、たとえ自分が数時間前に走ってきた高速道路でさえも、目に入れば邪魔に思えるものです。観光客のエゴに配慮する義務はありませんが、リピーターや移住者の獲得を望むのであれば考慮すべきでしょう。そして同時に観光客や移住者を育てる視点も必要です。たとえば自然も豊かでコンビニエンスストアもたくさんある、というのは暮らしやすい町だと錯覚しがちですが、自分達が求めている「癒し」はそれでは得られないのだと気づけるように。</p> <p>交通の便はよいのに醜いものが少ない、という絶妙なところに北杜市はあり、そのバランスを崩さないように慎重にお願いします。韭崎や諏訪へ走れば郊外型大型店舗が増えつつあるのを感じます。北杜がそうなら、もう取り返しがつかなくなります。単なる、他より緑の多い郊外、になってしまいます。</p> <p>ただでさえ高速道路を作ることで未来の大人=子ども達にさらなる負債を押しつけるのですから、豊かな自然環境と美しい景観をなるべく残すことに努めるのが、最低限の義務だと思います。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「緑が多い、自然が多いという環境がよいと漠然と感じていました」「豊かな自然環境と美しい景観をなるべく残すことに努める」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12、13「環境・景観」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「八ヶ岳の魅力のひとつに「癒し」が挙げられる」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に、『癒し』という文言を追記します。</p> <p>「醜いものを恐れずに安心して心を緩めて緑を堪能できるという環境も大事なのだと思います」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「条例によって店舗や建物、看板などの大きさや色(色数・色調)などに関する規制が必要かもしれません」に関しては、上位関連施策等と整合を図りながら(各種団体の取組とも調整を図りながら)進めて参ります。</p> <p>「景色を味わうときに、たとえ自分が数時間前に走ってきた高速道路でさえも、目に入れば邪魔に思えるものです」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「交通の便はよいのに醜いものが少ない、という絶妙なところに北杜市はあり、そのバランスを崩さないように慎重にお願いします」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「高速道路を作ることで未来の大人=子ども達にさらなる負債を押しつける」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際、経済性にも配慮し、検討して参ります。</p>
45	<p>北杜市役所建設部道路河川課ご担当者さま</p> <p>中部横断道の活用について意見をお送りいたします。</p> <p>清里なり北杜市内にICを作れば、市にとってメリットがあるとお考えようですが、逆に、市内には新たにICを作らないことをご提案します。</p> <p>現在、清里へ足を運ぼうと思った観光客は、須玉ICか長坂ICから一般道を走ってアクセスします。</p> <p>あるいは、小淵沢方面や明野方面に滞在しているのであれば、同じように一般道を走ってアクセスします。その間に、田園風景を眺め、林や森を抜け、八ヶ岳を仰ぎみします。その道程を楽しむことが、旅の醍醐味でもあります。</p> <p>清里にICができてしまったらどうでしょうか。アクセスが便利になることで、一時は観光客も増えるでしょうが、ポイントとして清里が栄えたとしても、エリアとしての魅力はなくなってしまいます。</p> <p>八ヶ岳山麓の飲食店を見ていると、街道沿いのお店の方が、アクセスしやすく、やはりそうなものですが、意外と車が停まっていることが少なく、ちょっと小道に入っていったところにあるお店でもおいしいものを出しているお店は栄えている。</p> <p>これだけ魅力の多い北杜市ですから、市内に新たにICを作らない、道路は必要だから通したとしても、清里へ行こうと思えばやっぱり従来のICで下りなければならぬ。ICを作るのは市だと聞きました。そこへ割くお金で、清里に侵入をして、エリアとしての魅力をアップすることの方が有効だと思います。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「市内には新たにICを作らないことをご提案します」、「小淵沢方面や明野方面に滞在しているのであれば、同じように一般道を走ってアクセスします。その間に、田園風景を眺め、林や森を抜け、八ヶ岳を仰ぎみします」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき取り組んで参るとともに、具体的な取組については、まちづくりビジョン策定後の、まちづくりビジョンを達成するための道路プランで検討して参ります。</p> <p>また、「清里にICができてしまったらどうでしょうか。アクセスが便利になることで、一時は観光客も増えるでしょうが、ポイントとして清里が栄えたとしても、エリアとしての魅力はなくなってしまいます」、「エリアとしての魅力をアップすることの方が有効」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」、P19観光「視点③:周遊・滞在(型)観光を促進する情報発信の工夫」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>さらに、上位関連施策等と整合を図りながら(各種団体の取組とも調整を図りながら)進めて参ります。</p> <p>「八ヶ岳山麓の飲食店を見ていると、街道沿いのお店の方が、アクセスしやすく、やはりそんなものですが、意外と車が停まっていることが少なく、ちょっと小道に入っていったところにあるお店でもおいしいものを出しているお店は栄えている」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p>

No.	内容	対応案
46	<p>私は、豊かな自然、貴重な動植物、そしてこの八ヶ岳の雄大な景観を台無しにする中部横断自動車道の建設に反対です。</p> <p>この地域は首都圏から移り住んでくる人が多い場所です。その理由は、北杜市でもうたっているようにこの自然環境が人を魅了するからだと思えます。実際、この八ヶ岳南麓には、自然を求め多くの観光客が、オーガニックな野菜や、ハイキングや、ツーリング、ロードレースなど、さまざまな自然を求めて来ています。この自然は大切な観光資源です。この八ヶ岳南麓だからこそできる自然をテーマにしたイベントも行われています。そんな、自慢できる観光資源を自ら壊す高速道路は、この八ヶ岳南麓には必要ありません。</p> <p>全国各地の観光地で、高速道路や新幹線などの建設でかえって観光地として機能しなくなった町が多くあります。要するに、中部横断道ができれば北杜市は通過されるだけで没落してしまうという声もとても多い。私もここで自営業をしていますが仕事が来なくなる可能性があり、死活問題です。ここで、観光客を対象に経営をしているレストランやパン屋さんなど大きな打撃を受けることは必至です。</p> <p>北杜市にはすでに須玉インター、長坂インター、小淵沢インターと3つもインターチェンジがあります。観光で訪れるみなさんはそれぞれの目的のインターを選んで降りています。別荘やホテルまで買い物をしたり、食事をしたり、その行程が楽しいのではないのでしょうか。これ以上何が必要だと言うのでしょうか、私は現時点で十分なインフラが整っていると思っています。</p> <p>今、ここに中部横断道を作ることはこの世界の流れと逆行していると言わざるを得ません。インフラを整備するよりも、もっと魅力的な自然を作る努力をしてはどうでしょうか。森林整備や農薬の制限、荒れた登山道の整備、貴重な動植物の保護など、積極的に自然をアピールして高速道路に頼らない試みをするべきだと思います。</p> <p>ミッシングリンクの解消は新設道路を使う必要はないと国交省自らが言っています。141号を改良し自然を徹底的に壊さない北杜市になるべきだと思います。それこそが北杜市のイメージなると、私は考えます。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で「自然環境が人を魅了する」「この八ヶ岳南麓には、自然を求め多くの観光客が、オーガニックな野菜や、ハイキングや、ツーリング、ロードレースなど、さまざまな自然を求めて来ています。この自然は大切な観光資源」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に位置づけられています。</p> <p>「中部横断道ができれば北杜市は通過されるだけで没落してしまう」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」、P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「自営業をしていますが仕事が来なくなる可能性があり、死活問題です。ここで、観光客を対象に経営をしているレストランやパン屋さんなど大きな打撃を受けることは必至です」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「森林整備や農薬の制限、荒れた登山道の整備」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。また、上位関連施策等と整合を図りながら(各種団体の取組とも調整を図りながら)進めて参ります。</p> <p>「貴重な動植物の保護など、積極的に自然をアピール」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点④:貴重な動植物との共存」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「141号を改良し」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p>
47	<p>わたしがここに居を構えて10年になります。もともと山が好きで老後は山でという思いからここに越してきました。今ではこちらで友達もでき、楽しい毎日を送っています。中部横断道ができる、それも我が家の真上が計画ルートに入っているのを聞き、今は家族で反対の声明を出しています。なぜ、このような風光明媚な場所に高速道路が必要なのでしょう。わたしだけでなく、中部横断道で困る人が多く出て、地域の亀裂が走るこの北杜市で将来を過ごす人々のことを考えているのでしょうか？</p> <p>私は中部横断道建設には絶対反対です。そして市で行われている活用検討委員会にも反対しています。もっと住民の声を聞くべきです。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「風光明媚な場所」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」、環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。</p>
48	<p>意見</p> <p>市政を運営する皆さま、北杜市と住民のために日夜ご努力いただきありがとうございます。</p> <p>中部横断自動車道の北杜市管内の建設については、昨年の国交省による説明会などで市民の意見集約を見てもわかる通り、国道141号改修案の意見がもっとも多く、高速道路建設を推進する北杜市と、有用な自然住環境をもとめて反対する多数の市民との妥協案として、「もっとも良い」方法だと思います。</p> <p>現在、ルートとしては「B案」が浮上していますが、国土交通省が正式に決定したわけではありません。このように「建設の賛否、ルートの選定について市民の意向が交錯する大問題」ですので、このような意見の募集は不用意な市民、市政への不審、対立を生むだけですので、時期尚早と思います。</p> <p>この意見の募集は「正式なルート決定後」に行っても良いのではと思います。</p> <p>以上</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で「国道141号改修案」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p>

参考資料1 パブリックコメントで寄せられた意見一覧

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

No.	内容	対応案
49	<p>中部横断自動車道を前提としたまちづくりは、北杜市の未来をなくすものです。今検討すべき事は、北杜市にとって高速道路が有益か、それとも国道141号の整備改善が有益かを検討すべきではないでしょうか。</p> <p>素案の「豊かな自然環境との調和」「優れた山岳景観と農村景観の保全」「良好な生活環境」「貴重な動植物との共存」のまち作りはすばらしい。でも、高速道路の建設は、これらをすべて悪化させるだけで、なんらメリットはもたらしません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道141号の整備改善が、全ての面でメリットがあり、有益です。 ・八ヶ岳南麓(須玉川、川俣川の西側地域、及び津金)に高速道路の建設は反対です。 <p>国道141号の整備改善なら、これらは、全て可能です。さらに、世界一流の八ヶ岳南麓からの眺望景観も保全されます。高速道路ではなく、景観と環境を優先して国道の整備を選べば、日本全国だけでなく世界でも注目され、多くの人々が訪れ、北杜市は今後発展していくことになります。</p> <p>高速道路は、北杜市にとって最も重要な景観を破壊します。雄大で美しい眺望景観こそ北杜市が守らなければならないもの。この世界一流の景観が、多くの人々、観光客を呼び込み、観光業、不動産業、リゾート関連産業、建設業、運送業、農業、小売業など地域経済は、既に多くの恩恵を受けて来ています。</p> <p>美しい山並みの眺望は、手前の田園風景が美しいから、美しいのです。高速道路は、その手前の田園風景を壊すもので、山並み景観を台無しにします。高速道路は、騒音や振動、光害などをまき散らします。この静寂な地域での影響は想像を超える悪化です。国道141号を整備改善なら、景観や自然が守られ、騒音や振動、光害の心配はありません。静寂さ星空が確保され、平穏な生活権も脅かされることはありません。また、生活道路である国道141号の安全性、速達性が高まることは、北杜市民だけでなく、観光客、長野県の住民にとっても大変ありがたく、便利さが増します。</p> <p>国道141号の改善整備なら、景観、自然が守られるため、人々が集まり、北杜市は発展します。全てにおいて、国道141号の改善整備の方が勝り、将来においても、北杜市のまち作りにメリットをもたらします。反対に、高速道路の建設は、全ての面においてマイナスで北杜市の発展には貢献せず、将来に負の遺産を残すことになります。高速道路は、北杜市には不要です。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で「国道141号の整備改善」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「世界一流の八ヶ岳南麓からの眺望景観も保全されます」、「雄大で美しい眺望景観」、「美しい山並みの眺望は、手前の田園風景が美しいから、美しいのです。高速道路は、その手前の田園風景を壊すもので、山並み景観を台無しにします」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「この世界一流の景観が、多くの人々、観光客を呼び込み、観光業、不動産業、リゾート関連産業、建設業、運送業、農業、小売業など地域経済は、既に多くの恩恵を受けて来ています」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16「地域活性化」基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「高速道路は、騒音や振動、光害などをまき散らします」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13「環境・景観」視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。</p>
50	<p>高速道路を作れば、地域が活性化すると信じたのは、もう昔物語です。交通の便がよくなって地域経済が活性化したところは、全国どこにもありません。過疎化を招くのが現実です。地域間の競争が激しくなった今では、どこも良い景観を作り、道は細くして車をゆっくり走らせる時代に入っています。それなのに、いまだにみちづくりをまち作りの柱にするようなビジョンは、時代錯誤で、残念としか言いようがありません。高速道路を作れば人が集まる、地域が活性化するという幻想から覚めてください。</p> <p>中部横断自動車道を八ヶ岳南麓に作れば、確実に通過型観光になり、観光業は痛手を受けます。北杜市で最も重要で価値ある景観を破壊し、騒音、光害、振動による環境に悪化で、リゾート地としての魅力はなくなります。移住者も別荘も減り、不動産業、建設業も、そして小売業者、農業と地域経済が大打撃を受けるのは明らかです。</p> <p>中部横断自動車道ではなく、国道141号を整備改善するほうが地元の経済にとってはよほど有益です。そして、景観と自然を生かしたまち作りを考えれば、市が進める滞在型観光圏にできると思います。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「中部横断自動車道を八ヶ岳南麓に作れば、確実に通過型観光になり、観光業は痛手を受けます。北杜市で最も重要で価値ある景観を破壊し、騒音、光害、振動による環境に悪化で、リゾート地としての魅力はなくなります」、「不動産業、建設業も、そして小売業者、農業と地域経済が大打撃を受けるのは明らかです」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13「環境・景観」視点③:良好な生活環境への配慮」、P16「地域活性化」基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」、P18「観光」基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」、に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「国道141号の整備改善」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「景観と自然を生かしたまち作りを考えれば、市が進める滞在型観光圏」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18「観光」基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p>

No.	内容	対応案
51	<p>高速道路に反対 北杜市が活用検討委員会なるものをつくって率先して高速道路を造ろうとしていることが不思議でならない。 北杜市としては、高速道路ができて通過車輦ばかりになるよりも、できるだけ車が市内を通過して沿線のお店や観光施設などに立ち寄ってもら方がいいに決まっている。自然豊かな北杜市の良さを知ってもらえばもっと移住者も増えて活気のある街になる。 北杜市民は野辺山から高速に乗り、須玉や長坂から高速に乗って遠くに行けばいいので北杜市民にとって高速道路は無用の長物。 どうしても道路整備がしたいのなら141号線を国が拡幅すればいい。 なぜ北杜市が北杜市のためにならないことを率先して推進しようとするのか？</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「高速道路ができて通過車輦ばかりになるよりも、できるだけ車が市内を通過して沿線のお店や観光施設などに立ち寄ってもら方がいいに決まっている」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」、P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「自然豊かな北杜市の良さを知ってもらえばもっと移住者も増えて活気のある街になる」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「141号線を国が拡幅すればいい」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p>
52	<p>北杜市にとって観光客の誘致は大きな課題であります。そのため中部横断自動車道を建設することは必要かもしれません。しかし、私は道路建設のまえに北杜市、とりわけ清里を魅力ある観光地にかえる事が先決と考えます。</p> <p>自動車道で北杜市を走る部分の建設に2千億円をかけるとのこと。この金を下記のように使って清里を魅力ある観光地に変貌させるべきです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 須玉ICからの141号線を観光客をむかえるにふさわしい美しい道路に変えること。一部道路の拡幅、清里にふさわしい街路樹の植え込み、道路に隣接した商業施設に設置等。 2. 141の道路わきにある未使用の汚い建物の強制撤去。(かつて建てられた汚い、朽ちたお店等) 3. 清里駅前再開発。イメージとしてはスイスのマッターホルンのふもとにある町、ツエルマットやモンブランのふもとの町シャモニー。 4. 登山客、スキー客をもっと迎えるのにふさわしい街づくり。 <p>以上です。</p>	<p>頂いたご意見の中で「清里を魅力ある観光地にかえる」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「1. 須玉ICからの141号線を観光客をむかえるにふさわしい美しい道路に変えること。一部道路の拡幅、清里にふさわしい街路樹の植え込み、道路に隣接した商業施設に設置等」 「2. 141の道路わきにある未使用の汚い建物の強制撤去。(かつて建てられた汚い、朽ちたお店等)」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「視点①:観光拠点へのアクセス」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「3. 清里駅前再開発。イメージとしてはスイスのマッターホルンのふもとにある町、ツエルマットやモンブランのふもとの町シャモニー。」 「4. 登山客、スキー客をもっと迎えるのにふさわしい街づくり。」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。また、上位関連施策等と整合を図りながら(各種団体の取組とも調整を図りながら)進めて参ります。</p>
53	<p>新規の道路建設に反対です。</p> <p>○人口も交通量も減少していくのに、新規の道路は要りません。 ○ここで投じられる予定の多額の建設費は次世代へのツケになります。 ○笹子トンネルの事故を二度と繰り返さない為に、今あるインフラの整備を。</p> <p>どうぞよろしくおねがいいたします。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p>

No.	内容	対応案
54	<p>北杜市に移住してきて15年目になり、生産活動や文化活動等を通じてこの地に住む人や来訪者ともなじみ、八ヶ岳南麓地域の特性を愛する一住民として、率直なコメントをします。</p> <p>1 検討の道筋・順序が違うのではないかと疑問</p> <p>「中部横断自動車道活用検討委員会」という名称とその設置のタイミング(WGのBルート案採択後急にという印象)からも高速道設置を前提とした唐突なまちづくり検討になっているのでは? 「意見」は高速道利用方法の羅列に終わりがねない</p> <p>本来なら地域づくりのビジョンが先にあって、そのためにはどうすることが必要か、あるいは妨げになるのかを検討すべきでしょう。</p> <p>2南麓を横断する高速自動車道は地域の活性化にほとんど結びつかず、むしろ八ヶ岳南麓地域の特性を損ない、マイナスに働く懸念が非常に強い。</p> <p>地域活性化のカギは広い意味での「地産地消」です。一時的なブーム便りの人集め(かつての清里駅前ゴースタウン化や〇〇の館など)とはむしろ対極にあるものです。</p> <p>地域の特性を生かしながら人々の生活の営みによって生み出されるもの、知恵の結集により人々の参加を促す地域独特の継続的なイベントなど…。</p> <p>八ヶ岳南麓の状況を見ると、高速道は中央高速道だけで十分、後々までも大きな財政負担をもたらす高速道新設は不要。地域の活性化にプラスに働くのは国道141号の改修で足りる。</p> <p>市に対しては、高齢化の現実を見据えるなら、住民や来訪者にとっては、「高速」より、取りやめになった「デマンドバス」のような「地域特化機動性」の仕組み構築支援の方が望まれるのではないのでしょうか。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で「南麓を横断する高速自動車道は地域の活性化にほとんど結びつかず、むしろ八ヶ岳南麓地域の特性を損ない、マイナスに働く懸念が非常に強い」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「視点①:六次産業化・農業と観光の融合による地域活性化」、P17地域活性化「視点②:商工業の活性化」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「地域活性化のカギは広い意味での「地産地消」です」「地域の特性を生かしながら人々の生活の営みによって生み出されるもの、知恵の結集により人々の参加を促す地域独特の継続的なイベントなど…」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。また、上位関連施策等と整合を図りながら(各種団体の取組とも調整を図りながら)進めて参ります。</p> <p>「国道141号の改修」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「「デマンドバス」のような「地域特化機動性」の仕組み構築支援の方が望まれる」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p>
55	<p>私は「南麓を通す高速道路反対・141号改修を求めます」全てのコメントは、それを前提に書いています。</p> <p>1. Bルート前提の活用検討委員会はおかしいです。広く住民の意見でルートを決める方が良いと思います。</p> <p>2. 北杜市の人口が増えているのは、南麓地域だけです。この移住者や別荘所有者が何故ここに決めたのかをアンケートを取ってみてください。そうしたら南麓に高速を通すことなど出来ないはずですよ。</p> <p>3. 1360mの高地に高速を通して冬場の安全は守れるのでしょうか。通行止や事故、保守費用もかかります。安全な高速道路を造り、それを維持管理が出来るのでしょうか?</p> <p>4. 清らかな豊富な水資源、特に名水百選に選定された湧水等の地下資源は、今貴重です。高速道路開発で、それらは必ず駄目になります。高尾でも、滝が枯れることが無いと言われましたが、実際には枯れました。壊れた自然は戻りません。</p> <p>5. 眺望が人工物で少しでも壊れることは絶対に許せません。人工的な植栽をしても、自然な美しさにはなりませんし、景観が分断されます。</p> <p>6. 世界遺産を目指す山岳景観に道路ができては世界遺産の登録申請も出来なくなるでしょう。八ヶ岳南麓の景観を変えないで。</p> <p>7. 八ヶ岳PAから長坂ICの間は2kmしかありません。その間にもう一つICを作るのは常識的に考えて危険です。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「1360mの高地に高速を通して冬場の安全は守れるのでしょうか」に関しては、冬期の走行安全性に関するご意見と捉えており、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「清らかな豊富な水資源、特に名水百選に選定された湧水等の地下資源は、今貴重です」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「世界遺産を目指す山岳景観に道路ができては世界遺産の登録申請も出来なくなるでしょう。八ヶ岳南麓の景観」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「八ヶ岳PAから長坂ICの間は2kmしかありません。その間にもう一つICを作るのは常識的に考えて危険です」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」に基づき取り組んで参ります。</p>

参考資料1 パブリックコメントで寄せられた意見一覧

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

No.	内容	対応案
	<p>8. 救急医療面が課題になっていますが、元々、山梨県側は、甲府方面に搬送しているので、問題ありません。山岳地域での救急搬送は、ドクターヘリか、救急病院を配置することが本当の解決策です。道路を造って解決する問題ではありません。</p> <p>9. 長坂ICは清里への玄関口ですが、高速道路を降りて最初の信号が色褪せて貧相。北杜市の印象が悪くなり、観光客が失望します。観光都市を目指す北杜市なら、このような細かな所にも配慮し、「おもてなし」の心を表せるように、今すぐでも改善してください。</p> <p>10. 清里ICを造って、観光客を増やすことを考えるなら、清里ICを造ったら、逆になります。軽井沢はICが山の中ですが、観光客は多い。ICを作っても観光客が増えないでしょう。逆に、山梨市のように、日帰り圏になって宿泊客が減ることになります。</p>	<p>「長坂ICは清里への玄関口ですが、高速道路を降りて最初の信号が色褪せて貧相」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「おもてなし」の心を表せるようにに関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に、『市民の『おもてなし』の気持ちを背景に』という文言を追記します。</p> <p>「清里ICを造って、観光客を増やすことを考えるなら、清里ICを造ったら、逆になります」、「ICを作っても観光客が増えないでしょう」、「山梨市のように、日帰り圏になって宿泊客が減ることになります」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」、P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p>
56	<p>中部自動車横断道建設に反対します。 自然環境に恵まれていて、それが財産ともいえる北杜市にこれ以上の高速道路はいりません。 ただでさえ、昨今のソーラーパネルによる鉄の森のはんらんで、環境破壊が進んでいます。 ここにさらに景観をこわす高速道路が加わるとなれば、北杜市が自慢できるもの、外部の人々を呼び込めるものがなくなってしまいます。 災害時の対策だという意見もありますが、太い道路を通すだけが災害対策ではないでしょう。 きめの細かい、人の気持ちによりそった有効な対策がいろいろあるはずで。 有能な人々の知恵でそれを見つけてください。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で「自然環境に恵まれていて、それが財産ともいえる北杜市」、「昨今のソーラーパネルによる鉄の森のはんらんで、環境破壊が進んでいます」、「景観をこわす高速道路が加わるとなれば、北杜市が自慢できるもの、外部の人々を呼び込めるものがなくなってしまいます」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」、P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「太い道路を通すだけが災害対策ではないでしょう」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参ります。</p>
57	<p>私は高速道路建設に反対です。 今は修復の時代です。 何でもかんでもぼんぼん新しいものをつくるのではなく、今までのものを直し、改善していくのが望ましいと思います。 特にこの高速道路は地元の私たちにはなんのメリットもなく、デメリットの方が大です。 人口がどんどん減っていく中、子供達の代まで借金をしてまで造るものなのかももう一度ご検討を願います。 R141の改善整備で充分です。 これが一番良い案だと思います。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「R141の改善整備」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p>
58	<p>僕は高速道路はいらないと思います。 人口が減って、車の数も減っていくのにどうして新しい道路が必要なんですか？ R141を改善整備をしたほうが余計な税金を使うこともないし、1番いいと思います。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「R141を改善整備」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p>
59	<p>新しく高速道路を建設するのではなく、R141を修繕整備した方がいいと思います。 税金を少なく抑えられることもそうですし、環境破壊も少なく抑えられるからです。 よろしくお願いします。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「R141を修繕整備」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「環境破壊」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p>
60	<p>どうか大切な税金を(あまり必要とされていない)高速道路に注ぐのは止めて下さい。 人口が減少していく中、子供達の数も減っていくでしょう。 その少ない子供達にこの税金を押し付けるのは如何なものでしょうか？ R141の修繕整備をしていただければ充分だと思います。 よろしくお願いします。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「R141の修繕整備」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p>

No.	内容	対応案
61	<p>この高速道路は私たちはほとんど利用しないと思われます。美しい自然を破壊してまで建設する理由が分かりません。もちろん建設するには膨大な税金も使用されます。R141の改善整備で充分役割を果たしてくれると思います。私もそれが一番嬉しいです。R141はよく利用していますので助かります。どうぞよろしくお願いいたします。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いた意見の中で、「美しい自然を破壊してまで建設」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「R141の改善整備」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p>
62	<p>こんにちは 北杜市に在住の* *と申します。</p> <p>中部横断道路ですが、はっきりと反対を表明します。少なくとも、当該市民にとって、中部横断道路は不要ですし、何より高速道路の存在そのものが、この八ヶ岳地域の最大の環境破壊です。是非R141の整備の方向で検討してください。北杜市にとっての最良の道は、高速道路ではなく、これだと思っております。以上、よろしくお願いいたします。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いた意見の中で、「高速道路の存在そのものが、この八ヶ岳地域の最大の環境破壊」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「R141の整備の方向」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p>
63	<p>地域の活性化を考えた場合、中部横断自動車道は無用の長物で明確に反対です。山梨県北杜市においても他の地方都市同様、高齢化と過疎化が問題となっております。</p> <p>この世界的な問題に対し、「機能的なコンパクトシティ」構想が最も有効な手法と考えます。近隣への移動には自転車を利用、それと同時に外出をより安全で簡単に移動する手段として超小型モビリティが利用出来れば高齢者も活動的な生活を送ることができます。しかし北杜市においても地方の道路に多いことですが道路の道幅が狭いので自転車どころか歩行者が安全に通れる道幅すら無いのが現状です。高齢者の交通事故が懸念される中、財政面で歩道を確保することすら困難な状況です。</p> <p>但し、山梨県北杜市におきましては他の地方都市とは異なる面が2つあります。1つ目は首都圏近県と良好な自然環境の理由から都市部の現役を引退された方々が多く移住されていること、2つ目は八ヶ岳南麓の雄大な景観を目当てに多くの観光客が来訪、中でもサイクリングイベント(グランfond八ヶ岳)は毎年3,000名の参加があります。しかし上記の問題点として、都市部からの移住者は道幅が狭く歩行者に注意しなければいけない運転に辟易しており、サイクリングイベントにおいては住民の生活道路を使用しているため参加者と住民との間で軋轢が生じていることです。</p> <p>上記の問題点を解決する方法として歩道及び自転車道の整備が挙げられます。この道路整備はインフラ対応だけではなく、地域の活性化に有効な投資と位置付けられます。具体的には南北道路(国道141、県道28号)、東西道路(県道32、608号、レインボーライン)を整備することにより、移住者及びサイクリング愛好家と付随する観光客の誘致による過疎化対策、更に自転車道及び自転車道の若干の拡張により超小型モビリティ専用道路による高齢者の活動的な生活は高齢化対策のモデルになる可能性を秘めております。</p> <p>北杜市におかれましては「高速道路」という時代遅れな政策ではなく、「機能的なコンパクトシティ」という先進的な構想にて「まちづくりビジョン」を進行していただけるよう切に願っております。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いた意見の中で、「良好な自然環境」、「八ヶ岳南麓の雄大な景観を当てに多くの観光客が来訪、中でもサイクリングイベント(グランfond八ヶ岳)は毎年3,000名の参加があります」、「サイクリング愛好家と付随する観光客の誘致による過疎化対策」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「視点①:観光拠点へのアクセス」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「北杜市においても地方の道路に多いことですが道路の道幅が狭いので自転車どころか歩行者が安全に通れる道幅すら無い」、「歩道及び自転車道の整備」、「南北道路(国道141、県道28号)、東西道路(県道32、608号、レインボーライン)を整備」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」、P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p>

No.	内容	対応案
64	<p>中部横断道新ルートを経過について (新ルート上に生活をしているものとして憤りをもってコメントをします)</p> <p>①新ルートはいつ計画されたのか？ 旧清里有料道路ルートが見直すことになったのが一昨年10月4日の小委員会でした。そして1か月後の11月21日に同じ小委員会で新ルートが提案されました。 いつだれがどのような調査をして新ルートA/B案を作ったのでしょうか。建設地域に多大な影響を与える高速道路のルートがこのように安易に作られて良いのでしょうか。清里から長坂まで地図上に線を引いただけのものと思われま。ルート上にどのような人たちがどのように生活を営んでいるのかということは一切考慮をしないで作られた中部横断道新ルートと言わざるを得ません。</p> <p>②A/B案という巧妙な国交省のカラクリ 昨年5月に*****がB案が妥当と提案し、それを受ける形で小委員会ワーキンググループがB案が妥当と答えました。このワーキンググループのミッションはA案かB案のどちらかを定めるだけのものでした。そしてあたかもB案が決まったかのように北杜市では活性化検討委員会が立ち上がりました。 考えてみてください。これまで中部横断道新ルートが総合的に検討された形跡はありません。総合的にというのは自然環境への負荷、地域住民へのダメージ、そして建設費用等々、多岐にわたります。</p> <p>③中部横断自動車道活用検討委員会の立ち上げ 昨年6月にだされたワーキンググループの付帯事項に「継続して地元住民の意見を聞く仕組みづくりを構築すること」とありました。この付帯事項を満たすために活用検討委員会が作られました。しかし、新ルートB案が前提の活用検討委員会は存在そのものが新ルートB案の既成事実化を進めるものでしかありませんでした。まちづくりという地域住民にとって基本的な問題を高速道路を作るためにデッチ上げるということはあるべきではありません。</p> <p>④まちづくりビジョンの基本理念 地域を『つなぐ』、地域を『支える』、地域に『なじむ』地域との『協働』による北杜のまちづくり・みちづくり 地元説明会でも明らかになったように新ルートでの中部横断道は八ヶ岳南麓に生活している人たちに大きな亀裂を作っています。中部横断道を推進している人たちと静かな生活を求めて都会から移り住んでいる人たちの間で賛否が分かれるのは当然の成り行きです。日常的に意思疎通の少ない状態で賛成、反対が叫ばれば悪い感情が作られてしまいます。この北杜市の地域問題に市当局は何の解決策をとっていません。まちづくりビジョンの基本理念と地域の実情との目も眩むほどの乖離は大きな問題を孕んでいると言わざるを得ません。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p>
65	<p>中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン案に対するパブリックコメントを提出します。</p> <p>八ヶ岳南麓を横断する高速道路(長坂～八千穂間)の建設に反対します。</p> <p>先ず現在B案にまだ決定していないのに、このパブリックコメントの実施は、B案に決まったという印象を与えようという意味では作為的なやり方と受け取ります。このような姑息的なやり方に憤りを感じています。</p> <p>私なりの反対理由を下記に記します。 1. 環境を破壊せずに工事はできない: この高速道路によって八ヶ岳南麓の自然環境を維持することはできず、必ず悪化します。これはすべての人が認める所です。この高速道路を作れば現在の八ヶ岳の景観を破壊し観光客は更に減ります。しかもどんなに道路工事を環境配慮したとしても、環境を破壊せずに道路を造る事は不可能です。 2. 農業の活性化ができるか?: 北杜市にはすでに中央高速道路がありますが、過去何十年にもわたってこれを農業の活性化に利用することは出来ませんでした。今更新しい高速道路が出来ても農業の状況は変わらないと言う事の証拠です。 3. 観光客の倍増に繋げられるか?: かつて清里が観光という面で大変有名になり、多くの観光客が押し寄せましたが、その後の観光客の激減に対して中央高速道路を有効に利用する事が出来ませんでした。今更新しい高速道路を作っても観光客を倍増させる手だては期待出来ません。観光振興の為には高速道路ではなく北杜市行政と地元住民の取り組み姿勢が問題なのです。 4. 北杜市医療拠点の欠如: 北杜市には住民が安心してかかれる拠点となる医療機関が無い事が最も大きな問題で、現在も住民の多くは北杜市以外の医療機関にお世話になっています。北杜市に拠点医療機関が無い状況の中では、新しい高速道路によってもこの問題を解決することは出来ません。中部横断自動車道によって山梨中央病院などへのアクセスが良くなるというのは本末転倒です、そのような場合でも中央高速を使うことで何も問題はありせん。高速道路を建設する為の自治体負担を抱えるくらいなら、住民のための拠点医療機関を作る方が遥かに住民の為になることは明白です。または山梨県各市と比較しても福祉行政の貧困さは多くの人の認める所です。今後益々高齢化が進む中、少なくとも県内で誇れるような福祉が充実している市というイメージ作りのためにお金を使う方が住民の願う所です。 5. 国道141号線と住民生活: 国道141号線は北杜市の住民にとっても、北杜市周辺の住民にとっても大変重要な道路である事は誰もが認める所です。しかしこの道路は現在狭い所、曲がりくねった所などがあり、生活道路としての機能が十分ではありません。安心して住める町、住みたくなる町作りなど住民の生活を最優先すべき課題だとすれば、この141号線の整備が最優先されるべきです。従って国道141号線を生生活道路および周辺地域との交通の主要道路と位置付けて(現在もそのような位置付けですが)そのための整備をする事が現在最も必要とされている事です」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15「視点②:くらしやすさの向上」に</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「八ヶ岳南麓の自然環境を維持することはできず、必ず悪化します」、「高速道路を作れば現在の八ヶ岳の景観を破壊し観光客は更に減ります」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」、P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「今更新しい高速道路が出来ても農業の状況は変わらない」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「視点①:六次産業化・農業と観光の融合による地域活性化」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「今更新しい高速道路を作っても観光客を倍増させる手だては期待出来ません」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「北杜市には住民が安心してかかれる拠点となる医療機関が無い事が最も大きな問題で、現在も住民の多くは北杜市以外の医療機関にお世話になっています」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14「基本方針:安全・安心で快適なくらしのために」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「国道141号線は北杜市の住民にとっても、北杜市周辺の住民にとっても大変重要な道路である事は誰もが認める所です。しかしこの道路は現在狭い所、曲がりくねった所などがあり、生活道路としての機能が十分ではありません。安心して住める町、住みたくなる町作りなど住民の生活を最優先すべき課題だとすれば、この141号線の整備が最優先されるべきです。従って国道141号線を生生活道路および周辺地域との交通の主要道路と位置付けて(現在もそのような位置付けですが)そのための整備をする事が現在最も必要とされている事です」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15「視点②:くらしやすさの向上」に</p>

No.	内容	対応案
66	<p>6. 高速道路の現状認識: 多くの日本の高速道路は現在メンテナンスの時期に入り今後3兆円規模のお金がかかると言われています。笹子トンネルの崩落事故のようなことが再び起らないように対策を急ぐ事が最も必要な事なのです。予算があるならこのような危険な高速道路の補修を先ず優先させるべきでしょう。</p> <p>私達夫婦は家族で、主に都会からの観光客や移住者の方々にお客様としてご来店頂き、パン屋を営業しています。営業を始めて10年が過ぎましたが、この十年で多くの住宅や、店舗が増え、この八ヶ岳南麓の素晴らしい環境と景観が多くのの人々を魅了しているのだと実感しています。昨年11月21日に国土交通省の突然の発表で、私達の住居と店舗が中部横断自動車道の新ルート沿線に入ってしまった。以前より、国土交通省が中部横断自動車道(長坂～八千穂)の計画段階評価のための住民アンケートを行っていましたので、この素晴らしい八ヶ岳南麓を横断する高速道路に反対する署名活動にも参加し、北杜市内で最も支持率が多かった国道141号線の改良案を再検討するよう、国土交通省に働きかけていたのですが、再び八ヶ岳南麓を横断する新ルートを提案してきた事には大変強い憤りと怒りを感じています。北杜市においても、再三にわたり住民の意見を聞く場所を設定するよう、住民グループからの要請(北杜市議会への請願も行いました)を行ってきましたが、全く聞き入れられる事無く今回の活用検討委員会の設置に続きパブリックコメントの実施が始まってしまった事は残念でなりません。下記に私達が考える中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョンに関する疑問を提示させていただきますので、検討の一助として頂ければ幸いです。</p> <p>①そもそもこの中部横断自動車道(長坂～八千穂)は現在計画段階評価中であり、事業化が決定したわけではありませんが、昨年行われた国交省主催の地元説明会の様子でもわかるように多くの住民の反対意見や疑問・疑念を何ら解消する事無く、北杜市自らが半ば高速道路建設を既成事実化するような“活用検討委員会の設置”や“パブリックコメントの実施”を行う事は、民意を無視する行為であり、行政の末端機関である北杜市の役割を軽視しているのではないのでしょうか。高速道路賛成でも反対でも、皆が多様な意見を出せる場所の提供をするのが行政の役割だと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>②■まちづくりビジョンの検討の流れと策定経緯の中で、検討委員会は学識経験者、地域の代表、〇〇から構成されている…、とありますが、たまたまその年度に地区の区長となった方々が委任されたもので、高速道路についての知識はほとんどない方々がどの程度の意見が言えるのでしょうか。また、これらの方々がどの様な方法で地域住民の意見をまとめられるのか、まとめ切れなかった場合はどの様にされるのか、地区長個人の意見と地域住民の意見は明確に分けて頂く事と、まとめきれない場合はその旨正直に報告して頂きたい旨、徹底して下さいますようお願いいたします。行政区に入らない住民の意見はどの様にするのか、また別荘所有者へのパブリックコメント募集の周知徹底はなされているのか、周知が難しいこのような冬の期間にパブコメの募集をしなくても、別荘所有者が滞在している夏期に行うべきではないのか…、と考えますがいかがでしょうか。</p> <p>③まちづくりビジョンを達成するための道路プランについて中部横断自動車道のルート・構造を検討するための配慮事項 例)自然環境・景観へ配慮する のり面等への植栽の実施や盛土や緩衝帯への植栽 等とありますが、人工的な建造物は植物で見えないように工夫すれば(臭い物には蓋をする)自然環境・景観に配慮した事になるのですか？ 発想が貧困ではないのでしょうか？ 多くの住民が危惧している環境・景観はこの素晴らしい自然を根本的に守りたいのであって、見えなければいいというレベルの話ではありません。高速道路が八ヶ岳南麓を横断すれば、多くの森林が伐採され、湧水が枯れてしまうかも知れません。北杜市でも貴重な農地(水田)は多くの税金をかけて圃場整備をしていますが、農地は減少し、そこにまた新たに税金を使って道路を作るのです。日本の人口は減少傾向にあります。また、日本の国の借金も1000兆円、国民一人当たり700万円もあると言われています。そんな状況でまだ道路がほしいのでしょうか？ 借金が無くなって、人口が増えてからやってもいいのではないですか？ 足るを知る、日本の素晴らしい言葉です。ルート・構造を検討できるのであれば、多くの住民が自由に使えて、脆弱だと心配されている国道141号の改修を行えば、二重投資も避けられます。</p>	<p>基づき、取り組んで参るとともに、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「八ヶ岳南麓の素晴らしい環境と景観が多くのの人々を魅了している」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「国道141号の改良」、「脆弱だと心配されている国道141号の改修」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「地区長個人の意見と地域住民の意見は明確に分けて頂く事」に関しては、まちづくりビジョンの検討・意見集約を進めるなかでは、地区長意見と、地域住民の意見(パブリックコメント)は分けて整理しております。</p> <p>「高速道路が八ヶ岳南麓を横断すれば、多くの森林が伐採され、湧水が枯れてしまうかも知れません。北杜市でも貴重な地(水田)は多くの税金をかけて圃場整備をしています」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」、環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「「まちづくり計画」概要の土地利用の方向で田園集落ゾーンは美しい農村風景と豊かな田園環境を保全しつつ、地域農業の振興、集落コミュニティの維持を図り、安定した農村環境の維持・継承を進める。」、「まちづくりビジョン」との整合性が図れない」に関しては、上位関連施策等と整合を図りながら(各種団体の取組とも調整を図りながら)進めて参ります。</p>

No.	内容	対応案
	<p>国土省もミツソンクリンク解消のため、一部国道を活用し早期に完成させる事が災害対策になる」と言っています。</p> <p>また、「平成25年度内にまちづくりビジョン取りまとめ」となっていますが、後2カ月足らずでまとめるのは早すぎるのではないですか？ もっと多くの住民の多様な意見を出してもらえよう、北杜市が努力するべきと思いますがいかがでしょうか？</p> <p>④「まちづくり計画」概要の土地利用の方向で田園集落ゾーンは美しい農村風景と豊かな田園環境を保全しつつ、地域農業の振興、集落コミュニティの維持を図り、安定した農村環境の維持・継承を進める。と書いてありますが、このゾーンは正しく新ルート上で、「まちづくりビジョン」との整合性が図れないと思いますがどうされるのでしょうか？</p> <p>北杜市民の意見は、北杜市が国土交通省に向けて提案や請願をして下されば、国土交通省も無視できません。是非、ルートの検討に関しても北杜市民の民意が反映されるよう、国土交通省へ積極的な働きかけをお願いいたします。</p> <p>⑤まちづくりビジョンにおける理念について、その検討に先立つ意見の把握を行った、として主なご意見を4ページにわたり掲載され、高速道路整備に対する反対意見や懸念も多数掲載されています。しかしながら「基本理念」地域を『つなぐ』、地域を『支える』、地域に『なじむ』、地域との『協働』による北杜のまちづくり・みちづくりには、そのような懸念は反映することはできません。なぜなら、八ヶ岳南麓を横断する高速道路では、北杜市の素晴らしい景観や環境を破壊してしまいます。観光・生活環境・農業振興・のダメージを与えるこの計画そのものを見直さなければ、「基本理念」を実現することは不可能だと思います。</p> <p>⑥まちづくりビジョンの基本方針・視点については</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 環境・景観:大型の人工構造物をいくら植物で覆っても、自然は守れませんし、生活環境も悪化します。 2. 暮らし:すでに十分暮らしやすい環境なので、移住者も増加しています。都会のような24時間便利な暮らしを求めて、移住してくるわけではありません。良好な生活環境と高速道路は共存不可能です。 3. 地域活性化:長坂町・大泉町は北杜市でも人口が増加していますし、多くの若者がお店をオープンさせたり、新規就農を志して移住しています。この自然環境を保全・活用することが地域活性化への近道です。 4. 観光:北杜市の魅力である自然環境を充実させなければ、観光は促進しない。高速道路が南麓を横切れば景色を見ながら通過するだけ。北杜市へのアクセスは中央道で十分です。 <p>以上、中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(素案)に関する私達の意見です。北杜市は高速道路の推進をしていますが、国策とはいえ、人口減少や国の財務状況により、前線高速道路整備ではなく、一部国道の活用でも高速道路整備とみなされます。地域主権を発揮して、当事者である北杜市も、ルートや構造について積極的に発言し住民の多様な意見を反映させて、みちづくり・まちづくりを検討して頂きます様切にお願いいたします。</p>	<p>「八ヶ岳南麓を横断する高速道路では、北杜市の素晴らしい景観や環境を破壊してしまう」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」、P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「多くの若者がお店をオープンさせたり、新規就農を志して移住」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に『八ヶ岳南麓の魅力に後押しされた豊かな経済活動の促進』という文言を追記します。</p> <p>「自然環境を保全・活用することが地域活性化への近道です」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「北杜市の魅力である自然環境を充実させなければ、観光は促進しない」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p>
	<p>結論は「中部横断自動車道建設は、私を含め北杜市民の民意を踏みにじるもので反対。国道141号線の改良を前提に、北杜市まちづくりを推進してください」ということです。</p> <p>①表題にある「を見据えた」の「見据えた」とは、一体、だれが、いつ、どのような権限を根拠に、まるで既成事実であるかのように決めたのでしょうか。北杜市民の民意で「～を見据ええた」事実はありませんから、この表題は削除願います。民主的な手続きを経て方向づけされたものではなく撤回を求めます。</p> <p>②もし、このような表題を掲げたいのであれば、北杜市主催で、北杜市民に対し、中部横断自動車道の建設の是非を問うべきです。その際には、北杜市民と同時に、今回のパブコメ回答の有資格者である、市内別荘所有者も含めなければ、公正さが担保されないことは言うまでもありません。</p> <p>③北杜市まちづくりビジョンが謳う「地域を『つなぐ』、地域を『支える』、地域に『なじむ』、地域との『協働』による北杜市のまちづくり、みちづくり」という方向は適切ですが、これを実現する方法論には、複数あります。</p> <p>北杜市民が最も支持しているのが、国道141号線の改良であることが、すでに明らかになってるので、その民意を尊重して、まちづくりビジョンを検討する責任が北杜市にはありますね。そのことを重く受け止めて下さい。</p> <p>そもそも、2012年1～2月に国交省が行った、中部横断道に関する第2回アンケート調査については、回答数が北杜市より、南佐久・佐久市の方が多くなるように、調査票の配布数を意図的に偏らせたり、理解しがたい集計方法がとられた事実は、今や多くの北杜市民が知るところです。</p> <p>このような国交省関東地方整備局の作爲的な、誘導的な集計(同関東地方整備局審議会の関東地方小委員会委員自身までが「このような集計方法は世間一般では見られない」と2012年4月の小委員会で批判=議事録を調べて下さい)によって、高速道路建設が民意であるかのような偽装工作がとられていることは、北杜市自身も認識していないわけがないでしょう。</p> <p>この調査は①案「全区間で新たな(高速)道路を整備」②旧清里有料道路の一部利用③国道141号の改良④整備なしーからの4択でした。北杜市WEB経由での回答数によれば、141号改良の③案支持が80%と最多でした。国交省の資料にもこの記述は残っていますよね。「北杜市民の大半が、高速道路建設を望んでおらず、141号線の改修を希望している事実」は証明済みなのです。議論の余地はないでしょう。違いますか。よって、141号線の改良をすべきである、という結論が導き出されます。</p> <p>もし、このことを北杜市が受け入れられないのであれば、市はまず、この結果について合理性のある説明を市民に対して行う責任があります。</p> <p>④中部横断自動車道は、国道141号線改良と比較すると欠点・欠陥・デメリットが多すぎることから、建設すべきではありません。そもそも、市民が望んでいないものは建設する合理性がありません。</p> <p>もし、公共事業の拡大で景気浮揚を狙うのなら、老朽化が激しい既存の高速道路や陸橋、高架橋の改修等に充てるべきで、その意味で、新規高速道路建設の優先順位は極めて低いわけです。高速道路の欠点を以下に挙げてみます。</p> <p>●そもそも総工費が2300億円と見積もられる中部横断自動車道に経済合理性があるのか、という根源的な問題があります。その判断材料である需要</p>	

No.	内容	対応案
67	<p>予測も国は一切、出そうとしません。国が示さないのであれば、北杜市が独自調査し、北杜市民に説明する責任がありますが、そのような議論さえまったくありません。1000兆円を超える財政赤字がある中で、建設後に、「できてみたら赤字路線でした」というようなことは絶対に許されことではなく、この数値が示されないこと自体、不採算路線であることの証左でありましょう。</p> <p>●地域経済へのダメージが予想されること。新幹線建設で、駅間のエリアの経済や観光が衰退している実例と同様、高速道路を建設し、清里周辺にICを作れば、長坂ー清里間のエリアは、国道141号線沿道の商業施設を含め、衰退するだろうことが、容易に推測されます。また、現状のように141号利用のままであれば、大泉エリア経由で清里観光と、いう、観光客の流れが維持されるが、高速ができれば、大泉エリアはスルーパスされ、新幹線駅間エリアと同様の悲劇が予想されます。そうなったら、だれが責任を取るんですか？ 大泉は全国的な地方経済の低迷、人口の都市集中化の流れの中で、孤軍奮闘し、ハケ岳南麓の観光資源を武器に人口増を実現してきました。にもかかわらず、高速道路ができ、「スルーパス現象」が起きれば、奇跡的な人口増は、人口減に転じ、大泉衰退を促しかねません。大泉エリアのペンション、ホテル、飲食店、観光施設などの観光産業が打撃を受ければ、それが、地域の建築業、別荘・リゾート物件販売などの不動産業、運輸サービス等にも波及し、地域経済全体に深刻な影響が出るでしょう。こうなった場合、* * * *は責任が取れますか？ 辞任どころじゃ済まされせんね。</p> <p>●高速道路の建設は、希少動物が生息し、最大の観光資源である「ハケ岳の自然生態系」や「ハケ岳の景観」を破壊するばかりか、その影響は、豊富な湧水の水源へのダメージ、野辺山に代表される国内有数の星空を光害によって毀損するなど、環境保全の観点から見れば、デメリットのオンパレード。また、自然生態系の破壊は、すなわち、観光資源としての価値の毀損となり、観光産業、地域経済の破壊にもつながる致命的な欠陥となっていくと見えます。 高速道路建設に際しては「環境に配慮」などと耳触りのいい表現をしていますが、どのような環境配慮をしようが、自然環境に大きなダメージを与えざるをえないことは、自明の理。 「自然破壊=地域経済の破壊」という現実を、素直に認めるべきで、もし、北杜市が認めたくないとしても、北杜市は、少なくとも、「北杜市まちづくりビジョン」の策定プロセスで、このような議論を、公開の場で正々堂々と戦わせるべきです。それが民主的な地方自治なのですから。</p> <p>●高速道路建設による森林伐採や自動車排気ガスの増加は、地球温暖化を促す二酸化炭素(CO2)増加を促し、国策に反すると同時に、ハケ岳の大気汚染源になりかねません。</p> <p>⑤高速道路建設に課題解決策として、国交省は5つの提案を、2011年2～3月に同省が行ったアンケート調査で掲げました。北杜市民(回答数2853)は、これらすべての提案に「否定的な意見」を表明していますね。北杜市は一体なぜ、この事実を「まるでなかったかのように」踏みにじるのでしょうか。本来なら、こうした民意を重く受け止めたうえで、北杜市まちづくりビジョンを検討すべきです。①とも関連しますが、「中部横断自動車道を見据えた」という枕詞は、北杜市民の民意を踏みにじる、北杜市民に対する背信行為であると言われても、反論、説明できないのではないですか？</p> <p>以下は5つの提案と「否定的」と答えた人の%です(残りは肯定的)。 ①地域生産品の自動車輸送に時間がかかる59% ②救急医療施設への救急車搬送に時間がかかる56% ③主要観光地間の連携が不足59% ④買い物、通勤など日常生活の移動が不便67% ⑤国道141号線の走行性・安全性が不足51%</p> <p>それでも、高速道路建設が北杜市民の民意だと強弁しますか？ 誠心誠意、誠実に地方自治を司って下さい。</p> <p>⑥最後に一解決のアプローチです。国土交通省が高速道路などの事業構想段階から地域住民の民意を反映させるため、住民への情報開示と住民参画を柱とするPI(パブリックインボルブメント)という政策を推進しています。これは、高速道路網をメッシュ状に全国に張り巡らす、国交省の悲願である「ミッシングリンク」とは、実は真っ向矛盾する政策ですが、北杜市民が望んでいるのは、まさに、このPIによる、住民参加型の民主的な道づくりであり、そして、それを基盤とした「北杜市のまちづくり」なのです。 従来の高速道路建設は、国交省の内部で建設意思決定をし、それに都道府県や沿線の市町村が乗っかり、沿線住民には技術的な論理を説明するだけにとどめ、強引に建設してしまう手法でした。しかし、今は、広域社会資本の整備に対する国民や地域住民の意識は多様化しており、従来の前近代的で、利益誘導型の公共事業推進の在り方はもはや時代遅れです。公開の場で、公正な議論の下に、その社会資本で便益を受ける住民、市民が自ら意思決定し、それを国へ伝えていく。それがこれからの地方分権、中央から地方へ、地方自治の方向、未来ではありませんか。</p> <p>* * * *、* * * * *の皆様には、目を覚ましていただきたい。北杜市民とともに北杜市の市政を、北杜市民の、北杜市民による、北杜市民のための自治に変えていきませんか。文中、厳しい言い回しもしましたが、これも健全な北杜市政を願っての気持ちから、それ以上、それ以下でもないことをお断りしておきます。</p> <p>長くなりましたが、以上が、私のパブリックコメントです。 以上</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「国道141号線の改良」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15から「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「高速道路を建設し、清里周辺にICを作れば、長坂ー清里間のエリアは、国道141号線沿道の商業施設を含め、衰退するだろう」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」、P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「希少動物が生息し、最大の観光資源である「ハケ岳の自然生態系」や「ハケ岳の景観」を破壊するばかりか、その影響は、豊富な湧水の水源へのダメージ、野辺山に代表される国内有数の星空を光害によって毀損する」、「森林伐採や自動車排気ガスの増加」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」、P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」、環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」、環境・景観「視点④:貴重な動植物との共存」に基づき、取り組んで参ります。</p>

No.	内容	対応案
68	<p>将来(子どもたち)に残すべきものは、豊かな自然であって、建設による多額の借金や維持費ではないと思います。現在の141号線の交通量を考えても、リスクが大きすぎる、建設は必要ない、と感じます。子どもたちに負の遺産を残して、私は先に死んでいく、そんな無責任なことはできません。中部横断道建設には反対です！</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「将来(子どもたち)に残すべきものは、豊かな自然」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p>
69	<p>こんにちは、私は北杜市高根町に在住している北杜市民の一人です。先日、表題のパブリックコメントを募集していることを知り、意見をお送りいたします。</p> <p>私は、昨年北杜市高根町改善センターで行われた中部横断道建設に関する説明会に参加し、皆さんの意見を聞いております。しかし、残念ながら話したいとおっしゃる方々が多すぎ、意見を述べることはできませんでした。ここに書面にて意見を述べさせていただきます。</p> <p>(仮称)北杜市中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(素案)の概要版をみますと、地域活性化、観光、くらし、環境の4つの分野において、それぞれ基本方針には高速道路をつくることによって得られるメリットが夢あふれるばら色の言葉で踊っております。高速道路をつくることは、僻地から都会へ、あるいは山から海へ、またはその逆方向でも遠距離の移動通行手段として、とても有利また便利なことではあります。しかしながら、高速道路の沿線住民にとっては、庭先に強引に邪魔な鉄管、コンクリート管を通されるようなもので、通行する自動車等の騒音のみならず、住民の移動の邪魔になるやら、余計な光を出し、余計な電波も出し、迷惑この上ないものです。確かに、高速道路があると、災害時の救援の際の人員・物資の輸送にはたいへんなメリットがあることは、先の東北大震災の例を待たずとも自明であります。しかしながら、高速道路のデメリットも考えてみる必要があります。</p> <p>◎高速道路のデメリット</p> <p>1.入りたいときにすぐに入らず、出たいときにすぐ出られない。 一昨年、笹子トンネルで天井板が落下し、多くの犠牲者が出た事例があるように、高速道路はトンネルだけでなく、それ自体が巨大なパイプのような閉じられた空間です。高速道路の中に入っているときの車や人は袋のねずみのようなもので、先のほうで事故が発生し、すぐに退避措置を執りたくても、執ることができないという最大のデメリットを抱えています。</p> <p>2.沿線環境の破壊 高速道路には、道路自体を照らすだけでなく、行き先を示す表示板や道路標識が必要です。よって、それらを照らすランプ・灯火のため高速道路があると、その沿線全体が明るくなってしまい、光害を発生します。そのほか、料金所におけるETCや通行する車へ交通情報を伝える路側通信など電波を使う機器が必要で、さまざまな周波数の電波も出します。高速道路をつくと、これらの光や電波の影響で、沿線住民の生活だけでなく、沿線付近に住む動物、植物にも良くない影響を与えます。この道路が発する光によって、空が明るくなってしまい、光の望遠鏡による天体の観測がやりにくくなります。また、高速道路が出す不要な電波が電波天文観測に支障を与えることがあります。ここ、八ヶ岳周辺には都会にはない『暗い夜空』があり、夜空・星の美しきは日本一です。この星を観る光の天文台が八ヶ岳周辺にはたくさんあり、長野県の野辺山高原には天体を電波で観測する45mの電波望遠鏡があり、日々観測を続け、貴重なデータを取り続けています。ここに高速道路を通すことは、これら光の望遠鏡、電波の望遠鏡の観測環境にとっては”金銀砂子が敷き詰められた美しい宝石箱に猫が後足で砂をかける”ようなものです。</p> <p>3.通行料金が必要 非常災害時は例外ですが、普段の平常時は高速道路を利用する場合は通行料金が必要です。観光や物資の輸送などで早急な移動が必要な場合は、お金を払っても高速道路を利用しますが、近いところの移動には、お金を払って道路を利用することにはふつう、抵抗があります。よって、沿線住民にとっては、既存の公道に比べて、新しい高速道路の公道ができておもしろい活用したいのではないかと、</p>	<p>頂いたご意見の中で、「高速道路の沿線住民にとっては、庭先に強引に邪魔な鉄管、コンクリート管を通されるようなもので、通行する自動車等の騒音のみならず、住民の移動の邪魔になるやら、余計な光を出し、余計な電波も出し、迷惑この上ないもの」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「災害時の救援の際の人員・物資の輸送」、「高速道路はトンネルだけでなく、それ自体が巨大なパイプのような閉じられた空間です。高速道路の中に入っているときの車や人は袋のねずみのようなもので、先のほうで事故が発生し、すぐに退避措置を執りたくても、執ることができない」、「一般的に道路がまっすぐで広ければ人はスピードを出して走りたくります」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「高速道路をつくと、これらの光や電波の影響で、沿線住民の生活だけでなく、沿線付近に住む動物、植物にも良くない影響を与えます。この道路が発する光によって、空が明るくなってしまい、光の望遠鏡による天体の観測がやりにくくなります。また、高速道路が出す不要な電波が電波天文観測に支障を与えることがあります。ここ、八ヶ岳周辺には都会にはない『暗い夜空』があり、夜空・星の美しきは日本一です」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」、P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」、環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」、環</p>

No.	内容	対応案
	<p>氏に比べては、既存のインターチェンジに傾いていて、新しい高速道路のインターチェンジがそのまま活用しないのではないのでしょうか。</p> <p>4.まっすぐで広い道路は沿線の経済活性化には役に立たない 私たちの普段利用している国道141号線を例に述べてみましょう。須玉方面から清里方面に北上するとき、弘法坂のカーブを曲がりきるとまっすぐな広い道になります。あのオウム真理教がにぎわしたホテルの近くの道路です。ここあたりは毎年のように改修が行われ、カーブを減らし、道路の幅を広げる工事が行われてきました。その結果、車やオートバイなどは猛スピードで走り去り、沿線の商店街に停車して買い物をしようなどという雰囲気はなくなってしまいました。ワンハッピーパークというみやげ物商店の集団は文字通りゴースト・タウンになり、衰えな姿をさらしています。一般的に道路がまっすぐで広ければ人はスピードを出して走りたくなります。曲がりくねった細い道が多い日本の道を普段走らざるを得ない私たちの心理からして、広いまっすぐな道路を走ることは、欲求不満のはげぐちになってしまっていると言ってもあまり外れてはいないと思います。</p> <p>◎高速道路と沿線の住民の生活との共存のための提案 しかしながら、日本海と太平洋をむすぶ高速道路は、日本の経済活性化、災害発生時の早急な対処のうえで必要です。そこで、上で述べた高速道路のデメリットをいかに少なくし、高速道路を建設するか、ということについて考えてみました。 それは、既存の国道141号線を積極的に活用して工事を行うことです。平野部を通す工事の際は横に道路を拡げて、一般道と平行して高速道路をつくります。山間部の工事が困難なところは道路を2段にして、高速道路を上段につくり、下段は一般道路とします。 こうすれば、急ぐ必要のない沿線の一般の住民は既存の国道141号線を利用し、遠距離の移動などで急ぐ必要のあるときは高速道路を利用することができ、一石二鳥です。ここ八ヶ岳周辺は冬季は雪が降り、道路は凍結しますので、道路を2段につくれば下段は除雪をする作業が省け、一石三鳥にもなります。工事については都会の首都高速などの経験がありますので、現代の技術をもってすれば不可能ではないと思います。既存の国道141号線周辺に限った工事なら、現在の美しい八ヶ岳の南麓の景観が護られ自然環境の保全もでき、高速道路の必要も満たされると思います。工事費も全く新しい土地に道路をつくるよりも安上がりではないでしょうか。</p>	<p>境・景観「視点④：貴重な動植物との共存」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「国道141号線を積極的に活用して」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②：くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>また、「八ヶ岳周辺は冬季は雪が降り、道路は凍結します」に関しては、冬期の走行安全性に関するご意見と捉えており、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①：安全安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参ります。</p>
70	<p>北杜市内においては、新しい高速道路建設を進めるようなまちづくりはありません！！ 北杜市の醍醐味は、なんといっても「恵まれた自然環境」しかありませんよね。 なぜ都会からの移住者や別荘所有者が多いのですか？ 観光客は何を求めて、北杜市に来るのでしょうか？</p> <p>自然がくれる「美味しく健全な空気。」「静寂さ」や「美しい星空」など 都会では得られないものを生かして、北杜市の強味や旨味にしていく健全なまちづくりが一番だと思います。</p> <p>また北杜市の財政も厳しいですよ。 高速を造るお金があるなら、福祉に使っていただきたいです。 25年後には北杜市の高齢化率は50%になります。 将来北杜市の若者が担う借金の額を考えると、北杜市には住みたくなくなりますね。</p> <p>また病気が原因で、全財産をはたいて、空気の良い北杜市に引っ越してきた方達は、命の危険を高速建設に感じて、引っ越したくてももうお金がないと言って、苦しみ悲しんでいる方達も多いです。 病状が悪化した時は、国や北杜市が保証してくれますか？</p> <p>また老朽化したインフラの改修は、最重要です。 築50年の橋を通るたびに、こわさを感じます。笹子トンネルのような事故を再発させないで下さい。</p> <p>「住民の安心と安全を築くことが、まちづくりの第一歩」</p> <p>老朽化した北杜市内の橋や道路、崩落しそうな国道沿いの斜面の補修など、本当に市民にとって有意義に税金を使って下さい。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「北杜市の醍醐味は、なんといっても「恵まれた自然環境」」、「自然がくれる「美味しく健全な空気。」「静寂さ」や「美しい星空」など都会では得られないものを生かして、北杜市の強味や旨味にしていく健全なまちづくり」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針：多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「住民の安心と安全を築くことが、まちづくりの第一歩」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「基本方針：安全・安心で快適な暮らしのために」に基づき、取り組んで参ります。</p>

No.	内容	対応案
71	<p>2012年5月に下記に任職始めました。 当初は東京の家とこちらを半々程度に住み分ける考えでしたが、アツという間に気付けば9:1の割合でこちらに住んでいる次第です。理由は簡単です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何よりも眺めが良い ・自然に囲まれている ・野菜と水がおいしい <p>東京暮らしの私達夫婦の友達が延べ何十人訪れたことか…。リタイアしたらこのそばに住みたい！と言って帰京したか…。ここに生まれ育った方達にとっては空気のようなことが移住者にとっては本当のふるさとに出会えた喜びとなっています。</p> <p>ところが新ルートのことと寝耳に水のように聞く上、我が家近くを検討中とか。説明会にも参加しましたが意見交換の場とは言えず。ハード面の整備点検が急務の昨今で新道路とは驚きです。 141号のあの車の少なさを考えれば(どこの道路も東京と比べるとガラ2ではあります)新道路にお金をつぎ込むおろかさにも天も笑っていることと思います。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「何よりも眺めが良い」、「自然に囲まれている」、「野菜と水がおいしい」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」、P17地域活性化「視点①:六次産業化・農業と観光の融合による地域活性化」に基づき、取り組んで参ります。</p>
72	<p>中部自動車横断道が高速という形で、北杜市内に建設されることには賛成できません。なぜなら全国民の命を守るためには、この財政困難の中、老朽インフラの改修工事が第一に早急に取り行われなければならない、新しい高速道路を作る時代は、もう終わったことを認めないわけにはいかない。笹子トンネル事故は、警鐘です。9人もの方が亡くなったのですよ。</p> <p>この先、老朽インフラの改修工事費用は、数百億円、数千億円に膨らんでいくと専門家達は言っている。どれだけの老朽化した橋やトンネルが、山梨県内にあるのか、県や市は把握しているのだろうか？そして、将来どれだけの老朽インフラ対策の費用がかかるのか、具体的な数字を計算できているのだろうか？新しい高速道路の計算をする前に、公務員として、国民の命を守る為に、「老朽インフラ整備」の為に予算計画を至急行って下さい！！</p> <p>また北杜市民の命を守るためには、新しい高速道路を作るのではなく、国道141号線の改修工事を至急開始していただきたいのです。国交省の* *さんも意見交換会でおっしゃっておられましたが、国道141号線には、崩落などの危険な箇所がいくつもあります。どうかお願いします。国道141号線を安全な道路にして下さい。そして「141号線をバイパス化して、中部横断自動車道として利用すること」がベストだと思います。</p> <p>この先、北杜市の高齢化はますます激しくなり、少子化が進む。これ以上、子供達に負の借金を負わせないでいただきたい。高速道路により、観光や環境の疲弊が進めば、子供達は将来北杜市には住めなくなるであろう。そうしたら、北杜市の人口も減少し、税収も激減し、北杜市が自己破産する可能性も出てくる。夕張市の二の前にならないでいただきたい。本当に北杜市の健全な存続を望むならば、八ヶ岳南麓に高速道路を建設するなどという自滅的な計画は立てられないはずである。北杜市の「健全なまちづくり」の為に、新しい高速道路は不要であると断言できる。高速道路ができたなら、北杜市は現在のような健全さはますます失われるであろう。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「国道141号線の改修工事」、「国道141号線には、崩落などの危険な箇所がいくつもあります」、「国道141号線を安全な道路」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「高速道路により、観光や環境の疲弊が進めば」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p>

No.	内容	対応案
73	<p>◎意見書 中部横断自動車道(長坂～八千穂)の建設について、Bルート案建設ではなく国道141号線の改良が最善策と思います。 その理由は、 ①建設費を減らし、道路の維持管理費、保全費などに税金を使って欲しいです。 現在、日本は世界一の借金大国です。その借金を返済するのではなく、さらに借金を増やし新しい道路を建設することを望みません。少子高齢化によって税収減であり、今後さらにドライバーも減少します。 ②清里方面から重度患者を甲府救命センターへ搬送する場合、国道141号線の改良道路を利用することが最も速いです。これこそ「命の道」ではないでしょうか。また、「太平洋が見たい！ 君は日本海が見たいか？」と発言する方がいるようですが、現存の長野自動車道を利用してもさほど時間差はありません。 ③環境、景観破壊です。 一度失われた自然と景観を元に戻すのは、莫大な資金と時間と努力が必要です。観光の目玉である自然と景観は、私達の財産です。この美しい自然と景観を維持し次世代へ継承しなければならないと思います。 Bルート案上に、****の****とその兄弟の土地、****の****とその親族の土地、中部横断自動車道活用検討委員長の****とその兄弟の土地が存在します。付け加え、その活用検討委員会の主要メンバーの土地が存在することは、とても問題です。 以上の理由により、国道141号の改良が最善策と思います。 平成26年1月29日</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、「国道141号線の改良」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。 「観光の目玉である自然と景観は、私達の財産です。この美しい自然と景観を維持し次世代へ継承しなければならないと思います」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」、P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に位置づけられています。 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会は、「まちづくりビジョン」を審議することから、地域の代表者や市域の主要産業である観光、商工業及び農業などの分野から委員を構成しています。多様な立場から意見を賜り、委員による合議制により審議を行うこととなっています。 また、「まちづくりビジョン」は、委員のみの意見にとどまることなく、地域の皆様を対象に複数回にわたる意見の把握を行い、それらの意見を踏まえながら策定していくこととなります。 さらに、検討委員会は、「北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱」に基づき公開で審議されているところであり、検討委員会の開催や審議結果などの情報は北杜市ホームページに掲載し、透明性を確保しながら審議を行っています。 こうしたことから、「ルート案上に、****の****とその兄弟の土地、****の****とその親族の土地、中部横断自動車道活用検討委員長の****とその兄弟の土地が存在します。付け加え、その活用検討委員会の主要メンバーの土地が存在することは、とても問題です」という意見について、検討委員会の目的達成に当たっては、問題がないと認識しているところです。</p>
74	<p>2014年1月30日 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会御中 ◇パブリックコメント 「(仮称)中部横断自動車道を見据えた北杜市町づくりビジョン(素案)」への意見書 全文の主な多数の方の意見から、この高速道路建設に対して2つの相反する考え方が見えてきました。 ①その一つは、効率と利便性をより求めた場合に結果として生活圏への影響を考慮して騒音防止フェンスなどが必要となり、風景が損なわれます。高速をドライブする者も一般の生活からも同様損なわれます。よってリゾートとしての観光資源、環境が犠牲となってしまいます。 ②もう一方では観光資源と住環境を優先させた場合、清里エリアでは現状の主な観光スポットより遠巻きに高速道路を設ける事になるので利便性と効率は損なわれる。その他のエリアでは生活圏の密度が高いのでそれらを避けてつくる事は出来ず(全てをトンネル又は半地下道にするとコスト面で現実的で無く)結局は観光資源と住環境を犠牲にしてつくるしか無い。 こうして更に見えてくる事は、全市民にとって大切な観光資源と住環境を犠牲にして、活性化と利便性の向上の為に高速道をつくるというジレンマを抱える事になり困難と痛みを伴う難事業になりそう。更にこの計画完成までに10～20年掛かる中、若い人が減り続け国と地方の財源も減り続け既存のインフラの保守及び維持費用は増大する新たな現実を迎えている中、全市民が力と知恵を結集しなければ明るい未来が遠のいてしまう。 従って、中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン作成の前に一般道も含めた望ましい理想の道路の在り方を協議したい、その上で高速道路との折り合いを探っていく進め方が必要と強く望みます。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「生活圏への影響を考慮して騒音防止フェンスなどが必要となり、風景が損なわれます。高速をドライブする者も一般の生活からも同様損なわれます。よってリゾートとしての観光資源、環境が犠牲となってしまいます。」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参るとともに、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。 「もう一方では観光資源と住環境を優先させた場合、清里エリアでは現状の主な観光スポットより遠巻きに高速道路を設ける事になるので利便性と効率は損なわれる。その他のエリアでは生活圏の密度が高いのでそれらを避けてつくる事は出来ず」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」、P18観光「視点①:観光拠点へのアクセス」に基づき、取り組んで参るとともにまちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。 「国と地方の財源も減り続け既存のインフラの保守及び維持費用は増大する新たな現実を迎えている」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際、経済性にも配慮し、検討して参ります。</p>

No.	内容	対応案
75	<p>中部横断自動車道活用検討委員会御中 中部横断自動車道活用検討委員会は、道に反対する沿線住民の会の話では、B案前提の委員会と聞きましたが、本当に市にとって必要な道なのかを初めに委員会で討議するべきと思います。 発足の経緯は詳しくは知りませんが、国土交通省より第3回の附帯事項を満足させたいので*****に働きかけ発足したのだと思います。 これは高速道路ありきの発想だと思います。根本に立ち返るべきです。 何故道は必要なのか？</p> <p>県や市で国土交通省と建設を推進する方の近頃の行動を見てください。 *****とはともに住民の反対運動を無視して明野処分場を推進して県民に55億円の負債を負わせて説明責任も満足にこなせない人たちです。 **はこのB案を推進するため一部の職員と話し合い、議会に回ることもせず市の総意として国土交通省にB案を提言しています。市民を裏切る行為です。この様に市民を、蔑ろにする*****を信頼できますか？ これらの行いは自分の土地にルートを誘致しているのではないかと誤解をされても仕方がない行動です。(株ならインサイダー取引のような？) *****は市民に対して住民説明会を開いたことは一度もありません。(**さんに対しては1回説明会を開いている。)このことは住民無視の**だとそしりを受けても仕方がないことです。 私は市議会の傍聴をたびたび観に行きましたが、*****の「海が見たい…」という念仏の様な発言をたびたび聞きました。**が海を見たいために長坂～八千穂が造られるのかと思うと悲しくなります。 北杜市民は早く海が見たいのか？ もしこれが事実ならば双葉から静岡側だけ建設すれば太平洋は近くなるので長坂～八千穂は必要ありません。日本海へは造られても時間的には変わりません。</p> <p>色々書きましたが、中部横断自動車道(長坂～八千穂)が本当に必要不可欠な道なのかを、B案前提の中部横断自動車道活用検討委員会を改め、中部横断自動車道(長坂～八千穂)が必要なのかを審議して頂く委員会としてください。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>北杜市中部横断自動車道活用検討委員会は、「まちづくりビジョン」を審議することから、地域の代表者や地域の主要産業である観光、商工業及び農業などの分野から委員を構成しています。多様な立場から意見を賜り、委員による合議制により審議を行うこととなっています。</p> <p>また、「まちづくりビジョン」は、委員のみの意見にとどまることなく、地域の皆様を対象に複数回にわたる意見の把握を行い、それらの意見を踏まえながら策定していくこととなります。</p> <p>さらに、検討委員会は、「北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱」に基づき公開で審議されているところであり、検討委員会の開催や審議結果などの情報は北杜市ホームページに掲載し、透明性を確保しながら審議を行っています。</p> <p>こうしたことから、「自分の土地にルートを誘致しているのではないかと誤解をされても仕方がない行動」という意見について、検討委員会の目的達成に当たっては、問題がないと認識しているところです。</p>
	<p>中部横断自動車道活用検討委員会 御中 パブリックコメントとして提出します。</p> <p>なぜ中部横断自動車道(長坂～八千穂)は長坂接続なのか？ 早く海が見れるのは、須玉もしくは双葉接続です。 ルート案の中に*****さんと兄弟、*****さんと親族、活用委員会*****と兄弟の土地が有ることが判明いたしました。</p> <p>広さなんと約43,908坪(国土交通省線引きによる住宅地図にて確認し、登記簿も確認済)これらのルート内の土地を皆様はどの様に考えますか？ **は北杜市議会にも図らず一部の職員と相談し、あたかも市民全体の意見として国土交通省に提言しています。(証拠録音有)又、**が主催する中部横断自動車道活用検討委員会の主要メンバーはルート案内に膨大な土地を所有。これを皆様はどの様に考えますか？ ・ルート図と**と*****、*****の土地の位置</p>	

No.	内容	対応案
77	<p>中部横断自動車道活用検討委員会御中 平成26年1月31日</p> <p>先日の新聞に今年末に日本の借金が1,143兆円と報じられました、これは0歳の子供から老人まで一人当たり900万円の借金、今や日本は世界一の借金大国、山梨県を見れば、****と*****が推進して建設された明野処分場が55億円の最終赤字そして中部横断自動車道(長坂～八千穂)は山梨に恵みをもたらさないことは国土交通省の黒塗りパンフレットが証明(山梨のメリットが書かれていない)しているのに****と*****は推進している。なぜなのか？ 分からない。国土交通省の**の話では、建設には国費だけではなく県費も使われる。ここで北杜市民に考えて頂きたいのです。北杜市民であることは山梨県人でもあり日本国民でもあることを。中部横断自動車道(長坂～八千穂)は交通量が少ないことから採算が取れず国の新直轄で建設される見込みだと考えられます。通行料金収入が無く、山岳高速道路としての大な維持費が永遠に続く負の遺産です。(維持費は国の負担=国民の負担)</p> <p>これは働かないドラ息子が後先考えずに、返せるめどが無いローンを組んでスポーツカーを購入する様なもので個人破産がめに見えています。</p> <p>*****は第1回活用検討委員会の冒頭の挨拶で「この道が北杜市にとってプラスでなくむしろマイナスとなるかもしれません」と語られたことは、私は事実だと思います。</p> <p>観光資源としての景観に傷をつけることは北杜市にとってマイナスだと思います。</p> <p>観光地？ 清里も道を造れば観光客が戻るとは思えませんし、ゴーストタウンの様なシャッター街、打ち捨てられたお店やペンションの幽霊屋敷、皆さんは見て気持ちが良く観光できますか？ このような美しい景観を処理しなければ清里は過去の遺物となります。(道よりもプラン作りが大切です。)</p> <p>明野処分場を破たんさせ県民に借金を背負わせた****もルート帯に広大な土地を所有していることを国土交通省に言わなかった****も中部横断自動車道(長坂～八千穂)を命の道として推進していますが本当でしょうか？</p> <p>消防署に聞いたところ、重度の患者は甲府の救命救急センターに運ぶそうです。津金で急激に曲がり長坂を目指すBルート案、もし曲がらず直線的に道を造れば5分ほど甲府が近くなり怪我人、病人を早く運べます。緊急医療は1分1秒が生死を分けます。</p> <p>このことは清里地区や津金地区の怪我人、病人にとって須玉方面に直線的にルートを設定した方がより命の道になることを示しています(あくまでも近くにインターがあればの話)国土交通省は会見する中で国道141号を脆弱な道と表現しますが、この道を造ったのは彼ら国の機関です。なぜ脆弱な道を造っておきながらそれを理由に又道を造ろうとするのか？ 不可解には思いませんか？</p> <p>以上のことを考えると更なる借金を積み上げるより、脆弱な国道を造った責任を取って頂くため国道141の改良を望みます。国にも県にも市にも今はお金が無いのです。</p> <p>高速道路だけが地域の問題を解決できるというのは幻想です。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、「観光資源としての景観に傷をつけること」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「観光地？ 清里も道を造れば観光客が戻るとは思えません」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>北杜市中部横断自動車道活用検討委員会は、「まちづくりビジョン」を審議することから、地域の代表者や市域の主要産業である観光、商工業及び農業などの分野から委員を構成しています。多様な立場から意見を賜り、委員による合議制により審議を行うこととなっています。</p> <p>また、「まちづくりビジョン」は、委員のみの意見にとどまることなく、地域の皆様を対象に複数回にわたる意見の把握を行い、それらの意見を踏まえながら策定していくこととなります。</p> <p>さらに、検討委員会は、「北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱」に基づき公開で審議されているところであり、検討委員会の開催や審議結果などの情報は北杜市ホームページに掲載し、透明性を確保しながら審議を行っています。</p> <p>こうしたことから、「ルート帯に広大な土地を所有していること」という意見について、検討委員会の目的達成に当たっては、問題がないと認識しているところです。</p> <p>「国道141号の改良」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p>
78	<p>私どもの会社は8年前に愛知より本社移転をし、この地で新しい事業として造園業に参入するべくモデルガーデン(ランドスケープガーデン)を造園いたしております。</p> <p>このモデルガーデンを造園するにあたり、北杜市役所に出向き情報を集め公共事業についてもお聞きしましたが予定が無いとの返事で着工しましたが、完成まであと2年となりました現在、国土交通省の計画を知り愕然と致しております。</p> <p>後で知ったのですが、16年前より中部横断自動車道(長坂～八千穂)が長坂に接続することは以前より決定事実と聞き落胆いたしました。いまさら別の知にモデルガーデンを造園するわけにもいかず。</p> <p>新規事業参入にも暗雲がたれこめています。</p> <p>この責任は北杜市にあると思います。建設情報をあえて公表してこなかった責任は重大だと思います。北杜市の景観は日本の宝です建設推進の姿勢をお考え直し下さい。平成26年1月31日</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「北杜市の景観は日本の宝」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」、環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。</p>
79	<p>☆結論として 中部横断道は必要ありません。 141号の改修で充分です。</p> <p>☆理由(数多い中で)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 今の国の財政はきびしく多額の借金がある中で、必要でない「必欲」の高速は子供世代に負担を強いる事になる。 2. 今あるインフラの整備する事が最優先である。(トンネル、橋等) 3. 現在の交通状況を見ると、高速を作らなくても141号の改修で充分対応できる。(現状の交通量の調査はしたのか？ しているのならば開示してもらいたい) 4. 標高の高い寒冷地での高速は非常に危険であり、有効に活用できない。 5. 何度も行なわれた住民説明会の意見がまったく反映されていない。 6. 急な新ルート変更の経緯が非常に不透明である。 7. 新ルートの範囲に関係者の多大な土地が含まれている事も非常に疑問を感じます。 <p>ぜひ高速計画を白紙にして下さい。 よろしく願い致します。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「141号の改修」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「標高の高い寒冷地での高速は非常に危険」に関しては、冬期の走行安全性に関するご意見と捉えており、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参ります。</p>

No.	内容	対応案
80	<p>●中部横断自動車道は作るべきではない。 その理由 国道141号の改修によって中部横断自動車道(長坂～八千穂)の整備はできる。生活道路でもある141号をより使いやすい道路に改修する方が地域住民には望ましい。 そもそも自然を破壊し、経済効率と人間にとっての利便性のみを追求してきた近代文明そのもの行き詰まっていることは明らかです。地球の自然は修復できないまでに破壊されてしまいました。既に絶滅した生物も多く、経済発展などという人間のエゴによって絶滅の淵にいる動植物ばかりでなく、今や私達人間が生命をおびやかされています。 電磁波、騒音、空気、水、大気の汚染……。 北杜市は、コンクリートでおおわれた日本の中でもまだ美しい自然を残している地域です。この美しい自然を残し、私達の生き方、文明を問い直し、未来の世代に禍根を残さないようにしたいものです。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「国道141号の改修」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。 「北杜市は、コンクリートでおおわれた日本の中でもまだ美しい自然を残している地域です。」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p>
81	<p>北杜市中部横断自動車道活用検討委員会パブリックコメント 中部横断自動車道のパンフレット(もっと近くなる きっと楽になる)の記述の嘘、騙し、すりかえを、「中部横断自動車道長坂一山梨県境」についてコメントをします。「山梨県境一八千穂」についてはコメントしません。尚、「双葉JCT-新清水JCT」については、反対の立場を取っていません。 1. ミッシングリンクの解消 強くしなやかで国際競争力のある国土の形成 首都圏の環状ネットワークを形成すると言っていますが、清水JCTから東北自動車道、北関東自動車道に連絡して環状化をイメージしているようです。何故、佐久を経由する必要があるのでしょうか？ 既に甲府から140号線で関越自動車道花園ICに繋がる計画があります。その方が重要な都心や北関東・東北・常磐・関越の各自動車道に繋がる距離が短くなります。地震の発生確率も変わりません。地震等の災害時には、もっとも近いルートが望ましいはずです。ミッシングリンク解消であれば、140号から花園ICへのルートがベストです。 国際拠点港湾との連携 清水港と新潟港とを高速道路で結ぶ必要性はあるのでしょうか？ どのようなメリットがあるのでしょうか。現在は、清水港で荷揚げした貨物を新潟港へ運ぶ需要は無いそうです。その逆もそうです。船で運搬するメリットは大量の貨物運搬ができるからです。その貨物を、何台の貨物車が片側1車線の道路を使って運搬するのでしょうか？ 道幅からしても、1台の貨物車が故障や事故を起こしたら、すぐに通行止めです。全くナンセンスなことです。災害時、どちらかの港が被災した場合でも、被災した湾に向かう予定の船は近くの被災していない港に運べば、何も問題ありません。災害時ですので多少の混乱はあるでしょうが、100歩譲っても、長坂一新潟への高速道路は、既に中央道一長野道経由で行けます。今更、佐久経由の道路の必要性はありません。約10kmほど短くなる片側1車線・高度1360mの高速道を危険を冒して通過する貨物自動車、物流業者はありません。 2. 安心安全の向上ミッシングリンクの解消 異常気象時における代替道路の確保 パンフレットでは新清水JCT-双葉JCTのケースしか挙げられていません。長坂IC一山梨県境の間は、国道141号、県道28号、広域農道(レインボーライン)など多くの道が八ヶ岳南麓を通っています。異常気象時でも十分な代替道路が確保されています。更に安全安心を求める為に、国交省が危険な箇所があると認めている141号を改修すれば、住民は安心できます。 3. 医療活動の支援 山梨県の救急搬送先は、主に甲府市内です。現在でも北杜市からは、十分に1時間でカバーできます。「長坂一県境」の高速道路の必要性はありません。 むしろ、高速道路を使うことで反対の危険が増えます。例えば、141号とBルートの交差する所に津金ICが在るとします。141号で、津金一須玉ICが約11kmです。中部横断道では、津金一長坂JCTが約7km、更に長坂JCT一須玉ICが約10km計17km 約6kmの遠回りになります。141ルートが60km/h Bルートが80km/hとしても、時間にしてBルートが2分も遅いこととなります。更に片側1車線の高速なので、トラックなど遅い車があれば、スピードをゆる</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「高度1360mの高速道を危険を冒して通過する貨物自動車、物流業者はありません。」に関しては冬期の走行安全性に関するご意見と捉えており、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参ります。 「141号を改修」という意見に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p>

No.	内容	対応案
	<p>めで追い抜くことになり、2分以上も遅くなります。救急搬送では1分1秒を争います。決して少ない差ではありません。 基本的に救急搬送は、道路の問題ではありません。医療施設の確保の問題です。 Bルートは予算2000億円で救急搬送の問題を解決するのであれば、第三次医療施設を峡南地域や峡北地域に設ければ良いのです。更に山岳救急であれば、ドクターヘリを増強すれば良いのです。道路予算を救急医療の充実に回したら、住民に喜ばれます。</p> <p>4. 物流の効率化 北杜市には、課題が存在しません。もちろん消費地に届けるのは、早いほど良いのですが、数分の時間を2000億円もかけて自然を壊し、造るだけの価値はありません。 また、高速道路は、アクセスコントロールされているので、ICに近ければ、早く届けられますが、ICに遠ければ、高速に乗るまで時間がかかります。多くの場合、高速の方が遅くなるでしょう。141号を改修すれば、安全性も高めることが出来ます。 上記にコメントしたように、パンフレットに記載された必要性は、「長坂一県境」間については、なんらメリットはありません。Bルートの撤回を求めます。 北杜市としては141号の改修が、もっともメリットがあります。活用検討委員会としても、141号を、どのように改修(拡幅・バイパス・トンネル・歩道・自転車道・駐車場など)し、北杜市がどのような道を目指し活性化していくのかの理念と実現イメージを共有することから議論することを求めます。 今の素案では、各委員も市民も実現イメージを共有できません。 例として、幾つか挙げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風景 <ul style="list-style-type: none"> ・企業が進出し活気に満ちた都市 ・八ヶ岳と田園が広がる自然の風景 ・安曇野のような、自然な川の水が流れる町 ・生活スタイル <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通が整備され、高齢者でも移動に不便が無い田舎 ・子供から高齢者までが一緒に集う田舎町 ・生活に必要なものが揃う店が近くにある町 <p>行政の施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民に気軽に意見が言える、開かれた行政 ・自律した地方自治を目指し、主体性を持った行政 ・市民による起業をサポートする行政 	<p>「今の素案では、各委員も市民も実現イメージを共有できません。」に関しては、まちづくりビジョン策定にあたっては、パブリックコメントなどにより市民の皆様のご意見を伺いながら検討しているところです。ビジョンを達成するための道路プラン策定においても、引き続き地域の皆様のご意見を伺いながら検討して参ります。</p> <p>「企業が進出し活気に満ちた都市」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P17地域活性化「視点②:商工業の活性化」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「八ヶ岳と田園が広がる自然の風景」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「安曇野のような、自然な川の水が流れる町」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「公共交通が整備され、高齢者でも移動に不便が無い田舎」、「子供から高齢者までが一緒に集う田舎町」、「生活に必要なものが揃う店が近くにある町」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15暮らし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p>
82	<p>標題:「(仮称)北杜市中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(素案)」に対する意見提出 北杜市役所道路河川課 中部横断自動車道活用検討委員会事務局殿</p> <p>「(仮称)北杜市中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(素案)」に関し、以下のとおり意見を提出します。</p> <p>記 中部横断自動車道八ヶ岳南麓の会としての集約意見 中部横断自動車道の計画に関し、八ヶ岳南麓エリアについては、国道141号の整備拡充あるいは国道141号に沿って高規格道路化を進めるべきである。</p> <p>集まった意見の要約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当会は、高規格道路の全国ネットワーク化そのものに反対するものではありません。 ・当会は、高速道路の八ヶ岳南麓エリア(概ね川俣川、須玉川または国道141号線より西側の地域)の通過に反対します。 ・国土交通省による八ヶ岳南麓エリアの道路建設に関する意思決定プロセスは、地域住民をないがしろにしているだけでなく、正当なものではなく、決定そのものが無効です。 ・北杜市当局および北杜市中部横断自動車道活用検討委員会の進め方は、市民の真の声を聞かず、地域を牛耳っている一部の人達による私利私欲に基づく一昔前の非民主的方法で進められていると私たちは感じています。 ・日本の国が置かれている財政状況から常識的に考えて、東北復興を優先することは当然として、道路整備の分野にだけに限っても、中部横断自動車道の当エリアは劣後順位とすべきものです。 ・これからのスローツーリズムの時代の八ヶ岳南麓地域の観光業を含めた活性化を考えると、高速道路はプラスにならずマイナスに作用すると思えます。 	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「国道141号の整備拡充」という意見に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15暮らし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p>
83	<p>標題:「(仮称)北杜市中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(素案)」のパブリックコメント 街作りビジョンのかかげている目標?を達成させるためには中部横断自動車道がなくてはならないもの、ではないと思う。 道路を作らなくても地域が活性化する方向はあると思う。 つくらないという姿勢をとる方が都会の人を中心に観光的にはインパクトがあり印象付けられるのではないか。 住民説明会で反対意見が圧倒的に多かったにも関わらず、建設ありきの街作りビジョンはおかしい。 少なくとももっと議論が必要だ。 これからは今ある道路のメンテナンスを公共事業としてすすめるべきだ。 北杜には都会にない物を求める。 都会化するのではなく、不便はあってもスローで豊かな暮らしができるという事を都会に向けアピールできるのではないのでしょうか。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「今ある道路のメンテナンス」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14暮らし「視点①:安全・安心の確保に向けて」に『維持・管理』に関する文章を追記します。</p>

No.	内容	対応案
84	<p>標題:「(仮称)北杜市中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(素案)」のパブリックコメント 説明会や署名で反対の意見が多数でいましたがその意見の数々は議論されているのでしょうか？ 本当に道路が必要なんでしょうか？ 反対意見のことを考えてみたことはありますか？ 作るのは簡単ですが元に戻すことはできません。 建設予定の枠の中に将来家を建てたいと思っている場所があります。 高速道路のそばに暮らしたくはないです。 お金、ではなく生活を脅かされている人たちの事を考えてください。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p>
85	<p>中部横断道活用検討委員会の町づくりビジョンに対するパブリックコメント 中部横断自動車道活用検討委員会作成の町づくりビジョンに対するパブリックコメントです。真摯に取り上げ検討いただけるようお願い申し上げます。 1. 私は6年前に、国交省や山梨県の進める二地域居住制度の支援策を知り、5年前から高嶺町で二地域居住をしています。北杜市高根町を選んだのは、北杜市の掲げる「自然と暮らしが調和する環境共生都市の創造、環境日本一の潤いの杜づくり【環境保全・景観保全・自然】自然の恵みを活用したクリーンエネルギー自然環境は北杜市の最大の資源です。これを守り育むため、生態系の保護や循環型社会の構築、クリーンエネルギーシステム、景観形成などに取り組み、環境に適した美しいまちづくりを進めます。」という北杜市の町づくりに共鳴したからです。家は、一部山梨県産材の無料支援を受けました。またこの間に二地域居住のモニターも引き受けました。国も県も市も、首都圏から移住を希望する人たちが、静かな田舎暮らし、田園や、山岳景観などに価値を認めていることを十分承知しているはずですが、八ヶ岳南麓は、それを最もかなえる地域です。県も市も、よりによってここに高速道路を誘致するとは、とんでもないことです。急速な少子高齢化社会にあって八ヶ岳南麓に中部横断自動車道を建設することを前提とした町づくりは、この地域を大きく衰退させる可能性もあります。 道路河川課による今回の町づくりビジョンの撤回を求めます。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で「静かな「田舎暮らし、田園や山岳景観などに価値を認めている」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」、環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。</p>
86	<p>中部横断道活用検討委員会の町づくりビジョンに対するパブリックコメント 中部横断自動車道活用検討委員会作成の町づくりビジョンに対するパブリックコメントです。真摯に取り上げ検討いただけるようお願い申し上げます。 1. もし国交省案のルートで建設工事が行われたら、ルート周辺は長期間、掘削、土盛などの工事による騒音やさまざまな工事公害に見舞われる。最近の広島県での国道延伸工事では、裁判所が騒音公害を認定し、賠償金支払いを命じた。広島の場合は都市内の道路工事であるが、森林、別荘、移住者、地元住民の田園地帯を横切る、閑静で自然豊かなここ八ヶ岳南麓では、その影響も被害も一層大きなものと予想される。高速道路を通さない町づくりしてほしい。 2. 北杜市には中央線と小海線という二本の鉄道路線が通っている。春秋の観光シーズン、夏休みシーズンは、鉄道利用者も非常に多い。清里高原や野辺山の日本最高地点などのある小海線は、高原鉄道として近年再び人気が高まっている。なぜ道路ばかりに目がいて、鉄道のことを無視するのだろうか。地元が車依存社会になっていて鉄道に関心がないことがその一因であろう。首都圏を中心に車依存社会からの脱却は確実に進んでいる。カーシェアから、鉄道利用による旅行へと少しずつシフトしている。市内を通過している二本の鉄道路線にもっと注目すべきであり、町づくりの中にきちっと位置づける必要がある。このことに一言もないこの町づくりビジョンは抜本的に見直してほしい。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「ルート周辺は長期間、掘削、土盛などの工事による騒音やさまざまな工事公害に見舞われる」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。 「森林、別荘、移住者、地元住民の田園地帯を横切る、閑静で自然豊かなここ八ヶ岳南麓では、その影響も被害も一層大きなものと予想される」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。 「清里高原や野辺山の日本最高地点などのある小海線は、高原鉄道として近年再び人気が高まっている。なぜ道路ばかりに目がいて、鉄道のことを無視するのだろうか」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「視点①:観光拠点へのアクセス」に、『既存の公共交通網の活用』という文言を追記します。</p>

No.	内容	対応案
87	<p>「(仮称)北杜市中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(素案)」のパブリックコメント募集への意見書 中部横断自動車道活用検討委員会事務局 北杜市役所道路河川課担当者様</p> <p>総合的見解 以下のとおりの理由で、当素案について再検討を求めます。 意見及び質問 素案1頁 1. 北杜市まちづくりビジョンとは 北杜市まちづくり計画策定に際して、策定委員を務めさせていただきましたが、本件まちづくり計画及び景観計画に関する条例に照らし合わせ、まちづくりのビジョンとして道路を検討するという流れに沿わず、先に中部横断自動車道の整備を見据えてから、新たなまちづくりビジョンを定める理由は、どういったものですか。 北杜市まちづくり計画の中で、まちづくり審議会を設けて、こういったものの検討をすすめることに定まっている中、まちづくり審議会を今回の件で開催しないのはなぜですか。 素案10頁 3. 北杜市まちづくりビジョン(素案) 基本理念に関して、…ビジョンにおける「理念」…とありますが、ビジョンは理念あつてのものですが、あえて道路建設を前提としたビジョンを定め理念を後付けしているところは、どういった尺度で行われているのでしょうか。 素案11頁 3-2. まちづくりビジョンの基本方針・視点 近年国土交通省としても「景観形成の経済的価値分析に関する検討報告書」を公表し経済評価手法による価値分析について取り組むなど、産業の経済効果とともに景観形成の経済的価値も試算する必要性があると言えます。 分野別基本方針を定める前に、そういった試算を行い、幅広い根拠に基づいた、根本からの検討を求めます。 平成26年1月31日 以上</p>	<p>頂いたご意見の中で、「本件まちづくり計画及び景観計画に関する条例に照らし合わせ、まちづくりのビジョンとして道路を検討するという流れに沿わず、先に中部横断自動車道の整備を見据えてから、新たなまちづくりビジョンを定める理由は、どういったものですか。北杜市まちづくり計画の中で、まちづくり審議会を設けて、こういったものの検討をすすめることに定まっている中、まちづくり審議会を今回の件で開催しないのはなぜですか」、「あえて道路建設を前提としたビジョンを定め理念を後付けしているところは、どういった尺度で行われているのでしょうか」に関しては、北杜市まちづくりビジョンは、既定計画である「北杜市まちづくり計画」を踏まえ、中部横断自動車道の整備を見据え、沿線地域の将来像を明らかにし、北杜市の恵まれた地域特性を踏まえながら、地域の活性化に結びつける取組や方策等を、地域住民自らが主体的かつ計画的に推進するための指針となるものです。</p> <p>また、北杜市中部横断自動車道活用検討委員会では、北杜市中部横断自動車道活用検討委員会設置要綱に基づき(1)自動車道を活用した地域の活性化に関する事、(2)自動車道の整備に関する事、(3)その他市長が必要と認める事項について検討し、市長に提言することになっています。</p> <p>なお、まちづくり審議会は、北杜市まちづくり審議会条例に基づき、(1)市が定める、まちづくり計画及び景観計画に関する事、(2)その他計画の推進に関し必要と認める事項を、市長の諮問に応じ、調査審議することとなっています。</p> <p>「景観形成の経済的価値も試算する必要性があると言えます」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p>
88	<p>標題:パブリックコメント 高速道路がこの清里(ハケ岳南麓)に作られることに反対です。 清里の自然が大好きで14年前にペンションを始めました。 あの頃景気は底だからと言われ、底ならば上向いて行けただけなんだろうと安易に考えておりましたが、一向に上向くこともなくお客様は減るばかりで今に至っています。 今清里で魅力あるもの、売りに出来るものはこの自然の姿です。 此処に高速道路のコンクリートの塊は景観を損ねるだけ、お客様にそっぽを向かれる事は目に見えています。 高速道路を作るよりは国道141を整備する事が、財政的にも市民や観光客のためにも一番良い事と考えます。 まちづくりビジョンの「多様な自然・環境・景観とともに」にうたわれていることに矛盾する事は止めていただきたいです。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「今清里で魅力あるもの、売りに出来るものはこの自然の姿です」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「此処に高速道路のコンクリートの塊は景観を損ねるだけ」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「国道141号を整備」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p>

No.	内容	対応案
89	<p>2014.1.31 中部横断自動車道活用検討委員会事務局御中 パブリックコメント</p> <p>★このままBルートが決まったら、推進派の市民と沿道住民の分断が進むだけです。北杜市は現在の時点で分断を回避し、不幸な市民を出さない対策を講じる責任があります。</p> <p>★2,000億円近くをかけて建設される高速道路計画が、トップダウンで降りてきて、北杜市は「ルートは国の決めること」とする姿勢ですが、これでは自治体の機能放棄ではないでしょうか。</p> <p>★国道141号線改修を優先して下さい。市民の生活道路でもあります、北杜市には、国・県と連携して危険、脆弱個所の改修責任もあると言えます。高速道路はそのあとの問題です。</p> <p>★国道141号を改修、改良の方法や、それを北杜市の活性化に資する方法はさまざま考えられると思います、まずそこから市民間議論を始めていただきたいと思います。</p> <p>★3年間の以下のようなプロセスを検証して下さい。①2回目のアンケートは出鱈目と言われています ②A/Bルートは実質、1本のルートで比較検討の機会を奪われています ③WG審議資料には作画的な集計表が作られ提示されています ④説明会で示されたルート図と、WG審議資料のルート図では、意図的な描き換えが行われています ⑤住民参画の要請を無視されました。</p> <p>★北杜市は住民参加の道づくりの要望を無視しましたが、このことは横断道が市民のための道路でないことを露呈したと理解しています。</p> <p>★住民参加の道づくり事例は、能越自動車道や横浜環状北西線など数多のじれいがあります。そこで行われる市民協議と合意形成により、市民に一体感が生まれ街づくり、地域活性化につながると言われていますが、このBルート前提の活用検討委員会のビジョンづくりは市民の亀裂を助長するものでしかありません。</p> <p>★北杜市は、国交省と連携し、Bルートの代替案を提示して、ワークショップなどを行い合意形成に努めていただきたい。</p> <p>★関東地方小委員会*****は、双方向対話と繰り返し発言しています。異なる意見をお互い聞くことで理解と合意が生まれます。北杜市は関係機関と連携し、そのような場を設定し、住民間の合意形成に努めていただきたいと思います。</p> <p>★新ルートが示されてからまだ1年しか経っていません、必要性を含めた住民参画の議論はこれから行われなくてはなりません。</p> <p>★社会資本整備審議会道路分科長は「すべてハイグレードな高速道路である必要は無い、道路にもグラデーションがあってもいい」と言われています。もしここを繋ぐにしても、現在の141号線を少し走行性の高い道路にすればいいと思います。</p> <p>★Bルートを確定させるため、付け焼刃的に、わずか20人の、しかもあて職の委員で作り、3月までにビジョン作成とは、事務局主導にならざるを得ません。これでは市民軽視の事業と言わざるを得ません。</p> <p>★ここ南麓は、3,000級の山で、南側がなだらかな山麓扇状地形で、かつ首都圏と程よい距離にある。また500～1300mの好きどころに住める環境。高地であるので有機野菜や自然栽培の適地などまことに恵まれた地と言えます。その南麓に高速道路を作ろうとするのは、長い歴史のほんの一時代の人間の便益のため、永久に戻らない巨大な破壊を加えることになります。</p> <p>★南麓は都市計画地域でないため、無秩序な開発も進んでいます。できれば河川沿いの河畔林の復元、道路沿いの並木道の整備など環境、景観の整備が必要です。高速道路で失われる森林、住宅地の希少な林など、取り返しのつかない損失だと思えます。</p> <p>★他所の市の事例ですが、高速道路計画が20年前に作られて以降、並行して走る国道の改修が全く放置され、渋滞解消されないままとなっていることです。ここでも、計画が決まったら国道141号は手つかずのまま放置される可能性があります。この事例のようにしないためには、国道141号をまず早急に改修することこそが必要です。</p> <p>★国道141号改修は圧倒的に利点が多いと言えます。早期に工事が開始できる。部分改修ができる。地元の業者が受注できる。地元の雇用が増える。早期に、部分開通が可能。コストが安い。維持管理費が安い。市民の利便性が向上。環境破壊が少ない。用地買収やその時間が少なくすむ。冬季も除雪等が容易。</p> <p>★国道141号改修で不足とする意見は、走行性、防災上かと思われそうですが、改修の方法で走行性はカバーできると思いますし、後者は広域農道などを緊急用道路として整備、指定などすれば可能と考えます。</p> <p>★この計画は、日本一高所を走る高速道路となりますが、説明会では冬季の懸念には全く触れていません。長い下り坂の危険性が心配です。それでも事故率は減少としか言いませんでした。計画を見直すなど検討が必要です。</p> <p>★南麓には希少なフクロウ科のフクロウがいます。低空を飛ぶため交通事故に遭うフクロウが年に何羽もいるということです。高速道路でさらに危機に瀕する可能性が大きいと思われそうです。</p> <p>★中央道で騒音の被害に苦しむ人も大勢います。長坂JCT周辺の集落はダブルパンチとなります。</p> <p>★長坂商店街や長坂IC周辺商店は、ストロー現象で寂れる可能性があります、どう対策をとられるのか。</p> <p>★活用検討委員会のビジョン作成の前に、どのような道路を、どこに整備するのか、その重大な関心事をこそ、ワークショップなど出来る限り大勢の市民参加で協議してまとめるようにして下さい。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「国道141号線改修」、「国道141号をまず早急に改修することこそが必要」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「ワークショップなどを行い合意形成に努めていただきたい」、「ワークショップなど出来る限り大勢の市民参加で協議」に関しては、検討の進め方の方法の一つであり、今後の審議の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「社会資本整備審議会道路分科長は「すべてハイグレードな高速道路である必要は無い、道路にもグラデーションがあってもいい」と言われています」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「有機野菜や自然栽培の適地などまことに恵まれた地」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「高速道路で失われる森林、住宅地の希少な林など、取り返しのつかない損失」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「日本一高所を走る高速道路となりますが、説明会では冬季の懸念には全く触れていません」に関しては、冬季の走行安全性に関するご意見と捉えており、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参るとともに、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「南麓には希少なフクロウ科のフクロウがいます。低空を飛ぶため交通事故に遭うフクロウが年に何羽もいるということです」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点④:貴重な動植物との共存」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「長坂商店街や長坂IC周辺商店は、ストロー現象で寂れる可能性があります」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p>

No.	内容	対応案
90	<p>意見</p> <p>1. 私は八ヶ岳南麓を横断する中部横断自動車道(高速道路建設計画)・新ルート案に反対します。計画の見直しと現道(既存の道路)を活用した道路総合整備に基づく国道141号の改良と整備を求めます。</p> <p>2. この不要不急の大型公共事業である八ヶ岳南麓を横断する中部横断自動車道建設は、日本の国、山梨県や北杜市にとってのかけがいのない八ヶ岳南麓の自然環境、豊富で優良な湧水群、生活環境などを含む環境全体を悪化させ破壊する大きな懸念があります。この八ヶ岳南麓の環境破壊の恐れがある中部横断自動車新ルート案を見直し、八ヶ岳南麓全域の環境保全を求めます。</p> <p>現在、富士周辺や笛吹市、北杜市等においても太陽光発電施設(メガソーラー)の建設が環境保護や景観保護等に関わる規制やガイドラインが明確にしめされないままに、いたるところで森林伐採が行われ、環境と景観保護の点からも関係自治体・地元市町村が対策のために国・県に働きかけています。</p> <p>八ヶ岳南麓を横断する高速道路建設計画では、現在示されている範囲だけでも2車線幅と盛り土面積を含め約50mに加え工事車両通行用面積、全長は長坂から八千穂間約34Kの面積で大規模森林伐採等が行われることになると思われます。その他、土砂崩れなどの災害など予測のつかない大規模な環境破壊の懸念もあり、この八ヶ岳南麓を横断する計画を到底容認することはできません。</p> <p>3. 昨年6月27日開催の国交省社会資本整備審議会関東地方委員会ワーキンググループでの審議が行われましたが、いまだ関東地方小委員会には正式に答申受理がなされておらず、現在、審議内容及び関連する事項についての精査がされている段階です。こうした中で昨年7月16日に北杜市が北杜市中部横断自動車道の整備を前提とした活用検討委員会を開催したこと、そして現在も継続開催されていることに強く抗議し、開催中止を求めます。</p> <p>北杜市活用検討委員会の八ヶ岳南麓新ルート(Bルート)を前提とした審議を直ちに中止し、新ルート案に反対する当該住民や別荘所有者等、八ヶ岳南麓を横断する高速道路建設に反対又は懸念を表明している住民などの意見が広く反映されるよう、意見交換ができるしくみづくりするよう要請します。</p> <p>4. * * * *には中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート案に反対又は懸念する住民との直接対話する意見交換会を速やかに開催するよう求めます。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「国道141号の改良と整備」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「八ヶ岳南麓を横断する中部横断自動車道建設は、日本の国、山梨県や北杜市にとってのかけがいのない八ヶ岳南麓の自然環境、豊富で優良な湧水群、生活環境などを含む環境全体を悪化させ破壊する大きな懸念があります」、「八ヶ岳南麓を横断する高速道路建設計画では、現在示されている範囲だけでも2車線幅と盛り土面積を含め約50mに加え工事車両通行用面積、全長は長坂から八千穂間約34Kの面積で大規模森林伐採等が行われることになると思われます。その他、土砂崩れなどの災害など予測のつかない大規模な環境破壊の懸念もあり」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p>
91	<p>私は* * * * *の* * * * *です。 仮称)北杜市中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョンのパブリックコメントを募集していたので感じたことを応募します。</p> <p>意見要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北杜市でつくる計画すべてに言えると思うが、最上位計画が「北杜市総合計画～人と自然と文化が躍動する環境創造都市北杜市」であるとする。当然この計画に沿ってまちづくりビジョンも企画されていかなければ、バラバラとなって混乱を招き意味を失う。 ・そういう視点で計画を見ていくと、文化の側面がまったく計画に無い。文化の無い北杜市のまちで良いのかと感じる。 ・また30年後、50年後の市の姿を想像するに、市民や企業の参画が必ず必要になる。どのように関わって行くのか、関わって欲しいのかが見えない。 ・中部横断自動車道は社会資本であるから市内のエリアで主要道路からも利用可能な、サービスエリアもしくはパーキングエリアを確保して欲しい。スマートインターを併設すればインターチェンジ設置よりもむしろ良い。そこで八ヶ岳パーキングとも連動して、北杜市の魅力、情報を発信。市内の産物も販売しブランド化、産地化を図る。 ・沿線の産業との連携、BtoBにより経済の活性化、地域一体となつてのPR。 <p>取り敢えず感じたままに。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「最上位計画が「北杜市総合計画～人と自然文化が躍動する環境創造都市北杜市」であるとする。当然この計画に沿ってまちづくりビジョンも企画されていかなければ、バラバラとなって混乱を招き意味を失う」という意見についてですが、北杜市まちづくりビジョンは、北杜市の既定計画を踏まえつつ、中部横断自動車道の整備を見据え、地域の現況や特色を整理した上で、地域活性化などに資するまちづくりのあり方や地域の取組の指針となるものです。</p> <p>「文化の側面がまったく計画に無い」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に、『文化・芸術』に関する文章を追記します。</p> <p>「市民や企業の参画が必ず必要になる。どのように関わって行くのか、関わって欲しいのかが見えない」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に、『民間企業や一般市民との協働による観光振興の取組』に関する文章を追記します。</p> <p>「市内のエリアで主要道路からも利用可能な、サービスエリアもしくはパーキングエリアを確保して欲しい。スマートインターを併設すればインターチェンジ設置よりもむしろ良い。そこで八ヶ岳パーキングとも連動して、北杜市の魅力、情報を発信。市内の産物も販売しブランド化、産地化を図る」、「沿線の産業との連携、BtoBにより経済の活性化、地域一体となつてのPR」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p>

No.	内容	対応案
92	<p>北杜市中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(素案)のパブリックコメントとしてメールいたします。 中部横断道を作る前提の活用をご検討のことと思いますが、その前に道路の必要性を慎重に議論する必要があると思います。 新しい道路を作る前に、今ある道路の活用計画、改善計画、メンテナンス計画を練ってください。 中部横断道予定地には、フクロウなどの貴重な野鳥やヤマネ等の希少な動物の生息地が含まれています。高速道路との共存は難しいと思います。 配慮すればよいというものではないです。 一度失われたものは二度と戻りません。 50年、100年先のことを考えて市政を行ってください。 税金の無駄遣いにならないよう、道路の必要性に戻って検討しなおしてください。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「中部横断道予定地には、フクロウなどの貴重な野鳥やヤマネ等の希少な動物の生息地が含まれています」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13 環境・景観「視点④: 貴重な動植物との共存」に基づき、取り組んで参ります。</p>
93	<p>パブリックコメントとして検討いただきたいルートを提案させていただきます。(ルート図添付)なぜB案とは違うルートを提案する理由は、今のB案が北杜市民にとって最善とは思えないからです。</p> <p>その理由①、ハケ岳パーキング、中部横断ジャンクション、長坂インターの間隔が狭すぎてそれぞれの間隔が1キロとれず高齢者の判断ミスにつながり重大事故発生の懸念。</p> <p>その理由②、今のBルート案の公人の土地問題の不透明さ解消のためです。 * * * * * は長坂接続が決定される前より中部横断自動車道整備促進山梨県峡北地域連絡協議会など建設を誘致してきました。当然市民が知りえない情報も入手できる立場の人です。 それは * * * * * の * * * * * も同じだと思います。この様な人たちが案としてのBルート帯に土地を所有していれば、公共事業としての政策が公平性に欠け問題だと思えます。</p> <p>その理由③、命の道としての欠点、命の道として * * * * * の提言がありますが、(発言資料1.2添付)Bルートは国土交通省の資料では、とうとう津金で90度方向を変え長坂に接続していますが、素直に直線を引けば須玉接続も可能です。 消防署に話を聞くと重度の患者やけが人は甲府の救命救急センターへ運ぶそうです。 直線で結ぶルートならば5分短縮できるので清里、津金地区の人は須玉や双葉に接続した方が命の道だと思います。</p> <p>私が提出するルート図は以前に沿線住民の会の * * * * * と * * * * * が道路に関しての方の協力で創り上げたものです。このルートは①、と②の問題を解決できます。③については双葉や須玉に接続することが命の道だとは思いますが、国土交通省は須玉の坂の勾配を気にしているのであえてクラインガルテン方面に曳きました。</p> <p>このルートの良いところは立ち退きを迫られる家が少なくなる点です。 活用検討委員会で審議いただきたく提出いたします。</p> <p>(添付資料(ルート図、知事、及び市長発言資料の3枚))</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「ハケ岳パーキング、中部横断ジャンクション、長坂インターの間隔が狭すぎてそれぞれの間隔が1キロとれず高齢者の判断ミスにつながり重大事故発生の懸念」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14 暮らし「視点①: 安全・安心の確保に向けて」に基づき取り組んで参ります。</p> <p>北杜市中部横断自動車道活用検討委員会は、「まちづくりビジョン」を審議することから、地域の代表者や市域の主要産業である観光、商工業及び農業などの分野から委員を構成しています。多様な立場から意見を賜り、委員による合議制により審議を行うこととなっています。 また、「まちづくりビジョン」は、委員のみの意見にとどまることなく、地域の皆様を対象に複数回にわたる意見の把握を行い、それらの意見を踏まえながら策定していくこととなります。 さらに、検討委員会は、「北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱」に基づき公開で審議されているところであり、検討委員会の開催や審議結果などの情報は北杜市ホームページに掲載し、透明性を確保しながら審議を行っています。 こうしたことから、「公人の土地問題」、「Bルート帯に土地を所有していれば、公共事業としての政策が公平性に欠け問題」という意見について、検討委員会の目的達成に当たっては、問題がないと認識しているところです。</p>
94	<p>●パブリックコメントを提出いたします。平成26年1月31日 Bルート案は北杜市民として公平性に欠けた案だと思います。地方自治体としての北杜市(公共機関)が推進するルート帯の中に公人としての建設推進をする * * や * * の土地が有ることが問題だと思えます。 証拠として2通登記簿謄本を添付します。(これは一部の土地です)。 又この土地は県民、市民に資産公開されています。活用検討委員会メンバーや家族などの名義の土地を合わせると約43,908坪(144,899㎡)となります。たまたま入っていただけと国土交通省の * * * は言いますが、資産公開されている北杜市の公人の土地全てが(* * の自宅だけが外れている)、前のルート帯3km幅でも今回のBルート帯1kmでも中に漏れずに入っている。この偶然を市民はどの様に思うのか。資産公開されている北杜市の土地はルート外には存在しない偶然? 活用検討委員会のメンバーの土地については、毎日新聞で問題だとし記事にもなりました。中部横断自動車道活用検討委員会で公平性をお考えください。(なぜ * * * * * はこの土地を国土交通省に隠していたのか?) (登記簿2通添付)</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>北杜市中部横断自動車道活用検討委員会は、「まちづくりビジョン」を審議することから、地域の代表者や市域の主要産業である観光、商工業及び農業などの分野から委員を構成しています。多様な立場から意見を賜り、委員による合議制により審議を行うこととなっています。 また、「まちづくりビジョン」は、委員のみの意見にとどまることなく、地域の皆様を対象に複数回にわたる意見の把握を行い、それらの意見を踏まえながら策定していくこととなります。 さらに、検討委員会は、「北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱」に基づき公開で審議されているところであり、検討委員会の開催や審議結果などの情報は北杜市ホームページに掲載し、透明性を確保しながら審議を行っています。 こうしたことから、「公人としての建設推進をする * * や * * の土地が有ることが問題」、「活用検討委員会のメンバーの土地については、毎日新聞で問題だとし記事にもなりました」、「中部横断自動車道活用検討委員会で公平性」という意見について、検討委員会の目的達成に当たっては、問題がないと認識しているところです。</p>

No.	内容	対応案
95	<p>1.国土交通省の官僚に対して 「中部横断自動車道」については、「国土開発幹線自動車道建設法」という法律に組み込まれてはいるが、そのうちとくに「北部区間」と呼ばれる「長坂～八千穂」間については、現在のところ、その法律の中で言う「基本計画」の段階であるため、工事を着工することについては国権の最高機関である「国会」での議決がなされてはいない。したがって、当然予算も付いてはいない。 そのような状態で、われわれ主権者の代表でもなく公僕でしかない国土交通省の二名の官僚が、「計画段階評価」あるいは「調査検討」の段階であると言いつつもあたかも当該道路事業の実施がすでに決まっているかのように振る舞って、あるいは実施を前提としているかのようにして、北杜市の住民の意見を聞くというのではなく、主権者である「地元」の住民に対して「説明」する会を持つなどというのは国賊行為であり、民主主義政体に対する反逆的行為である。 なぜなら、国交省の官僚のやっていることは、この国が内外に向けて公式に採用している国会を国権の最高機関とする「議会制民主主義」という政治原則に反逆する、「やってはならない行為」であり、「国を乱す行為」でもあるからだ。</p> <p>2.また、当「パブリックコメント」の実施主体である「北杜市中部横断自動車道活用検討委員会」(以下、単に「検討委員会」と呼ぶ)の委員を選任している北杜市役所建設部道路河川課(以下、簡単に「担当課」と呼ぶ)の* *と* *は、やはり公僕という立場でありながら——本来、これも公僕が議会の承認もなくやってはならない行為なのである——、その委員の選任にあたって、どういう客観的根拠に基づいて委員を選任しているかその根拠を明らかにせよと要求しても、「北杜市中部横断自動車道活用検討委員会設置要綱」という名の委員会構成と当委員会の構成員の肩書きと人数を示すだけで、肝心のそれを今もって明らかにしていない。 それだけではなく、驚くべきことに、「担当課」の* *と* *は、この道路がもし建設されたなら最も大きな被害や影響を受けることがはっきりしている住民からなる幾つかの団体の皆さん(以下、「直接関係住民」と呼ぶ)がこの検討委員会に加わることを幾度となく要望しているにも拘らず、「直接関係住民の意見は聞いていますから」の一点張りで、それを拒み続けている。 「直接関係住民」とは、たとえば、「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」や、「中部横断自動車道八ヶ岳南麓の会」そして「八ヶ岳南麓景観を考える会」等の皆さんのことを意味する。 さらに驚くべきことに、「検討委員会」には最も加えるべき団体の関係者を意図的にボイコットしながら、「担当課」の* *と* *そしてその上部の「建設部」の* *は、当該道路の着工については既述のように「国会」ははまだ議決もしていないのに、ということは全国の主権者は承認もしていないのに、この横断道を企画してもっとも建設したがっている国土交通省の出先機関である「国土交通省関東地方整備局甲府河川国道事務所代表者」という官僚を加え、さらにはこれも中央の官僚たちが中心となってつくって来た「タテ割り制度」を公然化する中で、官僚の意のままに動く「山梨県国土整備部道路整備課高速道路推進室代表者」と「山梨県中北建設事務所峡北支所代表者」という山梨県庁の出先機関の役人を委員に加えるなどしている。 要するに、「検討委員会」は、最も重要な「直接関係住民」という主権者を除外しながら、霞ヶ関の官僚、山梨県庁の役人、北杜市役所の役人という、いずれも「公僕」だけで取り仕切れる場となっている。 文字どおり主権者抜き「官僚と役人の独裁」の場なのだ。これ自体、「闇権力」の、あるいは「非公式権力」の行使であり、公僕として絶対にやってはならない国賊行為であり、主権者に対する反逆的行為なのである。なお、公平のために言えば、「検討委員会」には、一応、「市民代表者(計8名)」および各種団体代表者(計3名)」が加えられてはいるが、その人たちは、いずれも、自分が代表している管轄下の住民全員あるいは自分が所属している団体の全体の意見を聞く場を公式にもって、それを集約して当「検討委員会」に参加しているのではないことは明らかなのである。 今回の、このパブリックコメントはそういう背景の下につくられ、企画されたものであることを知った上で、「(仮称)中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(案)概要版」および、「同 策定にあたって寄せられた主な意見の例」および、「同 策定にあたって寄せられた主な意見の例」を見ると、これだけで「パブリックコメント」という名の「住民の声」を聞こうとするのは、どう考えても、メチャクチャだと思う。 「北杜市」合併直前のアンケートもそうだった。「北杜市都市(まち)づくり計画(基本方針)」と「北杜市景観計画」を策定するとぶち挙げたときもそうだった(平成19年12月)。「北杜市まちづくり計画」(平成22年12月)もそうだった。そして、立派な「北杜市まちづくり計画概要版」(副題:秩序ある土地利用推進のためのガイド)を出したときもそうだった。 まともな都市計画も土地利用計画もないまま、ただ道路の拡幅・新設、森林伐採という乱開発だけが進んでいる中、何が実現したというのか。いたずらに金と時間とエネルギーを浪費した「計画」ばかりを次から次へと北杜市役所は出すが、では何が実現したのか、しなかったのか。しなかったとすれば何が原因で実現しなかったのか。その原因は解決の目処は立っているのか。 次の計画ではその原因除去のための課題が引き継がれたものとなっているのか。…… こうしたことが実は最も重要なことなのに、肝心のそれは全く放置し放した。 実際、今回、私たち住民から「パブリックコメント」を聞こうとしている土台となる「(仮称)中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(案)概要版」をみても、都市計画とは何か、土地利用計画とはどういうことかについて、勉強した後などまったく見られず、言葉さえ知っていたなら、中学生でも思いつきで書ける項目ばかりだ。 しかも、これも驚くべきことだが、「中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン」、と言いながら、そして「ビジョン」とは「未来像」のことであり「見通し」のことであるにもかかわらず、このビジョンには、中部横断自動車道が北杜市を貫通したなら、今の北杜市は、環境・景観・市民生活・交通事情・経済はどうかと予想されるのか、という最も肝心の「見通し」については、科学的で都市計画的で定量的な分析は全くない。つまり、「パブリックコメント」を寄せてと言われても、私たちにとっては、客観的に信頼できる判断材料がないのだ。 そんな状態で意見を聞こうとしていること自体も、主権者を愚弄した話だ。</p> <p>3.では、一方、本日平成26年1月31日までの間、私たち主権者に選挙で選ばれた政治的代表である「北杜市議会議員」および「山梨県議会議員」は何をして来たか。 この「中部横断自動車道」の問題は、遅くとも平成23年2月の時点の「国土交通省関東地方整備局甲府河川国道事務所」主体の関係住民への「第1回アンケート」が実施されたときから表面化して来た問題である。 ではその後、彼等議員たちは、選挙で選ばれた時点で自分たちに課せられた「政治的代表」としての役割・義務を果たして来たか。 一向に果たしてはいないし、果たそうともしていない。 既述のように、もっぱら「執行機関」である北杜市役所の役人=公僕に放任した格好で来ている。 たとえば、議会つまり、* * * * *、および関係* * * * *として当然すべき次のようなことは、一切して来ていない。</p> <p>「この中部横断自動車道の問題について、北杜市住民の皆さんの声を正式にお聞きする公式の場を設けますから、どうかそこに一人でも多く参加して</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「この道路がもし建設されたなら最も大きな被害や影響を受けること」に関しては、北杜市全体がうける様々な影響と捉えました。これにつきましては、まちづくりビジョン(素案)P10の基本理念、P11のまちづくりビジョンの基本方針・視点、P12～P19の分野別の基本方針・視点に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「ビジョンには、中部横断自動車道が北杜市を貫通したなら、今の北杜市は、環境・景観・市民生活・交通事情・経済はどうかと予想されるのか、という最も肝心の「見通し」については、科学的で都市計画的で定量的な分析は全くない」に関しては、今後の審議の参考意見とさせていただきます。</p>

No.	内容	対応案
	<p>下さり、率直な意見をお聞かせいただきたい。その皆さんの声をしっかりと受け止め、それをもって議会で慎重に議論あるいは審議し、少数意見を尊重しながら議決し、その結果を執行機関である北杜市役所に、これが北杜市住民の総意であるとして、その議決内容を北杜市地方公共団体としての公式の政策として、執行させます。」</p> <p>していないどころか、むしろ、議員たちは、誰も、公僕であり、執行機関の担当役人に任せっ放しなのだ。</p> <p>本来ならば、北杜市誰会議員も、山梨県議会議員も、昨年、11回にわたって行われた国土交通省の官僚二人の主導の下に行われた「地元説明会」に対しても、国会でいまだ議決を見ていない事業なのだから、「自治」体としての北杜市の立場から、あるいは山梨県としての立場から、「あなた方(公僕)がそんなことをすることは許されないことなのだ。私たちが意見を聞く」と言ってそれを直ちに中止させ、自分たち議員が、そこに集う住民の前面に出て、取り仕切るべきだった。</p> <p>つまり、北杜市役所の役人は、本来してはならないこと、許されないことを、霞ヶ関の官僚に従属して行っており、北杜市議会議員は、本来自分たちが果たすべきことをせず、むしろ執行機関である北杜市役所の役人、あるいは国土交通省の官僚に対して、「国のやることだから」と、「国」とは本来「国民」のことであることも知らずに、ひたすら従属している。</p> <p>なお、追加すれば、昨年6月、議会が議決したことになっている「当該横断自動車道は推進」とのものは、その決議に参加した議員は、それぞれが、公式に関係住民の意見や要望を聞かないままの議決ゆえに、全く無効である。</p> <p>私たち主権者は、議員が立候補時に掲げた「選挙公約」以外には、議決権を行使する権力も権威も与えてはいないからだ。</p> <p>私たちは、議員に、権力・権威を白紙で付託しているわけではない。</p> <p>4.「長坂～八千穂」間の「中部横断自動車道」の建設を望んでいらっしゃる北杜市住民の皆さんにお願いします。</p> <p>もはやこの国の借金1000兆円を超えていることは先刻ご承知のことと思います。そして今のままですと、その借金は、私たちの子や孫にそのままツケ回しされてしまう可能性が大です。</p> <p>そうでなくとも、将来世代が担われるものは、今の私たち現在世代が残すことになるであろう「負の遺産」ばかりです。</p> <p>超巨額借金。汚染され破壊された自然環境。温暖化によって気候変動と異常気象の激化した地球。少子化による若者一人当たりの負担の激増。枯渇間近な化石燃料。半永久的にその安全性をチェックし、テロリストの標的になることを防がねばならない、54基の原発の地下に眠る莫大な量の使用済み核燃料、……。</p> <p>こういう事情を少しでも理解され、思いやりの心をお持ちなら、せめて、「道路を造ってくれと望む以上、その建設費は俺たちが、俺たちの代で払う。もうこれ以上政府に借金はさせない」といった覚悟を持つてはありませんか！</p> <p>そうでなかったら、皆さんのお子や孫たちは、そして私の子どもたちも、余りにも可哀相です！</p> <p>それにもう、客観的状況は、「その高速道が出来れば便利だから、快適だから」という言い分は、理由にもならない状況に至っていると思うのです。</p> <p>以上</p>	
96	<p>1.中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(素案)について</p> <p>時間軸の記述がありません。仮に今年B案が決定されたとして、実際に竣工供用開始されるまで最低でも15年はかかると聞いています。このビジョンは、高速が完成した後の姿まで描くべきですが、そういった時間軸の記述が全くありません。これは具体的実行を考えていないと指摘されても仕方ありません。</p> <p>2.中部横断自動車道計画について</p> <p>(1)B案について</p> <p>そもその問題点である、現在までに至る意思決定手続、及び計画そのものの可否については、中部横断自動車道八ヶ岳南麓の会、中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会などが何度も提言等していますので、ここでは繰り返しません。</p> <p>(2)対案について</p> <p>B案は急ごしらえの感が否めないルート案です。そもそも、当初の案1・案2が事実上の白紙撤回されたのが2012年10月4日の関東地方小委員会、A・B案が提出されたのが2012年11月21日の第1回WGで、実際は国土交通省の事務方が検討していたにせよ表舞台での検討期間が2ヶ月弱しかありません。国土交通省は、A・B案も、第1回及び第2回アンケートで提示した数キロ幅のルート帯に入っており唐突なものではないと説明していますが、第2回アンケートであれだけ様々な異議が出され2012年7月7日の現地説明会上でも異論が述べられていたのですから、当初のルート帯にこだわる必要はないと思います。</p> <p>B案は、南麓の環境や景観にマイナスだという指摘が既にされており、それは全くそのとおりですが、最大の問題点は以下です。</p> <p>(i)大門ダム付近で急に西に折れ、長坂IC付近に接続させるルートのため、中部横断道の本来の事業目的である東京や静岡方面へのアクセス改善効果が大幅に減殺され、よくわからない理由で妥協させられたようなルートであること。</p> <p>(ii)141号及びレインボーラインと交差する地点にICを設置することにより南麓主要観光地へのアプローチが改善され過ぎ、南麓は確実に通過型観光地になる。結果、観光業は大幅に衰退する。高速ICからやや距離のある軽井沢などの観光地の方が滞在期間が長くなることは自明の理。</p> <p>これを解決する対案は以下のようなものが考えられます。</p> <p>a 高速ではなく一般自動車国道とし、141号全線を改良(南麓の会、沿線住民の会等が主張している方式)</p> <p>b どうしても高速を建設したいのなら、</p> <p>(a)野辺山から141号線東側に入り、そのまま南下させ、須玉IC東側で中央道に接続するルート</p>	<p>頂いたご意見の中で、「時間軸の記述がありません」、「このビジョンは、高速が完成した後の姿まで描くべきですが、そういった時間軸の記述が全くありません」に関しては、今後の中部横断自動車道活用検討委員会の進め方の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「B案は、南麓の環境や景観にマイナスだという指摘」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「大門ダム付近で急に西に折れ、長坂IC付近に接続させるルートのため、中部横断道の本来の事業目的である東京や静岡方面へのアクセス改善効果が大幅に減殺」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「141号及びレインボーラインと交差する地点にICを設置することにより南麓主要観光地へのアプローチが改善され過ぎ、南麓は確実に通過型観光地になる。結果、観光業は大幅に衰退する」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「141号線全線を改良」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p>

No.	内容	対応案
	<p>(b)野辺山から141号線東側に入り、そのまま南下から緩やかに東方向にカーブ、明野町を通過して葦崎方向までルート伸ばし、双葉JCT付近で接続するルート</p> <p>(c)上記(a)(b)が建設費の関係から実現困難であれば、B案を南にずらし、北杜市太陽光実験施設から少し須玉IC寄り部分のところで中央道に接続するルート</p> <p>B案ありきでなく、市及び市民にとってベストの案は何か、しかも20年後の姿を睨みつつ考える、これが今必要なことです。問題は、市検討委に、これらのことを考慮する権限や能力、実現しようとする意欲、そして国土交通省に諮る気があるかどうかです。</p> <p>3.北杜市の景観について</p> <p>上記まちづくりビジョン(素案)の中に、北杜市の景観について触れられている箇所があります。市には景観条例があります。かつて**が、中部横断自動車道八ヶ岳南麓の会と対話した際、同会****が、「北杜市景観条例に市の景観保全に関する責務既定があります」と指摘したところ、****は、「条例に書かれているのは建前であって、現実はまだ別であり運用でどうにでもなる」と発言したとのことです。**は北杜市を「大いなる田舎」と呼び、大変いいことだと思っていたのですがその一方でこのようなことを発言するのは大変残念なことです。</p> <p>北杜市の宝は言うまでもなく八ヶ岳南麓の環境と景観であり、これは市の主要産業である観光業の最大の売り材料であります。その景観で問題が起きていることはご承知のとおりです。既に市景観計画などが策定されていますがこれはまだ不十分であり、最低でも軽井沢町くらいの取り組みはすべきです。最低でも下記のことを2014年中に実現されるようお願いいたします。</p> <p>(1)レインボーライン以北は景観保護地域とし、道路等公共施設、道路標識、屋外広告・看板等、他を照らす照明などは、朝日が丘景観保護地区(高根町清里)や、風致地区またはそれ以上の規制を敷き、地域の価値を守り高める。</p> <p>(2)また、レインボーライン以北では一定面積以上(概ね500平米か)の太陽光パネル装置、メガソーラー等の設置を認めないとともに、以南も一定の規制を敷く。</p>	<p>「北杜市を「大いなる田舎」、「北杜市の宝は言うまでもなく八ヶ岳南麓の環境と景観であり、これは市の主要産業である観光業の最大の売り材料」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」、P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p>
97	<p>「(仮称)北杜市中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(素案)」ですが、環境・景観、くらし、地域活性化、観光の分野別に基本方針・視点を分かり易く概要を明示されてます。この視点はもちろんのこと災害時の対応面からも、兎にも角にも早期の実現(着工・完成)を強く望みます。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「もちろんのこと災害時の対応面からも」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参ります。</p>
98	<p>やはり、どう考えてもこの地域に高速道路を通すのは無理があります。</p> <p>○まず国策といっても、新しい高速を作ることについて、もう一度検証があるのに検証を怠っていること(人口減、財政難の部分をかちと議論していない)</p> <p>○北杜市のこの地域は自然の素晴らしさをもとめてくる、移住者、観光客、別荘所有者が多く、また農業をこだわって行っている農家があるがたいことに増えている。それらよっての「市おこし、街づくり」を考えていくべきであって、高速ができることで決して経済は活性化されない。それより清里の幽霊てんぼなどをきちっと整備して、東京や他の都市から成功している飲食店やストリート型の店舗などを誘致して、141号を通るとそこに立ち寄ってもらえるような魅力的な街づくりをして、危ないところ、高速に直接入る部分としてはバイパスにしたりして、141号をもっと活用できるような街づくりをしていかなないと、高速インターを作ってもそこから観光客は呼び込めず、通過点と化してしまうことは目に見えている。</p> <p>○北杜市の未来を見据えて貴重な意見も無駄にしないで欲しい。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「北杜市のこの地域は自然の素晴らしさをもとめてくる、移住者、観光客、別荘所有者が多く、また農業をこだわって行っている農家があるがたいことに増えている。それらよっての「市おこし、街づくり」を考えていくべき」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「視点①:六次産業化・農業と観光の融合による地域活性化」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「東京や他の都市から成功している飲食店やストリート型の店舗などを誘致」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P17地域活性化「視点②:商工業の活性化」に位置づけております。</p> <p>「高速インターを作ってもそこから観光客は呼び込めず、通過点と化してしまうことは目に見えている」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p>
99	<p>中部横断自動車道へのパブコメ</p> <p>八ヶ岳に新しい自動車道路を作ることには反対である。</p> <p>道路は、もう十分ある。これ以上の便利さは、いらない。</p> <p>自然の破壊は、簡単であるが、自然の再生には、龐大な時間とお金がかかる。</p> <p>そもそも、自動車道を作るという前提で、パブコメを取ること自体がおかしい。</p> <p>最悪、どうして新しい自動車道が、欲しいというのであれば、現在の141号線を改修工事すればよい。現在でも、141号線の交通量は、それほど多くない。</p> <p>もうこれ以上、自然破壊を行うことは、公共工事の名に値しない。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「自然の破壊は、簡単であるが、自然の再生には、龐大な時間とお金がかかる」、「もうこれ以上、自然破壊を行うこと」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「現在の141号線を改修工事すればよい」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p>

No.	内容	対応案
100	<p>「まちづくり」には、「行政の住民に対する誠実な対応」が根底に必要になります。住民と行政の間に「不信感」があれば、より良いまちづくりはできません。またまちづくりには、目に見えるものばかりではなく、目に見えない「住民の精神的なもの」が最重要になります。そして行政は住民に対して、誠意を持って偽りなく、平等に、アンケートや調査を行った上でこそ、「素晴らしいまちづくり」は可能である。住民たちや別荘所有者や全国の八ヶ岳ファンと十分に意見交換の場や時間を設けて、正直な意見を誠実に取り入れることをしなくては、よりよいまちづくりなど成功しません。</p> <p>北杜市公務員の方達は、本気で「よりよいまちづくり」を目指していますか？住民や別荘所有者、全国の数万人の八ヶ岳ファンは注目しています。ごまかしや不正は、今の時代は隠しきれません。「より広い視野」を持って、全市民を配慮して、まちづくりを進めて行かなければならない。毎年、国交省の方に同じ質問をしています「なぜ、この北杜市に人が最も少ない冬季に、アンケート調査やパブリックコメントを募集するのですか？」よほど自信がなくて、隠密に済ませたいアンケート調査なのでしょうね。パソコンを持っていない老人や、地域の自治体に属していない住民たちは、特に寒いこの時期は外出もできないので、このような中部横断道に関するパブリックコメント募集のを知ることはできません。</p> <p>高速道路みたいな大きな問題に関するアンケート調査なのに、関係住民に知らせることができなかったのは、北杜市側の不手際と落ち度ですね。私達の血税が膨大に使われるのですから、そんないいかげんな住民調査だけで済まさないで下さい。平成24年9月の「地方小委員会ワーキンググループ会議」で、*****がおっしゃったように、「国交省が平成24年に北杜市で行った『ちやちなアンケート調査』の内容と、集計のやり方は不誠実であり、ひどすぎる！！」と*****も呆れておられました。*****を始めとして北杜市民や、別荘所有者たち、建設反対に署名した1万4千人は強い憤りを感じている。よって、この度のルート変更後の「B案ルートに対する住民アンケート」を改めて行う義務が、国交省や山梨県、北杜市にはある。また*****も今年の年頭に「広報ほくと」で語っていたように「現在は北杜市は財政難」である。どれだけの借金を、北杜市民は本意に背負わなければならないのでしょうか？北杜市内の中部横断自動車道は『141号線の整備拡充か、141号線沿いに高規格道路化』にした方が、大幅に経費を削減できるので、財政的にも景観的にも良く、そして何よりも「住民にとって一番利用価値の高い形」になる！*****も「北杜市内の中部横断道は、高速道路ではなく、国道141号線に沿った高規格道路にするのが一番よい。」とおっしゃっていた。30年も前に出された中部横断自動車道の高速作り案を、なぜ今実行しなければならないのか？？住民たちは、「*****がなぜ説明して下さらないのか？」大いに疑問である。是非、*****に説明会を開いていただきたい。北杜市の生命線である観光・農業・商業のためにも、これ以上、北杜市の環境の素晴らしさを失ってはならない。またB案ルート沿いには、肺癌治療の為や、化学物質過敏症のために、大気汚染や化学物質の影響が少ないという理由で、わざわざ移住してきた病人の住人も多い。そのような病人の方達の意見を無視して、素晴らしいまちづくりができるのでしょうか？</p> <p>またもしその病状が悪化した場合の補償は、どこがしてくれるのでしょうか？</p> <p>また「震災対策の為に高速道路」という子供だましの常套文句は、今や全国で問題視されているが、本当に住民の生命の危機を考えているならば、「新しい高速道路を作る前に、即刻北杜市内の国道141号線を整備改修すべきである」141号線には崩落の危険性などがある場所が多く見られる。この141号線の危険な状態は、国交省甲府河川事務局の*****の*****も、平成25年2月の住民意見交換会で認めている。北杜市には作られてから半世紀(50年)を超えている橋などのインフラがどれほどあるのか、県や市は把握しているのだろうか？老朽化インフラの改修を急ぐ責任が山梨県や北杜市には大いにある。それとも再び「笹子トンネル事故」のような惨事が起こるまでは、見て見ぬふりをするのだろうか？そのようなことが国民に許されるはずがない。老朽インフラ整備にどれだけの経費が必要なのか、北杜市は算出できているのだろうか？</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「141号線の整備拡充」、「141号線には崩落の危険性などがある場所が多く見られる」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15から「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「北杜市の生命線である観光・農業・商業のためにも、これ以上、北杜市の環境の素晴らしさを失ってはならない」、「大気汚染や化学物質の影響が少ない」、「自然のそのままの姿を愛して、きれいな空気を求めて、観光に來たり、移住してきたり、登山をしたりする人達は北杜市に來るのですよね?」、「景色だけではなく、目に見えない「空気」や「静けさ」、そして美しい星を見るための「夜の暗さ」が重要なのです!!」、「高速なんかできたら、北杜市の貴重な資産が失われてしまいます」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」、P13環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>また、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」、環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に『澄んだ空気』という文言を追記します。</p> <p>「これ以上北杜市の借金を増やしたり、北杜市民の財産を奪わないでほしい」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際、経済性にも配慮し、検討して参ります。</p>

No.	内容	対応案
	<p>来年度の老朽インフラ整備のための予算額を計上し、市民に発表していただきたい。 高速建設ではなく、まずは老朽インフラの改修と整備を行うことが、「北杜市のまちづくり」の第一歩であると言えよう。 山梨県の公務員の方達は、『現代は「インフラを『作ろう』という時代から、老朽インフラを『繕う』時代に移行したこと』を、早く自覚していただきたい。 一部の利権者による、目先の私利私欲や地位名誉のために、これ以上北杜市の借金を増やしたり、北杜市民の財産を奪わないでほしい。 少子化時代なのに、これ以上借金を増やしてしまったら、将来もう北杜市に住みたいと思わなくなるであろう。 すると北杜市の過疎化はさらに進んでいくであろう。 明野処分場のように、55億円という「とんでもない額の借金」を残して、責任が取れないような無責任で先が計算できない * * たちは、恥を知り、新しいまちづくりに参加しない方がよろしいのではないか？ 北杜市役所の皆さん、どうか未来に禍根を残さないような選択をする勇氣を持ってください。 北杜市に安心して住めるようになるかどうかは、今の大人達の責任です。 自然のままの姿を愛して、きれいな空気を求めて、観光に來たり、移住してきたり、登山をしたりする人達は北杜市に來るのですよね？ 北杜市に高速道路ができて喜ぶ人は「ただ長野に早く行きやすくなる」という理由だけですか？ 北杜市は通過されるだけです。 * * * *、公務員の皆さん、なぜ観光客や移住者が北杜市に増えているか、その理由を当然ご存知ですか？ 景色だけではなく、目に見えない「空気」や「静けさ」、そして美しい星を見るための「夜の暗さ」が重要なのです！！ だとしたら、高速なんかできたら、北杜市の貴重な資産が失われてしまいます。 どうか「北杜市内の中部横断道は、高速道路ではなく、国道141号線を整備拡充するか、141号線に沿って高規格道路化を進めること」を希望します！ 北杜市に高速道路は、これ以上必要ありません。 以上、よろしくお願い申し上げます。</p>	<p>「北杜市は通過されるだけです」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針」にぎわい創出玄関口づくりに基づき、取り組んで参ります。</p>
101	<p>ハケ岳デイズ2012年冬号に、* * * *の言葉が載っている。 テーマは、移住・二地域居住のススメ 活用検討委員会は、この* * * *の言葉を実現すべく活動して欲しい。以下、その言葉を列記する。 「観光という字は、“光を観る”と書くが、その光とは、今日的には健康志向や環境思考だという思いがする」これからの時代に大切になっていく潜在能力や資源を備えているのがこの北杜市で、観光するだけに終わらせてはもったいない、暮らしてみたくなるような魅力にあふれている。 自然豊かなだけでなく、知的財産が蓄積し、文化的な側面があるのも北杜市の大きな特徴。北杜市にある文化施設は80とも言われる。「ここは一流の田舎まち。リタイヤ組ならもうひと花咲かせ、大都会にいた若者はひと休みできる場所」。 「各地からここに気に入って来てくれる人がいて、そんな人たちが地域の人と交流することが、土地の品格をさらに高めることに役立っている」「独特のホスピタリティがある」 今、北杜市で起こっていることは、* * * *が言っているように進んでいるのだろうか？ 暮らしてみたくなるような魅力にあふれている。から各地からここに気に入って来てくれる人がいて、多くが南麓地域に移住して、その人たちが様々な活動をして土地の品格をさらに高めることに役立っているのではないか？ 独特のホスピタリティがあるから、都会のストレスや騒音・大気汚染で発症した病を癒しに、来たのではないか？ その北杜市に、それも日本風景街道にも登録されているハケ岳南麓に、高速道路を通そうとしている。風景が破壊され、地域が分断され、10年に及ぶ建設工事で空気が汚れ、騒音に悩まされる。移住してきた人が地域の人と交流することとも、全く逆行している。 もう一度、「ハケ岳デイズ」で語った* * * * *の言葉をかみしめ、北杜市を一流の田舎まちにすべく実現しましょう。Bルート推進を提言したのは、きっと魔が差したのでしょうか。それとも、今も魔が差したままなのでしょうか？</p>	<p>頂いたご意見の中で、「これからの時代に大切になっていく潜在能力や資源を備えているのがこの北杜市で、観光するだけに終わらせてはもったいない、暮らしてみたくなるような魅力にあふれている。自然豊かなだけでなく、知的財産が蓄積し、文化的な側面があるのも北杜市の大きな特徴。北杜市にある文化施設は80とも言われる」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針」魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。 「暮らしてみたくなるような魅力にあふれている。から各地からここに気に入って来てくれる人がいて、多くが南麓地域に移住して、その人たちが様々な活動をして土地の品格をさらに高めることに役立っているのではないか？」、「北杜市を一流の田舎まちにすべく実現しましょう」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針」魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。 「風景が破壊され、地域が分断され、10年に及ぶ建設工事で空気が汚れ、騒音に悩まされる」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点③：良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。</p>
102	<p>まだ中部横断道に関して最終決定していないのに、「中部横断道を見据えたまちづくり」のパブリックコメントを募集すること自体が、無駄でナンセンスであると思う。 ルートに関係なく、北杜市内に高速道路を建設することには反対です。 北杜市内では、中部横断道は高速道路ではなく、国道141号線を拡充整備するか、141号線に沿って、高規格道路化にしていただきたいです。 未来の子供達に、負の遺産を残さない努力をすることが、まちづくりを考える時に大切な配慮だと思う。 高速道路は、まさしく負の遺産になる。 少子高齢化の時代なので、市の借金を減らし、少しでも老人や若い人達が暮らしやすいように福祉を充実させた方がいい。 「高速道路があるまちづくり」なんて、現代ではナンセンスで、茶番劇のようである。 もっと時代に合った税金の使い方をするのは当然だと思う。 すなわち、「まちづくり」も高速建設前提ではなく、時代に合った現実的で有意義なアイデアを出さなければ、意味がなく、北杜市は衰退の一途をたどるしかなくなると思う。 私は北杜市を愛しているが、高速道路が進められたら、県外へ移住する予定です。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「国道141号線を拡充整備」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②：くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p>

参考資料1 パブリックコメントで寄せられた意見一覧

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

No.	内容	対応案
103	<p>中部横断道に対しての私の意見です。 現状の建設ありきの考えには疑問を感じています。 これから、ますます少子高齢化が進むことが考えられますので今以上に車の台数は減るものだと考えると今の国道141で充分ではないのか？ 中部横断道が地元の願いでもあるとお話伺いますが、現状もみなさんがそのように考えておられるのでしょうか？ 国道交通省のアンケート結果は、反対意見が多かったと聞いております。 もう1度、本当に必要なのか賛成派・反対派で議論する場を持ち、どうしても作るのであれば環境に配慮しルート案も見直す必要があります。 今ある自然は私たち人類が誕生する以前から変化を重ねて、現在の自然があります。 私たち人間の身勝手でもニアもそうですが、破壊していい物なのでしょうか？ みなさまの子ども心で、もう1度考えていただきたいと思います。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「国道141号で充分」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「環境に配慮」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「今ある自然は私たち人類が誕生する以前から変化を重ねて、現在の自然があります」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。</p>
104	<p>全国で官民等の協働を旗印に、「まちづくり」、「景観」といった国のソフト面のあり方を問うビジョンが作られつつあるのは、一般市民の一人として好感を抱いています。何処に居住していても、自分の地域が環境や景観に無関心で、住民同士が殺伐とした関係であれば、誰も「おらが自慢のまち」とは感じられないでしょう。 今回のパブリックコメントには、北杜市を愛する市民からたくさんの意見が寄せられることと思いますので、あえて重複する可能性を避け、私なりの感想を述べさせて戴きます。 目下私は、2週間ほどの予定で病気治療のために新横浜に滞在中です。 此処は、数十年前は広大な緑地と農地があった地域でした。それを巨大なコンクリートのスタジアムやアリーナ、ホテル、ビル群が建ち並ぶ小都会へと造り変えたのは、当時新時代を切り拓いた新幹線の新駅建設です。当然のことながら、人口も飛躍的に増加したはずで、日本には類似例があちこちにあるでしょうし、「それなりに成功した都市づくり」として幸運なケースだったと思います。しかし、この先行き不透明な時代に、北杜市のようなマイナーな自治体の場合はどうでしょうか。 元々見るべきものがほとんどなかったような地域ならいざ知らず、合併後の北杜市には、豊かな自然だけでなく、縄文時代の遺跡群を筆頭として魅力ある観光資源が溢れています。一度根幹を破壊すると二度と蘇らない地域があるとしたら、それは、私たちの北杜市に他なりません。 新横浜から青い山々は見えず、寒い日にも雪景色は似合いません。大自然が織りなす色彩なしに眺める小都会はただの眺めにすぎず、景観とも風景とも呼び難い味気ないものです。 中部横断道建設を「見据えた」まちづくりとは、何を見、聞き、感じてのことでしょうか。 あまりにも想像力を欠き過ぎてはいないでしょうか。北杜市には、むしろ日本随一の山岳景観を新しく創造する気概を持って、北杜ならではのユニークな観光産業興しに取り組むなど、民間企業や起業家、一般市民によるパワーを醸成して戴きたいと願って止みません。 以上。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「北杜市には、豊かな自然だけでなく、縄文時代の遺跡群を筆頭として魅力ある観光資源が溢れています。」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「日本随一の山岳景観を新しく創造する気概を持って、北杜ならではのユニークな観光産業興しに取り組むなど、民間企業や起業家、一般市民によるパワーを醸成して戴きたいと願って止みません」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に、『民間企業や一般市民との協働による観光振興の取組』に関する文章を追記します。</p>
105	<p>まず、「高速ありき」のまちづくりには賛成できません。 新ルートに関するアンケート調査を、平成23年と平成24年と同様に北杜市全体の住民や別荘の人達に実行していただきたいです。</p> <p>八ヶ岳南麓への高速建設は、環境・景観・観光に多大なダメージを与えるだけでなく、北杜市の少子高齢化により、将来、子供達に多額の借金を残すこととなります。</p> <p>我が家には、二人の子供がおりますが、「この先、八ヶ岳南麓に高速道路ができたり、借金ばかり背負わされるならば、将来は北杜市に住まない。」と申しています。</p> <p>高速道路計画に対して、中学生や高校生の子供達は冷静に判断し、失望したり、あきれいています。また大人達の無責任さを嘆いています。</p> <p>どうか全国の子供達の財産である自然や環境や美しい景色を奪わないで下さい。</p> <p>全国の八ヶ岳ファンが愛する雄大な自然や、景色、きれいな空気、暗い夜空に輝く星、そして静けさ。それらは町や都会では手に入らないのです。</p> <p>私達人間が「壊さないように努力すること」が、最も大切な「まちづくり」だと思います。「私達も自然の一部であること」を再認識した上で、みんなで「まちづくり」をしましょう。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「八ヶ岳南麓への高速建設は、環境・景観・観光に多大なダメージを与えるだけでなく、北杜市の少子高齢化により、将来、子供達に多額の借金を残すこととなります」、「自然や環境や美しい景色を奪わないで下さい」、「私達人間が「壊さないように努力すること」が、最も大切な「まちづくり」だと思います」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」、P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「八ヶ岳南麓に高速道路ができたり、借金ばかり負わされるならば、将来は北杜市に住まない。」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際、経済性にも配慮し、検討して参ります。</p> <p>「全国の八ヶ岳ファンが愛する雄大な自然や、景色、きれいな空気、暗い夜空に輝く星、そして静けさ。それらは町や都会では手に入らないのです」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」、環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に『澄んだ空気』という文言を追記します。</p>

No.	内容	対応案
106	<p>この件については、3～4年前からいろいろなところでいろいろな形で住民との意見交換会が開かれました。私もいくつかの説明会に出席し、内容と課題について承知したつもりです。 大半の意見は、この地域に高速道路は不要、せいぜい141号の改修で十分だと。 ところが、いつの間にかこうした意見は無視されたように高速道路を活用するにはどうしたらよいかに変わってしまいました。 しかも、変わった経緯については残念ながらほとんど知らされていません。 今必要なことは、変わったのであればなぜそうなったか、今からでも住民説明会を開くなどして変わった理由を教えてください。 残念ですが当事者である北杜市の顔が見えません。 今からでも遅くないと思います。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「国道141号の改修で十分」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。 「高速道路を活用するにはどうしたらよいかに変わってしまいました」に関しては、北杜市中部横断自動車道活用検討委員会は、中部横断自動車道の整備を見据え、北杜市の恵まれた地域特性を踏まえながら、地域の活性化に結びつける取組等を住民自らが主体的かつ計画的に推進するためのまちづくり構想を検討するために設置されております。</p>
107	<p>要望書 花開所の郷南清里フラワーパーク企業組合(愛称 南八ヶ岳花の森公園 以下「花の森公園」という。)は、国道141号線沿線の北杜市高根町長沢地域において、長期にわたり花と緑のうらおい、又、都市住民と地域住民のふれあい交流並びに、ゆとり地域の活性化を図るため、当地域に地域住民にて企業組合を結成し、事業を展開しております。 今般の中部横断自動車道の整備を見据えた中で、ルート帯にある花の森公園及び道の駅「南きよさと」を、サービスエリア等の一部として当施設を高度に利用することで、さらなる地域の活性化に繋がりたいと考えております。 つきましては、以下の事項についてご高配を賜りたくお願い申し上げます。</p> <p>記 一、花の森公園及び道の駅「南きよさと」の施設を、サービスエリアと併用設置すること。 二、当施設直近の場所に、インターチェンジを設置すること。 平成二六年一月三十日 ***** 殿</p>	<p>頂いたご意見の中で、「中部横断自動車道の整備を見据えた中で、ルート帯にある花の森公園及び道の駅「南きよさと」を、サービスエリア等の一部として当施設を高度に利用することで、さらなる地域の活性化に繋がりたいと考えております」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P17地域活性化「視点②:商工業の活性化」に基づき、取り組んで参ります。 「花の森公園及び道の駅「南きよさと」の施設を、サービスエリアと併用設置すること」、「当施設直近の場所に、インターチェンジを設置すること」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p>
	<p>2014年1月31日 北杜市まちづくりビジョン パブリックコメント 公益財団法人キープ協会</p> <p>(1)環境 1)環境教育 1:人と環境の共生社会を創るための環境教育を推進すること 2:豊かな自然＝森・川・田んぼ・湧水等を用いた体験学習の推進。 3:貴重な動物と人との共生から学ぶ教育の推進 4:自動車道に設置するサービスエリアを環境教育の場とする 2)環境保全 1:動物の移動経路を確保し、保全すること アニマルパスウェイの普及とモニタリングの実施をすること 2:環境を守るための基礎的で継続的な環境調査の実施 3:重要で、生存に必要な自然環境の保護と調和</p>	<p>頂いたご意見の中で、「人と環境の共生社会を創るための環境教育を推進」、「豊かな自然＝森・川・田んぼ・湧水等を用いた体験学習の推進」、「貴重な動物と人との共生から学ぶ教育の推進」、「自動車道に設置するサービスエリアを環境教育の場とする」、「動物の移動経路を確保し、保全すること」、「アニマルパスウェイの普及とモニタリングの実施をすること」、「環境を守るための基礎的で継続的な環境調査の実施」、「小水力発電エネルギーの普及と推進。山麓の水路の利用」、「風力発電エネルギーの普及と推進(道路沿いにも設置)」、「太陽光発電の家庭化の推進と道路沿いへの設置」、「企業とNPO・行政との連携で新たな価値を顧客の創造」、「豊かな環境を包括し、利用し、保護する総合的なランドスケープ案の確立」、「多種多様な生物が造り出す「生物景観」の創造と確立」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。 また、「環境教育」については、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点④:貴重な動植物との共存」に、『また、貴重な動植物との共存への取組を通し、環境教育の広がりなども期待されます。』という文章を追記します。 「重要で、生存に必要な自然環境の保護と調和」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。</p>

No.	内容	対応案
108	<p>4:豊かな生物多様性の保全 5:希少野生生物の保存と共生の具体的施策の確立 6:里山・森環境を支える生物の保全</p> <p>4)自然との共生社会の確立 1:持続可能な社会の確立 2:シカの適正な管理:森と人の暮らしを減ぼす要因の管理 3:サルの適正な管理</p> <p>(2)景観・ランドスケープ 1)豊かな環境を包括し、利用し、保護する総合的なランドスケープ案の確立 2)優れた山岳景観・農村景観と渓谷景観の保全 3)多種多様な生物が造り出す「生物景観」の創造と確立 4)良好な生活環境への配慮 5)牧場景観・高原景観の保全</p> <p>(3)くらし 1)再生可能・持続可能エネルギー社会の推進 1:小水力発電エネルギーの普及と推進。山麓の水路の利用 2:風力発電エネルギーの普及と推進(道路沿いにも設置) 3:太陽光発電の家庭化の推進と道路沿いへの設置 2)豊かな水を守るための水源地と管理・保護と水源涵養林の保全 3)地産地消のネットワークの発展で豊かな食の発展</p> <p>(4)地域活性化 1)豊かな農産物による都会市民とのネットワークの確立 2)案内標識の充実 3)企業とNPO・行政との連携で新たな価値を顧客の創造 4)高速道路のサービスエリアへの地元参画の取組の推進 地元による地域コンシェルジュの配置、地元野菜の販売など 地域文化の展示・案内ビデオ、豊かな自然の展示と紹介ビデオ</p> <p>(5)観光 1)日本海から太平洋までの経路の視野で観光を進める 2)首都圏⇒富士山地域⇒北杜市(八ヶ岳)⇒軽井沢⇒首都圏 のサークルの観光の視野で進める 3)地域のエコツーリズムの発展 農体験、森体験、川体験、田んぼ体験、 4)自然と文化と芸術・食・農を繋げた観光の創造とアクセスの確保 1:自然(森・高原・渓谷・田んぼ・湧水)・文化(縄文・絵本・博物館) 2:おかげの体験。地域活性化ともなる 5)博物館・美術館・絵本美術館などを拠点とした観光の確立 やまねミュージアム、平山美術館など多数との連携 6)山麓に棲む多種多様な芸術家の観光化 おらんうーたんと連携</p> <p>以上</p>	<p>「豊かな生物多様性の保全」、「希少野生生物の保存と共生の具体的施策の確立」、「里山・森環境を支える生物の保全」、「シカの適正な管理」、「サルの適正な管理」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点④:貴重な動植物との共存」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「優れた山岳景観・農村景観と渓谷景観の保全」、「牧場景観・高原景観の保全」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。 また、P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」を『優れた景観の保全』とし、解説文を『北杜24景に代表される優れた山岳景観、それらを背景とした農村景観や高原の眼下に広がる渓谷などの景観資源を守り、活用していくため、色彩の工夫、多種多様な景観になじむつくりにするなど、周辺の風景と調和したまちづくり・みちづくりの取組が必要と考えます。』に修正します。</p> <p>「良好な生活環境への配慮」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「豊かな水を守るための水源地と管理・保護と水源涵養林の保全」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「地産地消のネットワークの発展で豊かな食の発展」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。 また、上位関連施策等と整合を図りながら(各種団体の取組とも調整を図りながら)進めて参ります。</p> <p>「豊かな農産物による都会市民とのネットワークの確立」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「視点①:六次産業化・農業と観光の融合による地域活性化」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「案内標識の充実」、「高速道路のサービスエリアへの地元参画の取組の推進」、「地元による地域コンシェルジュの配置、地元野菜の販売など」、「地域文化の展示・案内ビデオ、豊かな自然の展示と紹介ビデオ」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P19観光「視点③:周遊・滞在(型)観光を促進する情報発信の工夫」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「日本海から太平洋までの経路の視野で観光を進める」、「自然と文化と芸術・食・農を繋げた観光の創造とアクセスの確保」、「博物館・美術館・絵本美術館などを拠点とした観光の確立」、「やまねミュージアム、平山美術館など多数との連携」、「山麓に棲む多種多様な芸術家の観光化」、「おらんうーたんと連携」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「視点①:観光拠点へのアクセス」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「首都圏⇒富士山地域⇒北杜市(八ヶ岳)⇒軽井沢⇒首都圏 のサークルの観光の視野で進める」、「農体験、森体験、川体験、田んぼ体験」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p>